防災拠点整備事業
牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事
設計図
（意匠）

令和７年３月

株式会社大建設計

図　面　リ　ス　ト（　意　匠　）

	図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称
【共通】	意匠		【役場】	意匠		【消防】	意匠				
000.図面リスト	A-001	図面リスト　(1)	101.仕上表	A-101	仕上表 (1)	501.仕上表	A-501	仕上表 (1)			
	A-002	図面リスト　(2)		A-102	仕上表 (2)		A-502	仕上表 (2)			
	A-003	図面リスト　(3)		A-103	材料表		A-503	材料表			
	A-004	図面リスト　(4)		A-104	基準詳細図 (1)		A-504	基準詳細図 (1)			
001.特記仕様書等	A-005	特記仕様書　(1)		A-105	基準詳細図 (2)		A-505	基準詳細図 (2)			
	A-006	特記仕様書　(2)	102.一般図	A-106	1階平面図	502.一般図	A-506	1階平面図			
	A-007	特記仕様書　(3)		A-107	2・3階平面図		A-507	M2・2階平面図			
	A-008	特記仕様書　(4)		A-108	屋根伏図・ピット平面図		A-508	屋上階平面図・ピット平面図			
	A-009	特記仕様書　(5)		A-109	立面図		A-509	立面図			
	A-010	特記仕様書　(6)	**103.断面詳細図、平面詳細図**	A-110	断面詳細図 (1)	**503.断面詳細図、平面詳細図**	A-510	断面詳細図 (1)			
	A-011	特記仕様書　(7)		A-111	断面詳細図 (2)		A-511	断面詳細図 (2)			
	A-012	特記仕様書　(8)		A-112	断面詳細図 (3)		A-512	屋内階段詳細図			
	A-013	特記仕様書　(9)		A-113	断面詳細図 (4)		A-513	屋外階段詳細図			
	A-014	特記仕様書　(10)		A-114	階段1詳細図		A-514	1階ロビー廻り詳細図 (1)			
	A-015	工事区分表		A-115	階段2詳細図		A-515	1階ロビー廻り詳細図 (2)			
002.概要・現況図・配置図 求積図等	A-016	建築概要・附近見取図		A-116	1階WC1詳細図		A-516	1階消毒室・2階洗面浴室廻り詳細図			
	A-017	現況図		A-117	1階WC2・管理室詳細図		A-517	2階WC2詳細図			
	A-018	配置図		A-118	2階議場詳細図	504.天井伏図	A-518	天井伏図			
	A-019	断面図 (1)	104.天井伏図	A-119	天井伏図	505.仕様範囲図	A-519	床伏・防水範囲図			
	A-020	断面図 (2)	105.仕様範囲図	A-120	床伏・防水範囲図		A-520	断熱範囲図			
	A-021	断面図 (3)		A-121	断熱範囲図	506.建具表	A-521	建具共通事項			
	A-022	断面図 (4)	106.建具表	A-122	建具共通事項		A-522	建具配置図			
	A-023	断面図 (5)		A-123	建具配置図		A-523	建具表 (1)			
	A-024	敷地求積図 (1)		A-124	建具表 (1)		A-524	建具表 (2)			
	A-025	敷地求積図 (2)		A-125	建具表 (2)		A-525	建具詳細図 (1) (標準,AW)			
	A-026	求積図 (1)		A-126	建具詳細図 (1) (標準,SP)		A-526	建具詳細図 (2) (SP,SS)			
	A-027	求積図 (2)		A-127	建具詳細図 (2) (AW)	507.部分詳細図	A-527	部分詳細図 (1) (標準)			
	A-028	平均地盤算定図		A-128	建具詳細図 (3) (AW)		A-528	部分詳細図 (2) (標準)			
003.外構図	A-029	外構平面図 (1)		A-129	建具詳細図 (4) (AW)		A-529	部分詳細図 (3) (内部)			
	A-030	外構平面図 (2)		A-130	建具詳細図 (5) (AD,EC)		A-530	部分詳細図 (4) (外部)			
	A-031	雨水排水計画図 (1)		A-131	建具詳細図 (6) (EC)	508.その他	A-531	US,UB詳細図			
	A-032	雨水排水計画図 (2)		A-132	建具詳細図 (7) (EC)		A-532	移動書架詳細図			
	A-033	外構詳細図	107.部分詳細図	A-133	部分詳細図 (1) (標準)		A-533	外部サイン配置図			
004.仮設計画図	A-034	山留計画図 (参考)		A-134	部分詳細図 (2) (標準)		A-534	内部サイン配置図 (1)			
	A-035	工事ステップ図		A-135	部分詳細図 (3) (内部)		A-535	内部サイン配置図 (2)			
				A-136	部分詳細図 (4) (内部)		A-536	サイン詳細図 (1)			
				A-137	部分詳細図 (5) (外部)		A-537	サイン詳細図 (2)			
			108.その他	A-138	EV詳細図 (1)	509.付属棟詳細図	A-538	訓練棟　平面図・立面図・断面図			
				A-139	EV詳細図 (2)		A-539	訓練棟　断面詳細図			
				A-140	US、移動書架詳細図		A-540	訓練棟　階段詳細図			
				A-141	外部サイン配置図		A-541	訓練棟　部分詳細図 (1)			
				A-142	内部サイン配置図		A-542	訓練棟　部分詳細図 (2)			
				A-143	サイン詳細図 (1)	510.法チェック図	A-543	法チェック図 (1)			
				A-144	サイン詳細図 (2)		A-544	法チェック図 (2)			
				A-145	サイン詳細図 (3)						
			109.付属棟詳細図	A-146	駐車場棟2詳細図						
			110.法チェック図	A-147	法チェック図 (1)						
				A-148	法チェック図 (2)						

竣工年月日	. .	. .	株式会社 大建設計	DATE 2025 . 3 . 14	PROJ.TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠
監理者印		. .				
		. .		PROJ.NO 0-2023-120	DWG.TITLE 図面リスト (1)　SCALE —	DWG.NO A-001
施工者印		. .				
		. .				

図　面　リ　ス　ト（　構　造　）

	図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称
【役場】	構造		【消防】	構造							
1.構造特記仕様書等	S-101	構造特記仕様書（1）	1.構造特記仕様書等	S-501	構造特記仕様書（1）						
	S-102	構造特記仕様書（2）		S-502	構造特記仕様書（2）						
	S-103	構造特記仕様書（3）		S-503	構造特記仕様書（3）						
	S-104	配筋基準図（1）		S-504	配筋基準図（1）						
	S-105	配筋基準図（2）		S-505	配筋基準図（2）						
	S-106	配筋基準図（3）		S-506	配筋基準図（3）						
	S-107	配筋基準図（4）		S-507	配筋基準図（4）						
	S-108	鉄骨基準図（1）		S-508	鉄骨基準図（1）						
	S-109	鉄骨基準図（2）		S-509	鉄骨基準図（2）						
	S-110	鉄骨標準詳細図（1）		S-510	鉄骨標準詳細図（1）						
	S-111	鉄骨標準詳細図（2）		S-511	鉄骨標準詳細図（2）						
	S-112	鉄骨標準詳細図（3）		S-512	鉄骨標準詳細図（3）						
	S-113	継手基準図（1）		S-513	継手基準図（1）						
	S-114	継手基準図（2）		S-514	継手基準図（2）						
	S-115	深層混合処理工法特記仕様書		S-515	深層混合処理工法特記仕様書						
	S-116	プレストレストコンクリート工事特記仕様書		S-516	RC梁貫通孔補強標準仕様書						
	S-117	RC梁貫通孔補強標準仕様書	2.土質柱状図	S-517	土質柱状図（1）						
2.土質柱状図	S-118	土質柱状図（1）		S-518	土質柱状図（2）						
	S-119	土質柱状図（2）	3.構造一般図	S-519	地盤改良・基礎伏図						
3.構造一般図	S-120	地盤改良伏図		S-520	1階・M2階伏図						
	S-121	基礎・1階伏図		S-521	2階・R階伏図						
	S-122	2階・3階伏図		S-522	軸組図（1）						
	S-123	R階伏図		S-523	軸組図（2）						
	S-124	軸組図（1）	4.構造部材リスト	S-524	基礎・基礎梁リスト						
	S-125	軸組図（2）		S-525	柱・二次部材リスト						
	S-126	軸組図（3）		S-526	大梁リスト						
	S-127	軸組図（4）	5.構造詳細図	S-527	架構配筋図						
4.構造部材リスト	S-128	基礎・基礎梁リスト		S-528	雑詳細図（1）						
	S-129	柱芯線図		S-529	雑詳細図（2）						
	S-130	柱・二次部材・鉄骨部材リスト		S-530	雑詳細図（3）						
	S-131	大梁リスト	6.スリーブ図	S-531	スリーブ図						
	S-132	PRC梁断面リスト	7.付属棟構造図	S-532	訓練棟　伏図						
	S-133	PRC梁配線図・詳細図		S-533	訓練棟　軸組図						
5.構造詳細図	S-134	架構配筋図		S-534	訓練棟　断面リスト						
	S-135	鉄骨詳細図		S-535	訓練棟　架構配筋図						
	S-136	雑詳細図（1）									
	S-137	雑詳細図（2）									
	S-138	雑詳細図（3）									
6.スリーブ図	S-139	スリーブ図（1）									
	S-140	スリーブ図（2）									

竣工年月日	. .	. .	株式会社 大建設計 技にこころを	DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠
監理者印		. .				
施工者印		. .		PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 図面リスト（2） SCALE —	DWG. NO A-002

図　面　リ　ス　ト（　電　気　）

	図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称
【共通】	電気		【役場】	電気		【消防】	電気				
1. 特記仕様書	E-001	電気設備工事　特記仕様書（１）	3. 受変電設備	E-101	受変電設備　単線結線図	3. 受変電設備	E-501	受変電設備　単線結線図			
	E-002	電気設備工事　特記仕様書（２）	4. 非常用発電設備	E-102	非常用発電設備 仕様書・外形図	4. 非常用発電設備	E-502	非常用発電設備 仕様書・外形図			
2. 構内線路図	E-003	構内配電線路図		E-103	非常用発電設備 機器外形図		E-503	非常用発電設備 配管系統図			
	E-004	構内通信線路図		E-104	非常用発電設備 配管系統図		E-504	非常用発電設備 配置配管図			
				E-105	非常用発電設備 1階地下燃料タンク配管・配置図	5. 幹線動力設備	E-505	動力盤標準結線図・動力盤リスト			
				E-106	非常用発電設備 全体配管ルート平面図		E-506	分電盤標準結線図・分電盤リスト（１）			
				E-107	非常用発電設備 3階発電機配管・配置図		E-507	分電盤リスト（２）			
			5. 幹線動力設備	E-108	動力盤標準結線図・動力盤リスト（１）		E-508	幹線設備　系統図			
				E-109	動力盤リスト（２）		E-509	幹線リスト			
				E-110	分電盤標準結線図・分電盤リスト（１）		E-510	幹線・動力設備　ピット階平面図			
				E-111	分電盤リスト（２）		E-511	幹線・動力設備　１・Ｍ２階平面図			
				E-112	分電盤リスト（３）		E-512	幹線・動力設備　２・屋上階平面図			
				E-113	幹線設備　系統図	6. 電灯設備	E-513	照明器具姿図（１）			
				E-114	幹線リスト		E-514	照明器具姿図（２）			
				E-115	幹線・動力設備　ピット階平面図		E-515	電灯設備　１・Ｍ２階平面図			
				E-116	幹線・動力設備　１階平面図		E-516	電灯設備　２・屋上階平面図			
				E-117	幹線・動力設備　２・３階平面図	7. 非常照明・誘導灯設備	E-517	非常照明・誘導灯設備　１・Ｍ２階平面図			
			6. 電灯設備	E-118	照明器具姿図（１）		E-518	非常照明・誘導灯設備　２・屋上階平面図			
				E-119	照明器具姿図（２）	8. コンセント設備	E-519	コンセント設備　１・Ｍ２階平面図			
				E-120	電灯設備　１階平面図		E-520	コンセント設備　２・屋上階平面図			
				E-121	電灯設備　２・３階平面図	**9. 校内交換・構内情報通信網**	E-521	構内交換設備　系統図・端子盤リスト・総合盤姿図			
			7. 非常照明・誘導灯設備	E-122	非常照明・誘導灯設備　１階平面図	テレビ共同受信設備	E-522	構内情報通信網設備　系統図			
				E-123	非常照明・誘導灯設備　２・３階平面図		E-523	テレビ共同受信設備　系統図			
			8. コンセント設備	E-124	コンセント設備　１階平面図		E-524	弱電設備（１）　ピット階平面図			
				E-125	コンセント設備　２・３階平面図		E-525	弱電設備（１）　１・Ｍ２階平面図			
			9. 校内交換・構内情報通信網	E-126	構内交換設備　系統図・端子盤リスト・総合盤姿図		E-526	弱電設備（１）　２・屋上階平面図			
			テレビ共同受信設備	E-127	構内情報通信網設備　系統図	**10. インターホン・トイレ呼出・**	E-527	弱電設備（２）　系統図・機器姿図			
				E-128	テレビ共同受信設備　系統図	非常呼出・防災無線・	E-528	入退室管理設備　仕様・系統図・機器姿図			
				E-129	弱電設備（１）　ピット階平面図	**機械警備・入退室管理設備**	E-529	弱電設備（２）　１階・Ｍ２階平面図			
				E-130	弱電設備（１）　１階平面図		E-530	弱電設備（２）　２・屋上階平面図			
				E-131	弱電設備（１）　２・３階平面図	11. 放送設備	E-531	放送設備　系統図			
			10. インターホン・トイレ呼出・	E-132	弱電設備（２）　系統図・機器姿図		E-532	放送設備　システム図・機器姿図			
			非常呼出・防災無線・	E-133	弱電設備（２）　１階平面図		E-533	放送設備　１階平面図			
			機械警備・入退室管理設備	E-134	弱電設備（２）　２・３階平面図		E-534	放送設備　Ｍ２・２階平面図			
			11. 放送設備	E-135	放送設備　系統図	12. ＩＴＶ設備	E-535	ＩＴＶ設備　系統図			
				E-136	放送設備　システム図・機器姿図		E-536	ＩＴＶ設備　システム図・機器姿図			
				E-137	放送設備　１階平面図		E-537	ＩＴＶ設備　１階平面図			
				E-138	放送設備　２・３階平面図		E-538	ＩＴＶ設備　Ｍ２・２階平面図			
			12. ＡＶ設備	E-139	ＡＶ設備　議場　概要・機器構成表	13. 自動火災報知設備	E-539	自動火災報知設備　凡例・注記・系統図			
				E-140	ＡＶ設備　議場　系統図		E-540	自動火災報知設備　１階平面図			
				E-141	ＡＶ設備　議場　機器姿図		E-541	自動火災報知設備　Ｍ２・２階平面図			
				E-142	ＡＶ設備　議場　平面図		E-542	自動火災報知設備　屋上階平面図			
			13. ＩＴＶ設備	E-143	ＩＴＶ設備　系統図	14. 付属棟詳細図	E-543	訓練棟　電気設備平面図			
				E-144	ＩＴＶ設備　１階平面図						
				E-145	ＩＴＶ設備　２・３階平面図						
			14. 自動火災報知設備	E-146	自動火災報知設備　凡例・注記・系統図						
				E-147	自動火災報知設備　１階平面図						
				E-148	自動火災報知設備　２・３階平面図						

竣工年月日	．．　．．　．．

図　面　リ　ス　ト（　機　械　）

	図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称		図番	図　面　名　称
【共通】	機械		【役場】	機械		【消防】	機械				
001.特記仕様書	M-001	機械設備工事　特記仕様書（１）	101.空調設備	M-101	空調設備 空調機器表（１）	501.空調設備	M-501	空調設備 空調機器表（１）			
	M-002	機械設備工事　特記仕様書（２）		M-102	空調設備 空調機器表（２）		M-502	空調設備 空調機器表（２）			
	M-003	衛生設備　配置図		M-103	空調設備 空調機器表（３）		M-503	空調設備 配管系統図			
				M-104	空調設備 配管系統図		M-504	空調設備 配管 1階・2階平面図			
				M-105	空調設備 配管 1階・2階平面図		M-505	空調設備 配管 屋上階平面図			
				M-106	空調設備 配管 3階平面図	502.換気設備	M-506	換気設備 換気機器表（１）			
			102.換気設備	M-107	換気設備 換気機器表（１）		M-507	換気設備 換気機器表（２）			
				M-108	換気設備 換気機器表（２）		M-508	換気設備 制気口リスト			
				M-109	換気設備 換気機器表（３）		M-509	換気設備 ダクト系統図			
				M-110	換気設備 制気口・チャンバーリスト		M-510	換気設備 ダクト 1階・2階平面図			
				M-111	換気設備 ダクト系統図	503.排気ガス排気システム	M-511	排気ガス排気システム図			
				M-112	換気設備 ダクト 1階・2階平面図	504.自動制御設備	M-512	自動制御設備 計装系統図			
				M-113	換気設備 ダクト 3階平面図		M-513	自動制御設備 計装 1階・2階平面図			
			103.自動制御設備	M-114	自動制御設備 計装系統図		M-514	自動制御設備 計装 屋上階平面図			
				M-115	自動制御設備 計装 1階・2階平面図	505.衛生設備	M-515	衛生設備 機器表・器具表			
				M-116	自動制御設備 計装 3階平面図		M-516	衛生設備 系統図			
			104.衛生設備	M-117	衛生設備 機器表・器具表		M-517	給排水衛生設備 ピット階・1階平面図			
				M-118	衛生設備 系統図		M-518	給排水衛生設備 2階・屋上階平面図			
				M-119	給排水衛生設備 ピット階・1階平面図		M-519	衛生設備 平面詳細図			
				M-120	給排水衛生設備 2階・3階平面図	506.浄化槽設備	M-520	浄化槽設備図（１）			
				M-121	衛生設備 平面詳細図		M-521	浄化槽設備図（２）			
			105.浄化槽設備	M-122	浄化槽設備図（１）		M-522	浄化槽設備図（３）			
				M-123	浄化槽設備図（２）		M-523	浄化槽設備図（４）			
				M-124	浄化槽設備図（３）		M-524	浄化槽設備図（５）			
				M-125	浄化槽設備図（４）	507.付属棟	M-525	訓練棟　換気設備図			
			106.雨水利用設備図	M-126	雨水利用設備図						
			107.その他	M-127	遮音貫通要領図						

竣工年月日	．．	．．	株式会社 大建設計 技にこころを	DATE 2025．3．14	PROJ.TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠
監理者印		．．				
		．．		PROJ.NO 0-2023-120	DWG.TITLE 図面リスト（4） SCALE —	DWG.NO A-004
施工者印		．．				
		．．				

特 記 仕 様 書

Ⅰ　工事概要

1. 工事場所　徳島県海部郡牟岐町中村山田84　他

2. 敷地面積　12,276.01㎡（開発区域）（その他内訳は求積図による）

3. 工事種目

【役場敷地】

(1)役場庁舎棟　RC造一部S造　3階建て	新築１棟
(2)駐車場棟1　S造　平屋建て	新築１棟
(3)駐車場棟2　アルミ造　平屋建て	新築１棟
(4)倉庫棟（別途工事）	新築１棟
(5)危険物庫（別途工事）	新築１棟
(6)屋外排水設備	新設一式
(7)舗装	新設一式
(8)雑工作物	新設一式

【消防敷地】

(1)消防庁舎棟　RC造　2階建て	新築１棟
(2)訓練棟　RC造　2階建て	新築１棟
(3)屋外排水設備	新設一式
(4)舗装	新設一式
(5)雑工作物	新設一式

【別途工事】
・造成工事(伐採・伐根・除根、土工、法面工、地盤改良工、擁壁工、排水工、調整池、沈砂池・管渠排水工)

4. 工事範囲
※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿ の全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし，その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	
3 土工事	
4 地業工事	
5 鉄筋工事	
6 コンクリート工事	
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	
9 防水工事	
10 石工事	該当なし。
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	
14 金属工事	
15 左官工事	
16 建具工事	
17 カーテンウォール工事	該当なし。
18 塗装工事	
19 内装工事	
20 ユニット及びその他の工事	
21 排水工事	建屋側は本工事。
22 舗装工事	路床まで造成工事（別途工事）。舗装は本工事。
23 植栽及び屋上緑化工事	該当なし。

5. 本工事における留意事項

・現場定例会議以外に監理者等との協議の上、必要に応じて各種分科会を行うこと。
・現場製品検査等、検査に関する諸費用は全て請負者負担とする。（建築・設備工事全て）
・施工に必要な諸手続き、仮設用電力・給排水の引き込み手続き、道路その他
　第三者管理の土地使用の手続きなどは一切施工者で行い、その費用を負担する。
・工事に伴う近隣などへの対策・苦情処理などについては一切、施工者において
　処理・解決し、その費用を負担する。また、これらに関連して、必要に応じて
　事前の現況実測や写真撮影も施工者の責任と費用負担において行うこと。
・工事中の台風による大雨や地下水等により躯体が浮上しない工事計画とすること。

Ⅱ　建築工事仕様

1. 標準仕様
(1)図面及び特記仕様書に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。
(2)標仕に規定する事項は，別の定めがある場合を除き，受注者の責任において履行すべきものとする。
(3)用語の「監督職員」は，民間（七会）連合協定「工事請負契約約款」の監理者と同義語とするも，建告 15号 別添－２工事監理に関する標準業務及びその他の標準業務を遂行する者をいう。

2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は，電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

3. 特記仕様書の表記
(1) 項目は，番号に ○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は，⊙ 印の付いたものを適用する。
　⊙ 印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
　⊙ 印と◎ 印の付いた場合は，共に適用する。
　・ 印は適用しない。
(3) 特記事項に記載の（　.　.　）内表示番号は，標準仕様書の当該項目，当該図又は当該表を示す。
(4) Ⓖ印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（令和5年2月閣議決定）に定める判断の基準を満たす物品を示す。
(5)特記事項に記載の（参考図　.　）内の表示番号は、標仕「各部配筋参考図」の当該項目を示す。
(6)メーカー名は、「株式会社」等の記載は省略する。
(7)項目下に【役場】、【消防】と記載がないものは各庁舎共通とする。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	図面，本特記仕様書，標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ⊙営繕工事写真撮影要領（平成28年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 本設計図書における「標準詳細図」とは，次の基準を指す。 ⊙建築工事標準詳細図（令和4年版）(以下「標準詳細図」という) 　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 その他 ⊙官庁施設の基本的性能基準 ⊙官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 ⊙官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準 ⊙官庁施設の環境保全性基準 ⊙官庁施設の防犯に関する基準 ⊙構内舗装・排水設計基準
	② **工事実績情報システム**（CORINS）への登録	※適用する　(1.1.4)
	③ 法令等の適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の適用工事　(1.2.2) ⊙８章　⊙ ９章　⊙10章　⊙１３章　⊙１４章　⊙ １６章　⊙ １７章 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 　風速（Vo=　38 m/s） 　地表面粗度区分（ ・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ） ・積雪荷重 　平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　） ・凍結深度（　　ｃｍ　）
	④ 工事の記録等	報告に用いる書式等　(1.2.4) ・現場説明書による　・ ⊙標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による 『営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック 　建築工事編及び解体工事編　平成30年版』　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	⑤ 電気保安技術者	※適用する　(1.3.3)
	⑥ 施工条件	※標準仕様書1.3.5(1)以外の施工条件については，現場説明書による。　(1.3.5) ・工事用車両の駐車場所　※図示　・ ・資機材置場　※図示　・ ・建設発生土仮置場　※図示　・ ・　※図示　・ ※関連法令、行政指導等を遵守し、適正処理をすること。　(1.3.8) ⊙土壌汚染対策法上の届出をおこなうこと。 ・現場説明事項書による。
	⑦ 発生材の処理等	受注者は、解体材、工事発生残材の分別保管に努め、発生材のうち再生資源として利用できるものは、再資源化施設へ搬入処理に努めること。その他のものは中間処理又は最終処理施設に搬入処理のこと。受注者は収集運搬及び処分を委託する場合は、三者契約を締結し事前に許可証の写しを監督職員に提出すること。尚、収集運搬及び処分は受注者の責任においてマニュフェストシステムにより適正に行うこと。 ・発注者に引渡しを要するもの　(1.3.11) 　・現場説明書による　・ ・特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 　・現場説明書による　・ ・工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの 　・現場説明書による　・
	⑧ 環境への配慮	(1.4.1) （１）建築物内部に使用する材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板，木質系フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，ＭＤＦ，パーティクルボード，その他の木質建材，ユリア樹脂板，壁紙，接着剤，保温材，緩衝材，断熱材，塗料，仕上塗材は，アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で，設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は，トルエン，キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は，可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具，書架，実験台，その他の什器類は，ホルムアルデヒド，アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において，「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し，同区分「第三種」とは次の③又は当する材料を指す。 **①建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種，第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料** **②建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料** **③建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料** **④建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料**
	⑨ 材料の品質等	(1.4.2) （１）本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能の他，通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （２）備考欄に商品名が記載された材料は，当該商品又は同等品を使用するものとし，同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 （３）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については，材料製造所の指定する工法とする。 　特記仕様書及び責任施工（合法、安全、機能、品質等が確保されること）とする。 （４）本工事に使用する材料のうち，（５）に指定する材料の製造業者等は，次の①から⑥の事項を満たすものとし，その証明となる資料（外部機関[（一社）公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質評価事業」]の評価書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可，認可，認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり，その信頼性があること。 ⑥販売，保守等の営業体制を整えていること。 （５）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ・（一社）公共建築協会の「建築材料・設備機材等品質評価事業」において評価書が発行されている材料 　床型枠用鋼製デッキプレート，鉄骨柱下無収縮モルタル，無収縮グラウト材，押出成形セメント板，成形伸縮目地材，乾式保護材，セラミックタイル，既調合モルタル，既調合地材，ルーフドレン，吸水調整材，防水剤，アルミニウム製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地),アルミニウム製建具(木下地),樹脂製建具(コンクリート系下地及び鉄骨下地),樹脂製建具(木下地)鋼製建具，鋼製軽量建具，ステンレス製建具，錠前類，クローザ類，自動ドア機構，自閉式上吊り引戸機構，重量シャッター，軽量シャッター，オーバーヘッドドア，ガラス，現場発泡断熱材，フリーアクセスフロア，可動間仕切，移動間仕切，トイレブース，煙突用成形ライニング材，天井点検口，床点検口，グレーチング，屋上緑化システム，トップライト,ポリマーセメントモルタル，錆鉄製ふた ・
	⑩ 技能士	(1.5.2) 適用工事種類 ／ 職　種 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ とび ／ ⊙とび作業 鉄筋工事 ／ 鉄筋施工 ／ ⊙鉄筋組立て作業 コンクリート工事 ／ 型枠施工 ／ ⊙型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ／ ⊙コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ／ 鉄工 ／ ⊙構造物鉄工作業 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事 ／ ブロック建築 ／ ・コンクリートブロック工事作業 エーエルシーパネル施工 ／ ・エーエルシーパネル工事作業 防水工事 ／ 防水施工 ／ ・アスファルト防水工事作業 ⊙ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ／ 石材施工 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ タイル張り ／ ⊙タイル張り作業 木工事 ／ 建築大工 ／ ⊙大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ 建築板金 ／ ⊙内外装板金作業 スレート施工 ／ ・スレート工事作業 金属工事 ／ 内装仕上げ施工 ／ ⊙鋼製下地工事作業 建築板金 ／ ⊙内外装板金作業 左官工事 ／ 左官 ／ ⊙左官作業 建具工事 ／ サッシ施工 ／ ⊙ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ／ ⊙ガラス工事作業 自動ドア施工 ／ ⊙自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 ／ カーテンウォール施工 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業 サッシ施工 ／ ・ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ／ ・ガラス工事作業 塗装工事 ／ 塗装 ／ ⊙建築塗装作業 内装工事 ／ 内装仕上げ施工 ／ ⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙カーペット系床仕上げ作業 ⊙ボード仕上げ工事作業 表装 ／ ⊙壁装作業 排水工事 ／ 配管 ／ ⊙建築配管作業 舗装工事 ／ 路面標示施工 ／ ⊙溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ⊙加熱ペイントマシンマーカー工事作業 植栽工事 ／ 造園 ／ ・造園工事作業
	⑪ 化学物質の濃度測定	設計図書中に特記無き場合はF☆☆☆☆級を使用する。 居室の内装および天井裏等に使用する材料は、建築基準法第２８条の２に定めるものとする。なお室内空気中の化学物質の濃度測定及び確認　⊙　要　・　不要（1.5.9） 測定対象室及び各室測定箇所数 ／ ※仕上表による　・　図示 測定対象物質 ／ ※ホルムアルデヒド＊　・トルエン＊　・キシレン＊　・パラジクロルベンゼン＊　・クロルピリホス ・アセトアルデヒド　・フタル酸ジブチル ・エチルベンゼン＊　・スチレン＊　・テトラデカン ・フタル酸ジ２エチルヘキシル ・ダイアジノン　・フェノブカルブ　・ノナナール ＊：文部科学省指定６物質 ※ 測定は、パッシブ型採取機器により行う。24時間測定とする。 ※ 測定時期、測定条件等は、監督職員の指示による。 ※ 厚生労働省が定める指針以下であることを確認し、報告すること。 測定箇所数：室の床面積(Am2)に対して、以下の箇所数以上とする。 室の床面積(m2) ／ A≦50 ／ 50<A≦200 ／ 200<A≦500 ／ 500<A 測定箇所数 ／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4
	12 技術検査	・中間技術検査　実施回数（　　）回　(1.6.2) 　実施する段階（　　）
	⑬ 完成時の提出図書	工事完成時の提出図書　(1.7.1～1.7.3)(表1.7.1) ※標準仕様書1.7.2及び1.7.3による ・ ※ 作成する　(1.7.1～3)(表1.7.1) （1）※ 完成原図 原図変更箇所をすべて訂正する ⊙原図⊙ＣＡＤデータ）　１式 　電子データの形式は監督職員の指示による （2）・ 縮小第２原図　（Ａ３判）　3部 （3）・ マイクロフィルム（設計図一式）　3部 　※ 大建設計 指定様式による（アバッチャーカード方式）　・ （4）※ 製本図面⊙仕上り Ａ４版－Ａ3サイズ２つ折り製本（縮小図）　3部 　・仕上り Ａ３版－Ａ2サイズ２つ折り製本黒表紙、銀文字入り　3部 （5）⊙ 保全に関する資料 ⊙紙ベース　⊙電子データ）　3部 （6）⊙ 施工図 ⊙構造躯体⊙仕上げ⊙その他監督職員の指示するもの）　・　3部 （7）・ その他　3部
	⑭ 完成写真	工事完成時に以下の完成写真を撮影し，監督職員に提出する。 分類・規格 ／ 撮影箇所数 ／ 提出部数 ／ 画素数・画質等 ⊙カラー ／ ※キャビネ版 ／ 外部（ 50 ）内部（ 100 ） ／ ※2　・ ／ ※500万画素以上 外観正面　（※1　・　） ／ ※5　・ ・ポジティブ ／ 外部（ ）内部（ ） ・ ・カラー四切木製パネル ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2　・ ・カラー半切木製パネル ／ 外部（　）内部（　） ／ ※2　・ ⊙電子データ ／ 外部（ 50 ）内部（ 100 ） ／ ※2　・ ／ ※1000万画素以上 ・撮影箇所（　　） ・撮影仕様（　　） ・提出仕様（　　） ・100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめベタ焼を提出し確認を受ける。外部はタ景及び航空写真を含む。 ※電子データは，RGB(フルカラー)，JPEG形最高画像とし，CD-Rにて提出する。 ⊙電子データの形式は監督職員の指示による ※ アルバムを作成する ※ 銀文字製本アルバム（ 3 部）・アルバム（　部） ⊙撮影業者　⊙ 建築完成写真撮影の実績ある業者で下記による。 ※ 監督職員の承諾　⊙ 指定（ 株式会社 エスエス　　） ⊙ドローン等による航空写真及び動画撮影を行うこと。
	⑮ 他工事又は他工種との取合い	工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。 **別途工事で本工事と密接に関連する事項や工程管理・安全管理などの調整は本工事に含む。**
	⑯ 設計GL	⊙図示による（配置図）　・
	⑰ 設計図書の優先順位	図面及び仕様書の内容に相違ある時は下記の優先順位により判断し、監督職員と順位を協議の上、決定する。 優先順位 1）質疑回答書）　2）現場説明事項書　3）特記仕様書　4）図面　5）各種標準図 6）標仕
	⑱ 施工計画書及び報告書の提出	⊙品質管理計画書⊙総合施工計画書⊙仮設工事施工計画書 ⊙土工事施工計画書⊙地業工事施工計画書⊙鉄筋工事施工計画書 ⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ工事施工計画書⊙鉄骨工事施工計画書⊙ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ、ＡＬＣﾊﾟﾈﾙ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事施工計画書⊙防水工事施工計画書・石工事施工計画書 ⊙ﾀｲﾙ工事施工計画書⊙木工事施工計画書⊙屋根及びとい工事施工計画書 ⊙金属工事施工計画書⊙左官工事施工計画書⊙建具工事施工計画書 ⊙塗装工事施工計画書⊙内装工事施工計画書・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事施工計画書 ⊙排水工事施工計画書⊙舗装工事施工計画書⊙ ﾕﾆｯﾄ及びその他の工事施工計画書 ⊙その他監督職員の指示するもの・植栽工事施工計画書
	⑲ 設計図書の取扱い	(1.1.6) 著作権に係わる施工図を作成するための設計図書データの貸出は大建設計規定による。
	⑳ 施工図等の取扱い	(1.2.3) 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は発注者に帰属するものとする。
	㉑ 総合図の作成	各工事の着工に先立ち空調吹出・照明器具・設備機器の位置・取合い等の記入された総合図（施工図）を作成する。
	㉒ 統括安全衛生責任者の指名	本工事に別途工事がある場合、労働安全衛生法の定めにより、本工事受注者を統括安全衛生責任者に指名する。 受注者は本契約後直ちに「統括安全衛生管理者適任届出（任意様式）」を提出すること。 別途工事事業者と協議を行い、互いの工事を円滑に進めるよう努めること。
	㉓ 工程報告及び工事写真	工事施工報告書（工事進捗状況写真を含む）を、監督職員に毎月1回（ 1 部）提出する。 建築材料等の納入伝票類、施工写真を、監督職員の指示により提出する。
	㉔ 保証書	※ 次の工事は何れも責任施工とし、受注者と施工者及び材料製造所の三者連帯保証書を2通提出する。保証開始日は建物引渡しの日からとする。 工事区分 ／ 材 料 名 ／ 保証年数 ／ 備　考 屋根工事 ／ ⊙ 金属板等の屋根 ／ ⊙15年(塗膜)、25年（穴あき） ・ ／ ・ 年　・　年 防水工事 ／ ・ アスファルト防水 ／ ※10年　・　年 ・ 合成高分子ルーフィング防水 ／ ※10年　・　年 ⊙ 塗膜防水（保護） ／ ※ 5年　⊙10 年 ⊙ 弾性シーリング ／ ・ 5年　⊙10 年 ⊙ ／ ・　年　・　年 外装工事 ／ ⊙ 複層仕上塗材（吹付） ／ ・　年　・　年 ⊙ ／ ・　年　・　年 ・ ／ ・　年　・　年 その他 ／ ・ ／ ・　年　・　年 ・ ／ ・　年　・　年 植栽工事 ／ ・ 活着　枯補修 ／ ※ 1年　・　年 ・ ／ ・　年　・　年
	㉕ 模型類の作成	※ 作成しない　・ 現場説明事項書による　・図示
	㉖ その他	工事用看板　※ 大建設計指定様式による

竣工年月日	・ ・	・ ・	
監理者印		・ ・	
		・ ・	
施工者印		・ ・	
		・ ・	

2 仮設工事

① 足場その他 (2.2.4)
⊙「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては，同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

① 監督職員事務所 ※設ける　・設けない(現場敷地外に設置することも可)。 (2.3.1)
・規模，仕上げの程度，設備，並びに備品等の種類及び数量は現場説明書による。
監督職員事務所の規模（㎡）
・ 10程度　・ 20　・ 35　⊙ 65　・ 100程度
監督職員事務所の備品等
※ 適用する（以下の情報環境整備の他監督職員の指示による）
⊙ パソコン（　　）⊙標準ソフト（　　）⊙ＣＡＤソフト（　　）
⊙ プリンター（　　）⊙インターネット接続環境（　　）

② 工事用水 構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（ ※有償　・無償 ）

③ 工事用電力 構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（ ※有償　・無償 ）

④ 仮設物撤去その他 ※ 仮設物の撤去及び建物引渡しまでの工事用電気、水道、ガス等の料金（基本料金を含む）は受注者の負担とする。 (2.4.1)

⑤ 仮囲い
高さ　・ Ｈ＝３ｍ　・ Ｈ＝１．８ｍ　・ Ｈ＝　ｍ
仕様　・ 鋼板塀　・ ネットフェンス　・
⊙図示による（工事ステップ図）　⊙造成工事による仮囲いのリース契約引き継ぎ

⑥ 指定仮設 ⊙ 無し　・ 有り（　　）

3 土工事

① 埋戻し及び盛土 埋戻し及び盛土の種別 (3.2.3)(表3.2.1)
※標準仕様書表3.2.1による
・Ａ種　施工箇所（　　）
⊙Ｂ種　施工箇所（　　）
・Ｃ種　施工箇所（　　）土質（　）　受渡場所（　）
・Ｄ種　施工箇所（　　）

② 建設発生土の処理 ※構外搬出適切処理 (3.2.5)
・構内指定場所に堆積　・構内指定場所に敷均し

③ 山留めの撤去 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3.3)
※鋼矢板等の抜き跡の処理　※直ちに砂で充填する　・
・山留め壁の存置　・行う（存置範囲　※図示　・　　）

4 地業工事

※ 地業工事 （本章は、特記なき限り構造特記仕様書による）
1 支持地盤等
2 既製コンクリート杭地業
3 鋼杭地業
4 場所打ちコンクリート杭地業
5 砂利地業
6 砂地業
7 捨コンクリート地業
⑧ 床下防湿層
材料 (4.6.2)
※ポリエチレンフィルム厚0.15㎜以上　・
範囲 (4.6.5)
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
・図示による　・

5 鉄筋工事

※ 鉄筋工事 （本章は、特記なき限り構造特記仕様書による）
1 鉄筋
2 溶接金網
鉄線の形状等 (5.2.2)

種　類	種類の記号	網目の形状，寸法，鉄線の径(㎜)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手及び定着
4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）
5 各部配筋
6 ガス圧接完了後の試験
7 機械式継手
8 溶接継手

6 コンクリート工事

※ コンクリート工事 （本章は、特記なき限り構造特記仕様書による）
1 コンクリートの類別等
2 セメント
3 骨材
4 混和材料
⑤ 打継ぎの位置，ひび割れ誘発目地，打継目地
打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による　・
柱及び壁
※スラブ，壁梁又は基礎の上端
・図示による　・

目地の寸法(ひび割れ誘発目地を含む) (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による
⊙標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
※打継目地の深さ寸法は，躯体外側の打増し部で処理する
・図示による　・
ひび割れ誘発目地の位置，形状（目地深さは配筋基準図による） (6.8.1)
⊙図示による　・

⑥ コンクリートの仕上り
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.4)

種　別	適　用　箇　所
⊙A種	・図示　⊙化粧打放し、又は塗装仕上に適用
⊙B種	・図示　⊙仕上塗材に適用
⊙C種	・図示　⊙打放しのままに適用

コンクリートの仕上げの平たんさ (6.2.5)(表6.2.5)

種　別	適　用　箇　所
⊙a種	・図示　⊙化粧打放し、塗装仕上に適用
⊙b種	・図示　⊙仕上塗材に適用
⊙c種	・図示　⊙打放しのままに適用

⑦ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）
打増し厚さ
⊙打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） (6.8.1)
⊙20㎜　⊙ 40㎜（洗出し仕上に適用）
⊙打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
⊙10㎜　⊙20㎜（化粧打放し、杉本実羽目板型枠に適用）
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20㎜　・
打増し範囲
・図示による　・

⑧ 型枠
せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
※標準仕様書6.8.2(1)(ｱ)，(ｲ)による
・合板（厚さ※12㎜　・　　）Ⓖ
・断熱材の兼用した型枠 (6.8.2)
使用箇所　・仕様
※19章内装工事13断熱材による
・図示による　・
・MCR工法用シート (6.8.2)
適用箇所
・図示による　・
打増し厚さ
・20㎜　・
打増し範囲
・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等 (6.8.2)
・図示による　・

9 軽量コンクリート
10 寒中コンクリート
11 暑中コンクリート
12 マスコンクリート
13 無筋コンクリート
14 流動化コンクリート
15 コンクリートの単位水量測定
16 その他

7 鉄骨工事

※ 鉄骨工事 （本章は、特記なき限り構造特記仕様書による）
1 鉄骨製作工場
2 施工管理技術者
3 鋼材
4 高力ボルト
5 普通ボルト
6 アンカーボルト
7 溶接材料
8 ターンバックル
9 床構造用デッキプレート
10 スタッド
11 レール及びその付属品
12 柱底均しモルタル
13 製作精度
14 鉄骨の仮組
15 溶接技能者の技量付加試験
16 溶接接合
17 溶接部の試験
⑱ 錆止め塗装
塗料の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による　⊙ 全て行う（外周部及び高湿度のため）
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※標準仕様書7.8.2(1)による
・図示による　・
塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2)
下記以外の塗料の種別は，18章による
⊙鉄鋼面の錆止め塗料の種別 (表18.3.1)
屋外
⊙A種　・
屋内
⊙A種　・B種
⊙亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別 (表18.3.2)
⊙A種　・B種
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別
※A種　・B種 (表18.3.1)
⊙耐火被覆が接着する面の塗料の種別
⊙ A種

⑲ 耐火被覆【役場】
種別 (7.9.2～8)
⊙耐火材吹き付け ⊙ﾛｯｸｳｰﾙ（・乾式⊙半乾式・湿式）・　　）・耐火板張り
・耐火材巻付け　・ラス張りモルタル塗り　・図示　⊙耐火シート
所要性能（区分）⊙ 30分耐火（　　）⊙ 1時間耐火（　　）
・ 2時間耐火（　　）・ 3時間耐火（　　）
建築基準法に基づく主要構造部の耐火時間 (7.9.2～7)

階＼部位	耐火構造の耐火時間（時間） 壁 間仕切 壁（耐力壁に限る）	壁 外壁（耐力壁に限る）	柱	床	梁	屋根	階段
⊙1 階　～3 階	1	1	1	1	1	0.5	0.5
・　階　～　階	2	2	2	2	2	0.5	0.5
・　階　～　階	2	2	3	2	3	0.5	0.5

⊙EVシャフト内及び外部露出のロックウールはスラリー吹付とすること。

20 アンカーボルトの設置等
21 軽量形鋼構造
22 溶融亜鉛めっき

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造
材料 (8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(㎜)	モﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(㎜) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)	120			・無　・有	・塀高さ2m以下	
・空洞ブロック08	100			・無　・有	・衛生配管用裏積みブロック	
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比） (8.2.3)
ブロックの区分がA (08)，B(12)，C(16)の場合で，目地巾が10㎜程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による　・
上記以外の場合　・
各部の配筋　※図示による　・ (8.2.5)
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ (8.2.7)
まぐさを受ける開口部両側のブロックにおいて，モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 (8.2.8)
・図示による　・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀
材料 (8.3.2)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(㎜)	モﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(㎜) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有	※表8.3.1	
・	・120 ・150			・無　・有	※塀	
・				・無　・有		

モルタルの調合（容積比） (8.3.3)
ブロックの区分がA (08)，B(12)，C(16)の場合で，目地巾が10㎜程度の場合
※標準仕様書 表8.2.1による　・
上記以外の場合　・
鉄筋の継手，定着及び末端部の折り曲げ形状 (8.3.4)
・図示による　・
各部の配筋　・図示による　・ (8.3.4)

3 ＡＬＣパネル
材料，構法 (8.4.2～8.4.5)(表8.4.2～表8.4.4)

パネルの区分 用途	形状	表面加工	単位荷重(N/㎡)	厚さ(㎜)	幅及び長さ(㎜)	耐火性能(時間)	構法の種別
・外壁用	・一般 ・ｺｰﾅｰ	・平 ・意匠		・100 ・	・図示 ・	・有（１）	・A種　・B種
・間仕切壁用	・一般 ・ｺｰﾅｰ	・平 ・意匠		・100 ・	・図示 ・	・有（１） ・無	・C種　・D種 ・E種
・屋根版用	―			・100 ・	・図示 ・	・有 (0.5)	・F種
・床版用	―			・100 ・	・図示 ・	・有（　） ・無	※標仕8.4.5による

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2)
・図示による　・
・外壁パネル構法，屋根及び床パネル構法 (8.4.3)(8.4.5)
耐風圧性能
（建築基準法に基づく風圧力の（ ・1　・1.15　・1.3 ）倍の風圧力に対応 ）
耐震性能
（建築基準法に基づく地震力の（ ・1　・1.25　・1.5 ）倍の地震力に対応 ）
・間仕切壁パネル構法 (8.4.4)
耐震性能
（建築基準法に基づく地震力の（ ・1　・1.25　・1.5 ）倍の地震力に対応 ）
パネル幅の最小限度(㎜) (8.4.3)(8.4.4)(8.4.5)
※300　・300未満（・図示　・　　）
パネルの短辺小口相互の接合部，出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地の目地幅(㎜) (8.4.3)(8.4.4)
※10～20　・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填 (8.4.3)(8.4.4)
・適用する　・適用しない

4 押出成形セメント板（ECP）
材料，構法 厚さ　※ 50㎜以上 (8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

パネルの種類	形状	厚さ(㎜)	幅(㎜)	工法の種別	備考
⊙外壁パネル	⊙F（フラットパネル）	・50 ⊙60 ・	900,1200	⊙A種 ・B種	1h耐火
	・D（デザインパネル）	・50　・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			
・間仕切壁パネル	・F（フラットパネル）	・50　・60 ・	600	・B種 ・C種	
	・D（デザインパネル）	・50　・60			
	・T（タイルベースパネル）	60			

厚さ　⊙ 50㎜未満 (8.5.2～4)(表8.5.1～2)

施工箇所	表面形状	厚さ(㎜)	耐火性能
消防庁舎M2階 ﾒﾝﾃﾅﾝｽｽﾍﾟｰｽ	※ フラットパネル　・ ・ デザインパネル（図示）	⊙15　・ ・　・	※ 無し ・ 有り （　　）

⊙外壁パネル構法，屋根及び床パネル構法 (8.5.3)
耐風圧性能
（建築基準法に基づく風圧力の（ ・1　⊙1.15　⊙1.3 ）倍の風圧力に対応 ）
耐震性能　【消防】【役場】
（建築基準法に基づく地震力の（ ・1　⊙1.25　⊙1.5 ）倍の地震力に対応 ）
・間仕切壁パネル構法　【消防】【役場】 (8.5.4)
耐震性能
（建築基準法に基づく地震力の（ ・1　・1.25　・1.5 ）倍の地震力に対応 ）
耐火構造以外の目地及びすき間の処理 (8.5.3)(8.5.4)
※パネルの製造所の仕様による　・
パネル幅の最小限度(㎜) (8.5.3)(8.5.4)
※300　・300未満（・図示　・　　）
パネルの相互の目地幅(㎜) (8.5.3)(8.5.4)
長辺の目地幅　⊙10以上　・図示による
短辺の目地幅　⊙15以上　・図示による
出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅(㎜) (8.5.3)(8.5.4)
※15程度(シーリング材を充填)　・図示による
溝堀及び開口部の措置 (8.5.5)
やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・図示による　⊙メーカー基準による

竣工年月日	・ ・	・ ・	
監理者印		・ ・	
		・ ・	
施工者印		・ ・	
		・ ・	

株式会社 大建設計　注にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 特記仕様書（2） SCALE	DWG. NO A-006

9 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～表9.2.6)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材G	絶縁用シート	立上り部の保護
・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・A-2				
・A-3				
・B-1				
・B-2				
・AI-1		（厚さ） ・ mm	※フラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・	
・AI-2		・25mm		
・AI-3		・50mm		
・BI-1	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ		○	
・BI-2	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
断熱材の種類 (9.2.2)
※押出法ポリスチレンフォーム断熱材の3種bA（スキン層付き）
厚さ(mm) ※25 ・30 ・35 ・40 ・50
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9.2.4)(表9.2.6)
・適用する ・適用しない
保護層等の施工 (9.2.5)
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm 以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm 以上 ・
立上り部の保護
・乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として，板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
金属複合板 ：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
・保護れんが
※TIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが）

屋根露出防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.7)(表 9.2.8)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用G
・D-1			・製造所の仕様による	※製造所の仕様による ・製造所の仕様による	・
・D-2					・
・D-3					・
・D-4		（種類） ・ （厚さ） ・ mm・25mm			・
・DI-1					・
・DI-2					・

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の，ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示 ・
断熱材の種類
・ウレタンフォーム断熱材の2種1号又は2号 (9.2.2)
厚さ(mm) ※25 ・30 ・35 ・40 ・50
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9.2.2)
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ・R種 ・N種
厚さ ・ mm以上
絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び装置数量 (9.2.3)
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・ 個

屋内防水 (9.2.2)(9.2.3)(表 9.2.9)

防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層 ・設ける（ ※図示 ・ ） ・設けない (9.2.3)
E-1の工程3を行う場合の部位 (表9.2.9)
※貯水槽，浴槽等の常時水に接する部位
・
施工 (9.2.4)
防水層の下地のモルタル塗り (9.2.4)
・適用する （施工範囲 ・図示 ・ ）
・適用しない
防水層の下地，立上りコンクリート打放し仕上げ (9.2.4)
※標準仕様書6.2.4のB種
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4)
・図示による ・
押え金物の材質及び形状寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・
屋上排水溝の設置 (9.2.5)
・図示による ・

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1～表9.3.3)

種別	施工箇所	断熱材G	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用G
・AS－T1				・製造所の指定による	※製造所の仕様による ・	・
・AS－T2						・
・AS－T3						・
・AS－T4						・
・AS－J1						・
・ASI－T1		（種類） ・ （厚さ） ・ mm・25mm	・設ける(改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない			・
・ASI－J1						・

改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による ・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2)
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・
断熱材の種類
・硬質ウレタンフォーム断熱材の2種1号又は2号
厚さ(mm) ※25 ・30 ・35 ・40 ・50
押え金物の材質及び形状寸法 (9.3.2)
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・
屋根露出防水絶縁工法，屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量(9.3.3)
種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定
・ 個

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.1)(表9.4.2)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱材G	歩行の仕様	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・S-F1				※非歩行用 ・軽歩行用	・製造所の仕様による	※製造所の仕様による ・	・
・S-F2				・非歩行用 ・軽歩行用			・
・S-M1				※非歩行用 ・軽歩行用	・製造所の仕様による	※製造所の仕様による ・	・
・S-M2				・非歩行用 ・軽歩行用			・
・SI-F1			（種類） ・ （厚さ） ・ mm ・25mm		・製造所の仕様による	※製造所の仕様による ・	・
・SI-F2							・
・SI-M1			（種類） ・ （厚さ） ・ mm ・25mm		・製造所の仕様による	※製造所の仕様による ・	・
・SI-M2		※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・					・

屋内防水層の種別 (9.4.2～9.4.4)(表9.4.3)

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚(mm)	保護層 平場のモルタル塗り 工法	保護層 立上り部の保護 モルタル塗り厚さ
・S-C1	・	・	・床塗り ・下地モルタル塗り	※7mm以下 ・

ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2)
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による ・
固定金具の材質及び形状 (9.4.2)
材質 ※防錆処理した鋼板，ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
・
厚さ(mm) ※0.4以上 ・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9.4.3)
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・ 個
断熱工法（SI-MI，SI-M2の場合）の防湿用フィルム (表9.4.2)
・設置する ・設置しない
接着工法の場合のPCコンクリート部材防水下地の目地処理 (9.4.4)
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
PCコンクリート下地の入隅部の増張り(S-FI，SトFIの場合) (9.4.4)
・行う（・図示 ・ ） ・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない

④ 塗膜防水

防水層の種別 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水の適用
・X-1		・製造所の指定による	※製造所の仕様による ・		
⊙X-2	ﾊﾞﾙｺﾆｰ床 RC庇天端等	・⊙製造所の指定による	※製造所の仕様による ・		・
・Y-1	・地下外壁防水 ・				
・Y-2	・屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

⊙図示（材料表による）

ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3)
種類 ※主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※主材料の製造所の仕様
・ 個
ゴムアスファルト系塗膜防水 Y-1,Y-2
工程数及び各工程の使用量
・主材料の製造所の仕様による
・

⑤ ケイ酸質系塗布膜防水

防水層の種別 (9.6.1,3)(表9.6.1,2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※C-UI		・C-UP	

防水層の下地（壁及び天井） (9.6.4)
※コンクリート打放し仕上げ（標準仕様書表6.2.4のB種）
・
下地処理 (9.6.4)
コンクリートの打継箇所の処理
※標準仕様書9.6.4(2)(7) による
標準仕様書9.6.4 (2)(4)及び(9)以外の下地処理
・図示による ・

⑥ シーリング

材料 (9.7.2)
種類及び施工箇所
※下表以外は，標準仕様書表9.7.1による
ただし，外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に，カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）	目地寸法
		・図示 ・
		・図示 ・
		・図示 ・

仕上げを行わない施工箇所（ ）

シーリング材の目地寸法 (9.7.3)
※標準仕様書9.7.3(1)による ・
接着性試験 (9.7.5)
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

※ ワーキングジョイントは2面接着、ノンワーキングジョイントは3面接着を原則とする。
※ 外壁以外の目地で、浴室、流し台、洗面化粧台等 水まわりや、耐温水性が必要な部位は、防カビタイプ1成分形シリコーン系（脱オキシム形）シーリングとする。

7 その他の防水処理

内部水廻りの防水処理
水廻り箇所及び水の被害が予想される所では、全面的に防水層を施工していない場所でも、次の下地処理を行う。
適用箇所（※図示 ・ ）
イ.コンクリートブロック積みの場合は、コンクリートの立上がりを設ける。
ロ.コンクリートスラブと立上がりとの打継ぎ部分には、幅500mm程度でウレタン系塗装防水を行う。

8 その他

10 石工事

1 施工

石材の割付け ・図示 (10.1.3)
屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ
・行う（適用箇所 ・全て ・ ）
・行わない
剛性の確保
石材の剛性が不足する場合には、FRP補強などの処理を行う。

2 石材等

天然石 (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法	表面仕上げの種類	バフ仕上げの有無	備考
		・図示による			

石の品質
床用石材 ※ ２等品 ・ １等品 ・
壁及びその他の石材 ※ １等品 ・ ２等品 ・

テラゾブロック (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300×300 ・400×400		

取り付用モルタル，既調合の目地モルタル，浸透性吸水防止剤，石裏面処理材，裏打ち処理材，金物の固定に使用する充填材 (10.2.3)
※石材施工業者の指定する製品 ・

3 外壁湿式工法

受金物 材質 ※ステンレス(SUS304)製 ・ (10.2.2)
形状及び寸法
※L-75×75×6(mm)
（・長さ=100mm ・長さ=150mm）
・
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400 ・ 寸法：
あと施エアンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： ・ 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・
ドレンパイプの材質 (10.2.3)
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・SUS 304
石材の厚さ(mm) ・ (10.3.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.3.3)
・流し筋工法
・あと施工アンカー工法
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・ (10.3.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

4 内壁空積工法

受金物 材質 ステンレス(SUS304)製 ・ (10.2.2)
形状及び寸法
※L-75×75×6(mm)
（・長さ=100mm ・長さ=150mm）
・
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：※SS400 ・ 寸法：
あと施エアンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： ・ 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・
石材の厚さ(mm) ・ (10.4.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 (10.4.3)
・あと施工アンカー工法
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・ (10.4.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※6m程度ごと
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

10 石工事〈続き〉

5 外壁乾式工法

外壁乾式工法の方式による金物の種類，形状，寸法等 (10.2.2)
※標準仕様書表10.2.4による
方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
・図示による
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
材質：ステンレス(SUS304)製 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： ・ 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・
石材の厚さ(mm) ・ (10.5.2)
だぼ用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による ・図示による
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (10.5.3)
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力に対応）
・適用しない
目地 目地幅(mm) ※8以上 ・ (10.5.3)
シーリング材 ・適用する（ ※標準仕様書9.7による ・図示 ）
・適用しない
立上り部
特記なき限り外壁湿式工法にならうこと
ドレインパイプ ※SUS 304
裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない

6 床及び階段の石張り

石材の厚さ(mm) 床（ ），階段（ ） (10.6.2)(10.6.3)
床石張り (10.6.2)
浸透性吸水防止剤 ・適用する ・適用しない
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
階段張り (10.6.3)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示による ・ (10.6.2)(10.6.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと，細長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

7 アーチ，上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1)(10.7.2)
取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法
外壁湿式工法又は内壁空積工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による ・図示
乾式工法の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス(SUS 304)径6mm長さ80mm（加工物）
・
吊りボルト ※ステンレス(SUS 304)M10化粧ナット付き

・設けない
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ※ステンレス(SUS 304) M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法（材質： 寸法： ）
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・図示

7 笠木，甲板等の石張り

取付け工法 (10.7.2)(10.2.2)
・湿式工法 ・乾式工法
湿式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(1)による
・図示による
乾式工法の取付け金物 ・標準仕様書10.2.2(2)による
・図示による
方式 ・スライド方式
・ロッキング方式
特殊部位用金物 ・標準仕様書10.2.2 (3)による
・図示による
ファスナー ・図示による
アンカーの材質及び寸法 (10.2.2)
湿式工法の材質：ステンレス(SUS304)製 ・ 寸法：
乾式工法の材質：SS400 ・ 寸法：
あと施工アンカーの種類，材質及び寸法
種類： 材質： ・ 寸法：
上記以外の金物の材質，形状及び寸法
・図示による ・
石材の厚さ(mm) ・ (10.7.2)
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(2)による
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
目地 (10.7.2)
湿式工法の場合
一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・ (10.3.3)
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による
乾式工法の場合
目地幅(mm) ※8以上 ・ (10.5.3)
シーリング材 ・適用する（ ※標準仕様書9.7による ・図示 ）
・適用しない

8 隔て板

石材の厚さ(mm) ※40 ・ (10.7.3)

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 ※標準仕様書表11.1.1による (11.1.3)
・図示による

2 見本焼，試験施工

見本焼き ・行う ・行わない (11.1.4)
試験張り ・行う ・行わない

③セメントモルタルによるタイル張り【役場】

タイルの形状，寸法等 (11.2.7)(11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	施ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
内部床			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

⊙図示（材料表による）
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル (11.2.3)
⊙既調合モルタルの製造所の仕様による
・
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして，セメント，細骨材，混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法 (11.2.6)
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
・
壁タイル張りの工法 (表11.2.3)
内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

④ 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状，寸法等 (11.3.2～11.3.4)(11.3.7)

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	施ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
内部壁			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

⊙図示（材料表による）
接着剤のホルムアルデヒド放散量 (11.3.3)
※Ｆ☆☆☆☆
※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
外装タイルにおける目地詰め (11.3.3)(11.3.5)
・行う ・行わない
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
目地のシーリング材 (11.3.4)
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地
※変成シリコーン系シーリング材 ・
その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材 ・

下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理 (11.3.5)
・目荒し工法（標準仕様書15.3.4(4)による）
・MCR工法（標準仕様書6.8による）
・レイタンス除去（下地2mにつき6mm以下）
・レイタンス除去＋有機系下地調整剤（下地2mにつき6mm以上）
施工計画を監督職員に提出し承諾を受ける。
また、目荒らしの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
接着力試験（屋外及び屋内の吹抜け部分のタイル張り） (11.1.5)
※行う ・行わない

5 役物タイル

※ 外壁部窓マグサ ・ 外壁柱梁型及び壁の出隅部等標準的な曲がり部には役物タイル（一体成形）を使用する。

6 落下防止

※ 外壁窓マグサ部廻り・小口タイル以上の外壁耐震目地廻りにはステンレスなまし鉄線で落下防止処理を行うこと。
その他監督職員の指示するものも同様とする。
(11.1.3)

12 木工事

① 施工一般

ホルムアルデヒド放散量 (12.2.1)
※標準仕様書12.2.1(ｳ)のいずれかによる ・

② 製材G

「JAS1083-5（製材-第5部：下地用製材）」に基づく製材 (12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
		※2級 ・		※A種 ・B種 ・	
		※2級 ・		※A種 ・B種 ・	

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）

「JAS1083-2（製材-第2部：造作用製材）」に基づく製材 (12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・		※A種 ・B種 ・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・		※A種 ・B種 ・	
				※A種 ・B種 ・	

間伐材等の適用 ・する ⊙しない（施工箇所： ）

「JAS1083-6（製材-第6部：広葉樹製材）」に基づく製材 (12.2.1)(表12.2.1)

施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・	
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・	

「JAS1083」以外の製材 (12.2.1)(表12.2.1)(表12.2.2)(12.2.3)

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種） ・	※A種 ・B種 ・	・行う ・行わない
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種） ・	※A種 ・B種 ・	・行う ・行わない

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）

③造作用集成材G

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
カウンター		ひのき	図示		※1等 ・2等
手摺		ひのき	図示		※1等 ・2等

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）
※図中に記載のヒノキ集成材はすべて徳島県産材とすること。
⊙「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質
和室	図示	化粧薄板：図示 芯材：図示	図示	図示	図示	※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)
				※15以下 ・
				※15以下 ・

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)
		化粧薄板： 芯材：				※15以下 ・
		化粧薄板： 芯材：				※15以下 ・

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）

④造作用単板積層材G

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
「JAS1083-6（単板積層材）」に規定する造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	防虫処理
ボックス	バイン	図示	⊙有り （加工：⊙天然木化粧加工 ・塗装加工） ・無し （等級：・1等 ・2等 ・3等）	・行う ⊙行わない

間伐材等の適用 ⊙する ・しない（施工箇所： ）

「JAS3079（直交集成材）」に規定する造作用単板積層材 (12.2.1)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）

⑤合板等

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
⊙「合板の日本農林規格」による普通合板G (12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
役場庁舎議場		※5.5 ・	図示	※1類 ・2類	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上 ・	⊙行わない
押入れ		⊙5.5		※1類 ・		⊙行わない

間伐材等の適用 ⊙する ・しない（施工箇所： ）
⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板G (12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
畳床下地 フローリング張下地材	※12 ・	・1級 ※2級以上	針葉樹	※1類 ・特類	・ ※C-D以上		・行う ⊙行わない	・適用する （ ） ⊙適用しない
	※12 ・	・1級 ※2級以上		※1類 ・特類	・適用する		・行う ・行わない	・適用する （ ） ・適用しない

間伐材等の適用 ⊙する ・しない（施工箇所： ）
接着の程度 常温湿潤状態となる場所での使用
※特類
その他の場合
※1類以上
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板G (12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・1類 ・特類	・行う ・行わない

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板G (12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・行う ・行わない

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板G (12.2.1)(12.3.2)

施工箇所	品目	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
			・1類 ・2類		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）
・パーティクルボードG (12.2.1)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※MR1(M)又はMR2(P)タイプ ・		※15 ・

「JAS0360（構造用パネル）」に基づく構造用パネル (12.2.1)

施工箇所	等級	品目	寸法(mm)
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級		
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級		

・ＭＤＦG

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

間伐材等の適用 ・する ・しない（施工箇所： ）

⑥接合具等

造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)
⊙適用する（※隠し釘打ち ・ ） ・適用しない
諸金物の形状，寸法及び材質 (12.2.2)(表12.2.3～表12.2.5)
※標準仕様書12.2.2(2)(ｱ)による
接着剤（木れんが用接着を含む）のホルムアルデヒド放散量 (12.2.2)(12.2.3)

※Ｆ☆☆☆☆ ・

⑥接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。 (12.2.2)(12.2.3)
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・

7 防腐・防蟻処理

・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1)
適用部材：（ ）防腐・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材

・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理 (12.3.1)

適用部位	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 (12.3.1)

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部位：（ ）

・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部位：（ ）

8 間仕切軸組に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松 ・ (12.4.1)

9 床組に用いる木材

（土間スラブの土台，転ばし大引き及び転ばし根太は除く） (12.4.1)
※（製材を用いる場合）杉又は松 ・

⑩ 窓，出入口，その他に用いる木材

※（製材を用いる場合） (12.5.1)
吊元枠，水掛りの下枠及び敷居は，ひのき，その他は，松又は杉

⑪ 絶甲板及び上がまちに用いる木材

※（製材を用いる場合）ひのき ・ (12.6.1)

⑫ 壁及び天井に用いる木材

※（製材を用いる場合）杉又は松 ⊙ ひのき (12.7.1)

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺 【役場】

材料 (13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量等	葺板の寸法・厚さ(mm)	屋根葺形式	下地	留め付け方法
役場庁舎 屋根 駐車場棟1 屋根	※JIS G 3322 の屋根用ｺｲﾙ ・JIS G 3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・JIS G 3320 塗装ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	図示（材料表）	※0.4 ⊙0.5	⊙立て平葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ⊙平葺き		

下葺材料 ⊙アスファルトルーフィング940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
・一般タイプ
・複層基材タイプ
・粘着層付タイプ

工法 (13.2.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ⊙1.3 ）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・図示による ・
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め ・けらば包み納め
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
雪止め ・設置する（・図示 ・ ）

2 折板葺

材料 (13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高，山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板
	・重ね形, ・はぜ締め形 ・かん合形			（ ）種	※鋼板製 ・**アルミニウム**合金板製		・有り ・無し

材質の種類（ ）
塗膜の耐久性の種類，めっき付着量等（ ）
断熱材 ・有り（種別： 厚さ(mm)： 防火性能： 時間）
・無し

工法 (13.3.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法
・図示による ・
耐雪性能に応じた工法
・適用する（・図示 ・ ） ・適用しない
折板のけらば納め ※けらば包みによる方法 ・

3 粘土瓦葺

材料 (13.4.2)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用
							・適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験 ・行う ・行わない
瓦桟木 材質 ※杉 ・
寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 ・
棟補強用心材 材質 ※杉 ・
寸法 ※幅40×高さ30(mm)以上 ・
瓦緊結用釘又はねじ 種類 ・
径 ・
長さ ・
棟補強等に使用する金物等
材質 ・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状 ・
寸法 ・
留め付け方法 ・

工法 (13.4.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3 ）倍の風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法などの工法
風圧力 ・図示による ・
地震力 ・図示による ・
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値（ ）mm
瓦桟木の留付け工法 ・図示による ・
棟の工法 ・７寸丸伏せ棟又はＦ型用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟 ・
面戸，雀口，葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタルによる ・瓦葺き用しっくいによる

④ とい

材料 (13.5.2)(表13.5.1)
といの材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・
（防火区画貫通部分及び前後1mを不燃材料とする）
・ 配管用ステンレス鋼管 ｽﾃﾝﾚｽSUS304 ・耐火二層管 ・アルミ管
⊙ アルミ（バンドレス） ⊙硬質ポリ塩化ビニル管カラーVP（屋外）
・表面処理鋼板
・表面及び裏面の塗膜の種類（ ）
・耐酸被覆鋼板
とい受金物
とい受金物の材種，形状，取付け間隔
※表13.5.2による ・
足金物の材種，形状，取付け間隔
※表13.5.2による ・
・多雪地域の場合の軒どいの取付間隔0.5m以下
・図示による
防露材のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

工法 (13.5.3)
鋼管製といの防露巻きの工法
※標準仕様書 表13.5.4による ・

⑤ ルーフドレン

JCW 301によるルーフドレインの種類及び呼び (13.5.2)

種類		材種	工法	呼び	施工個所
・ろく屋根用たて形	ねじ込み式	・鋳鉄製 ・ｽﾃﾝﾚｽSUS304	・先付け ・後付け	・	
⊙ろく屋根用横形	ねじ込み式	⊙鋳鉄製 ・ｽﾃﾝﾚｽSUS304	⊙先付け ・後付け	・	
⊙バルコニー中継用	・ねじ込み式 ・差し込み式	⊙鋳鉄製 ・ｽﾃﾝﾚｽSUS304	⊙先付け ・後付け	・	
⊙バルコニー用	・ねじ込み式 ・差し込み式	⊙鋳鉄製 ・ｽﾃﾝﾚｽSUS304	⊙先付け ・後付け	・	
・				・	

14 金属工事

① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)

種 別	施工箇所（成型板，笠木，建具以外）	性能	色合い等
・AB-1種			
・AB-2種			
・AC-1種			
・AC-2種			
・BA-1種			
⊙BA-2種	外部アルミパネル		
・BB-1種			
・BB-2種			
・BC-1種			
・BC-2種			
・C種			

・常温乾燥形の塗装の場合（ ）
陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 (14.2.1)
アルミニウム表面処理における性能区分は以下による。
（JIS H8602-2010）
A1：屋外（過酷環境かつ紫外線露光量の多い地域）
鹿児島県の南部の島から琉球列島に属する島(JIS Z2381 付属書1参照)
A2：屋外（過酷環境）
海岸線から300m以内の地域、及び海岸線から300mを超えて2km以内の地域(JIS Z2381 付属書1参照)
B ：屋外（一般環境）
工業地域、都市地域、田園地域(JIS Z2381 付属書1参照)
C ：屋内

② 鉄鋼の亜鉛めっき

鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所（手すり，タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	⊙A種	⊙ 屋外鉄骨フレーム ・ 階段他
	⊙B種	⊙ 軒天内鉄骨
	・C種	
電気亜鉛めっき	⊙D種	⊙ PC，押出成形セメント板，ALC取付ファスナー他
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋外 ※25型 ・19型
屋内 ※19型 ・25型
⊙屋外の場合の形式及び寸法
野縁受，つりボルト，インサートの間隔及び周辺部端からの距離
⊙図示による ・
野縁の間隔
⊙図示による ・

工法 (14.4.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1 ・1.15 ⊙1.3 ）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
⊙つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示による ・
⊙天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示による ・
⊙天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所，補強方法 ※図示による(緊結在来天井) ・
大空間天井の下地補強及び壁とのクリアランスは図示による
⊙屋外の軒，ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所，補強方法 ※図示による ・
・特定天井
※図示 ・
・天井面構成部材などの単位面積当たり重量が20kg/㎡を超える天井
※図示 ・
⊙傾斜、段差、曲面等の水平でない天井
※図示 ・
・システム天井

方式	バー材種	天井材厚さ（mm）	施工箇所	備考
・ライン方式	・アルミニウム製	・ロックウール（ ・ ）		
・クロス方式	・スチール製	・グラスウール（ ）		
・ロ型方式		・		
・	・	・		・

※ 工法規格はメーカーの基準による。
・ 耐震対策 ※ 振れ止め補強有り（ ） ・ 無し
※ 設備機器緊結有り（ ） ・ 無し

④ 軽量鉄骨壁下地

スタッド，ランナーの種類 (14.5.3)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
⊙図示による ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 (14.5.4)
※標準仕様書14.5.4(5)による ・図示による

5 金属成形板張り

種別 ・図示による ・ (14.6.2)
表面処理 ・図示による ・ (表14.2.1)

取付け用下地 (14.6.3)
※標準仕様書14.4 による ・図示による
伸縮調整継手 ・設ける（施工箇所 ・図示 ・ ） (14.6.3)
・設けない

6 アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表14.7.1)
・250形 ・300形 ・350形 ・図示
表面処理 種別（ ）種 (14.7.2)(表14.2.1)
色合等 ・標準色（ ）
・特注色（ ）
笠木の固定金具の工法等 (14.7.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による
(14.1.3)

15 左官工事

1 ラス系下地

下地の種類 (15.2.4)
・通気工法 （ ・二層下地 ・単層下地 ）
・直張り工法 （ ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ）
・図示による（外張断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する形式の通気工法を行う場合）

材料 (15.2.4)
ラス材及び補強用平ラス
材料記号（※K ・ ）
種類及び単位面積当たりの質量
・二層下地通気構法
・波形ラス(W700) ・こぶラス（K800） ・カ骨付きラス(BP700)
・単層下地通気構法
・リブラスC(RC800)にターポン紙などの裏打ち材と一体化したラス
ラスシートの山高，山ピッチ，質量及び溶接ピッチによる区分
※LS4（耐力壁の場合） ・
ステープルの形状及び寸法
リブラス
※L925TS以上（リブラスC（RC800）の場合）
・
波形ラス
※L1019JS以上（波形ラス（W700）の場合）
・

施工 (15.2.4)
二層下地通気構法
換気口部の措置 ※講ずる ・
直張り工法（ラスシートモルタル下地の場合）
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工
・図示による ・

② せっこうボード，その他のボード下地

材料 (15.2.5)
せっこうボード，せっこうラスボード及び木質系セメント板の種類及び厚さ
せっこうボード 種類（ ） 厚さ（ mm）
せっこうラスボード 種類（ ） 厚さ（ mm）
木質系セメント板 種類（ ） 厚さ（ mm）

3 こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・なし ・あり (15.2.6)

4 木ずり下地

材料 (15.2.7)
木ずり用小幅板の材種 ※杉（心去り材） ・

⑤ モルタル塗り

モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 (15.3.2)
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ (15.3.2)
・設けない
床の目地 ⊙設ける (15.3.5)
目地割 ※2㎡程度（最大目地間隔3m程度） ・
種類 ※押し目地 ・
・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 (15.3.5)
・行う ・行わない
コンクリート躯体表面の処理
目荒し工法（高圧水洗）：吐出圧、ノズル距離、運行速度は事前に試験施工を行い、監督職員の承諾を受けること。 (15.3.4)

⑥ セルフレベリング材塗り 【消防】

⊙せっこう系 ・セメント系 (15.5.2)(表15.5.1)

⑦ 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2)
※Ｆ☆☆☆☆ ・
材料 (15.6.2)
⊙薄付け仕上塗材 (表15.6.1)(その1)

呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
⊙外装薄塗材E （仕上塗材A）	・砂壁状 ⊙ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	⊙吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ⊙適用しない
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

（備考）E=合成エマルション系 S=合成樹脂溶液系 W=水溶性樹脂
C=セメント系 CE=ポリマーセメント系 SI=けい酸質系
RE=反応硬化形合成樹脂エマルション系 RS=合成樹脂溶液系

・厚付け仕上塗材 (表15.6.1)(その2)

呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用しない
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用しない
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない

外装厚塗材Cにおける上塗材がセメントスタッコ以外の場合
（ ）
外装厚塗材Si，外装厚塗材Eにおける上塗材の適用
・適用する ・適用しない

・複層仕上塗材 (表15.6.1)(その3)
・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐侯形３種 ・	・適用する ・適用しない
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐侯形３種 ・	・適用する ・適用しない
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	・耐侯形３種 ・	・適用する ・適用しない
・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け		・適用する ・適用しない
・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り		・適用する ・適用しない

複合仕上げ塗材の上塗材 (15.6.2)(表15.6.2)
樹脂 ・アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系
・アクリルシリコン系 ・ふっ素系
外観 ・つやあり ・つやなし ・メタリック
溶媒 ・溶剤系 ・弱溶剤系 ・水系
⊙セラミックシリコン樹脂系多意匠装飾仕上塗材(仕上塗材B)
ひび割れ追従性、密着性を有する塗材

15 左官工事〈続き〉

8 マスチック塗材塗り
種別　・A種　・B種　(15.7.2)(表15.7.1)

9 しっくい塗り
下地（　　）　(15.10.1)
・標準仕様書15.10.1による場合以外の下地への適用
（　　）
材料　(15.10.2)
・標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)，(ｲ)による
色しっくい　・適用する　・適用しない
調合及び塗厚　(15.10.3)(表15.10.1～表15.10.4)
既調合しっくい　※標準仕様書表15.10.3(1)による
・
現場調合しっくい　※標準仕様書表15.10.3(2)による
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法　(15.10.4)(表15.10.5)
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

10 こまい壁塗り
材料　(15.11.2)
土壁用ののりの種類　※つのまた　・ふのり
・ぎんなんそう　・粉末海藻
砂壁用ののりの種類　※ふのり　・つのまた
・こんにゃくのり　・にかわ　・合成高分子系混和剤
色土の種類　・土物仕上げ（　　）　・大津仕上げ（　　）
色砂の種類　・天然砂と岩石の砕砂　・人工的に着色　・製造したもの
調合　下塗りの調合　※標準仕様書表15.11.2による　・　(15.11.3)
塗厚　※標準仕様書表15.11.8による　・　(15.11.4)
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
・図示による　・
工程　こまい壁　※A種　・B種　(15.11.5)(表15.11.9)
土物仕上げの工法　(15.11.7)
・土物仕上げ工法
・水こね土物1工法　・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
大津仕上げ　(15.11.8)
・普通大津仕上げ工法　・大津みがき工法
ちりじゃくり　・図示による　・　(15.11.7)(15.11.8)

⑪ ロックウール吹付け
ロックウールのホルムアルデヒド放散量　(15.12.2)
※Ｆ☆☆☆☆　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・
仕上げ吹付けによる厚さ（mm）　(15.12.3)
⊙図示による　・

16 建具工事

① 防火戸
⊙建具表による　・　(16.1.3)
⊙防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について，連動させる装置等
⊙建具表による　・

2 見本の製作等
建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　(16.1.4)
・行わない
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　(16.1.4)
・行わない

③ 防犯建物部品
・適用する（適用箇所　・建具表による　・　　）　(16.1.6)
・適用しない

④ アルミニウム製建具
性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による）　(16.2.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　・図示による
外部に面する建具の種別
※標準仕様書表16.2.1，表16.2.2による
⊙耐風圧 S-5(2400Pa) 気密性 A-4　水密性W-5
⊙防音ドア，防音サッシとする場合　遮音性の等級（⊙T-2　　）
・断熱ドア，断熱サッシⓖとする場合　断熱性の等級（・　　）
表面処理　(16.2.4)
外部に面する建具
種別　・BB-1種　⊙BB-2種　(表14.2.1)
着色　⊙標準色　・特注色
屋内の建具
種別　・BC-1種　・BC-2種　(表14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
ステンレス鋼板の種類　(16.2.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L 又は SUS443J1　・
ステンレス製くつづりの仕上げ　(16.2.4)(16.4.4)
※HL　⊙ 2B
結露水の処理方法　※図示による　・　(16.2.4)
水切り板，ぜん板　※図示による　・　(16.2.5)
木下地の内付け建具　(16.2.5)
・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない

⑤ 網戸等
防虫網の材料　(16.2.3)

種　類	材　種	線　径	網　目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS 316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS 304)製	1.5mm	網目寸法15mm

連窓サッシ
※ 湿式工法で取付ける横連窓長さが5m以上のアルミサッシ方立は上部枠に300×サッシ枠見込巾×厚さ10の弾性緩衝材を敷込む。アンカーは方立上部を避け、150mm以上離した位置とする。
・ 製造業者の連窓サッシ方立のわん曲対応マニュアルによる。

6 樹脂製建具
性能値等（建具符号，枠の見込み寸法は建具表による）　(16.3.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
・建具表による　・図示による
外部に面する建具の種別
※標準仕様書表16.3.1，表16.3.2による
・A種　・B種　・C種　・D種　・E種
・
・防音ドア，防音サッシとする場合の遮音性の等級
・T-1　・T-2
・断熱ドア，断熱サッシⓖとする場合の断熱性の等級
※外部に面する建具は標準仕様書表16.3.3による
・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
ガラス　※複層ガラス　・
ステンレス製くつづりの仕上げ　(16.3.4)(16.4.4)
※HL　・
表面色　・標準色　・特注色　(16.3.4)
水切り板，ぜん板　※図示による　・　(16.3.5)(16.2.5)
木下地の内付け建具　(16.3.5)(16.2.5)
・適用する（建具の製造所の仕様）　・適用しない

⑦ 鋼製建具
性能値等（建具符号は建具表による）　(16.4.2)
簡易気密型ドアセットの気密性等級，水密性等級
⊙標準仕様書表16.4.1による　・建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.1による）
・S-4　⊙S-5　・S-6
・耐震ドアとする場合
面内変形追随性の等級（・　　）
⊙防音ドア，防音サッシとする場合
遮音性の等級（⊙ 建具表による　　）
・断熱ドア，断熱サッシⓖとする場合
断熱性の等級（・　　）
ステンレス鋼板の種類　(16.4.3)(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L 又は SUS443J1　・
点検口の類のくつづりの材料　(16.4.3)
・
鋼板類の厚さ（mm）　(16.4.4)
※標準仕様書表16.4.2による　・
ステンレス製くつづりの仕上げ　(16.4.4)
※HL　⊙ 2B
標準型鋼製建具の有効内法寸法（表16.4.5による）　(16.4.6)
⊙適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）

⑧ 鋼製軽量建具
性能値等（建具符号は建具表による）　(16.5.2)
簡易気密型ドアセット
・A-3　⊙建具表による
・耐震ドアとする場合
面内変形追随性の等級（・　　）
⊙防音ドア，防音サッシとする場合
遮音性の等級（⊙建具表による　）
・断熱ドア，断熱サッシⓖとする場合
断熱性の等級（・　　）
鋼板の種類　(16.5.3)
⊙亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
召合せ，縦小口包み板の材質　※鋼板　・　(16.5.3)
鋼板の厚さ（mm）　※標準仕様書表16.5.1による　(16.5.4)
・図示による
ステンレス製くつづりの仕上げ　(16.5.4)(16.4.4)
※HL　・
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法（表16.4.5による）　(16.5.6)
⊙適用する（建具符号，形式及び寸法は建具表による）

⑨ ステンレス製建具
性能値等（建具符号は建具表による）　(16.6.2)
耐風圧性等級，気密性等級，水密性等級
⊙建具表による　・
外部に面する建具の種別
・S-4　・S-5　⊙S-6
・耐震ドアとする場合
面内変形追随性の等級（・　　）
・防音ドア，防音サッシとする場合
遮音性の等級（・　　）
・断熱ドア，断熱サッシⓖとする場合
断熱性の等級（・　　）
ステンレス鋼板の種類　(16.6.3)
※SUS304，SUS430J1L 又は SUS443J1　・
表面仕上げ　※HL　⊙建具表による　(16.6.4)
ステンレス製くつづりの仕上げ　(16.6.4)(16.4.4)
※HL　⊙ 2B
ステンレス鋼板の曲げ加工　(16.6.5)
※普通曲げ　⊙角出し曲げ（b角）

⑩ 木製建具
建具材の加工，組立時の含水率　(16.7.2)(表16.7.1)
※Ａ種　・Ｂ種
接着剤のホルムアルデヒド放散量　(16.7.2)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・
枠，くつずりの材料　⊙建具表による　・　(16.7.2)
⊙フラッシュ戸　(16.7.2)(表16.7.2)
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備　考
⊙普通合板Ⓖ	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ 板面の品質　※広葉樹1等　・ ・（　　）	
・天然木化粧合板Ⓖ	樹種名（　　） 接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（　　）	
・特殊加工化粧合板Ⓖ	接着の程度 ※水掛り箇所1類，その他2類以上 ・ ・（　　）	
・ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）	表裏面の状態による区分（　　） 曲げ強さによる区分（　　） 接着剤による区分（　　） 難燃性による区分（　　） ・（　　）	

表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書16.7.2(ｲ)(a)による　・
表面板の厚さ　(16.7.3)
※表16.7.6による　・
引戸の定規縁　(16.7.4)
・召し合せかまちをいんろう付きとする
・かまち戸　(16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
⊙ふすま　(16.7.2)(表16.7.3)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)(表16.7.10)
種別，工法　⊙Ⅰ型　・Ⅱ型
上張り　・鳥の子　⊙新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上　・塗り縁　・生地縁（素地）⊙生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
⊙戸ぶすま　(16.7.2)(16.7.3)(表16.7.7)(16.7.4)
表面材の種類，品質等（　　）
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子　(16.7.3)(表16.7.7)
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

⑪ 建具用金物
金物の種類・見え掛り部の材質等　(16.8.2)
※標準仕様書表16.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による　・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による　・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による　・
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による　・
握り玉，レバーハンドル，押板類，クレセントの取付位置　(16.8.3)
⊙建具表による　・
錠前類
⊙建具表による　・
クローザ類
⊙建具表による　・

⑫ 鍵
マスターキー　⊙製作する（役場、消防毎に必要）・製作しない　(16.8.4)
鍵の制作本数　※各室３本１組　・
鍵箱　※有り　・無し
・ 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第７条に基づくシリンダー錠の防犯性能
※ 要（・ 5分未満　※ 5分以上　・ 10分以上）　・ 不要

⑬ 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式　⊙図示による　(16.9.2)
自動ドア開閉装置の性能　(16.9.2)
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合，標準仕様書表16.9.1による
防鏡の適用　⊙適用する　・適用しない　(16.9.2～5)
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
※標準仕様書表16.9.2による
防鏡の適用　・適用する　・適用しない
検出装置の性能
※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書表16.9.3による
防鏡の適用　⊙適用する　・適用しない
・
引き戸用検出装置の種類は標準仕様書表16.9.4による　(16.9.2)
種類　⊙光線（反射）センサー　・熱線センサー
・音波センサー　・光電センサー
・電波センサー
・タッチスイッチ
（・無線式タッチスイッチ　・光電式タッチスイッチ）
・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ
（・大形（開・閉）押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ）
凍結防止措置　(16.9.2)
・適用する　⊙適用しない

⑭ 自閉式上吊り引戸装置
性能　(16.10.3)
※標準仕様書表16.10.1による　・図示による

⑮ 重量シャッター【消防】
シャッターの種類　・管理用シャッター　(16.11.2)
⊙外壁用防火シャッター
⊙屋内用防火シャッター
⊙防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター　耐風圧強度（ 基準法による）
開閉方式の種類（標準仕様書表16.11.1）　(16.11.2)
※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置の設置箇所　(16.11.2)
急降下制御装置又は急降下停止装置の設置個所
⊙図示による　・
障害物感知装置の設置個所　⊙図示による　・
危害防止機構の設置個所　⊙図示による　・
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない　(16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板　(16.11.3)
鋼板の種類　⊙JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ステンレス鋼板の種類　(16.11.3)(16.6.3)
※ SUS304，SUS430J1L 又は SUS443J1　・

16 軽量シャッター
開閉形式　※手動式　・電動式（手動併用）　(16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度（　）Pa
電動式の場合の安全装置
障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
スラットの材質の種類　(16.12.3)
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　※Z06又はF06　・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　※AZ90　・
スラットの種類　(16.12.4)
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア
区分，材料　(16.13.2)(16.13.3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所　・図示（　　）

⑱ ガラス
適用は以下によるほか，ガラスの種類，厚さの組合せは建具表及び図示による。(16.14.2)
⊙フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
⊙図示（※建具表　・　）による　・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙図示（※建具表　・　）による　・
⊙網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状，板の表面の状態，厚さの呼びによる種類
⊙図示（※建具表　・　）による　・
・合わせガラス
材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，合わせガラスの合計厚さ，特性による種類
・図示（※建具表　・　）による　・
⊙強化ガラス
形状による種類，材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む），特性による種類
⊙図示（※建具表　・　）による　・
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類，厚さによる種類，性能による種類
・図示（※建具表　・　）による　・
⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類，厚さの組合せ，複層ガラスの厚さ，断熱性による区分，日射取得性及び日射遮蔽性による区分，乾燥気体の種類
⊙図示（※建具表　・　）による　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類，厚さによる種類，日射熱遮へい性及び耐久性による区分
・図示（※建具表　・　）による　・
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類，厚さによる種類
・図示（※建具表　・　）による　・
⊙耐熱強化ガラス

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(16.14.3)(図16.14.1)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・

16 建具工事〈続き〉

19 ガラスブロック

材料等 (16.14.5)

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15	外側	※6mm以下ごとに10～25 ・図示	※無し ・有り
	・160×160	・ 95	・	・	・15～25	※15以下		
			・	・	・			
	・200×200	・ 95	・	・		内側 ※6以上 ・		
		・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は，ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・ ）
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS 304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
シーリング材の種類 （ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示による ・
形状 ・図示による ・
工法 (16.14.5)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・図示による ・
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（ ）
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による

⑳ 倍強度ガラス及び強化ガラス 耐熱強化ガラス

本項は倍強度及び強化ガラス・耐熱強化ガラスを使用するすべての箇所に適用する。
倍強度ガラス
・表面圧縮応力度の管理を行う。
・管理値はASTM Internationalの基準を採用し，52Mpaを上限とし，下限値はJISに基づき20Mpaとする。
・サンプリング 50枚以下の場合は全数検査。50枚を超える場合は50枚か，製造日，大きさ，厚さのそれぞれ毎に2枚以上のどちらか多いほうの数の検査を行う。
強化ガラス・耐熱強化ガラス
⊙ヒートソーク処理を全数行う。

17 カーテンウォール工事

1 取付方法，性能等

性能 (17.1.3)

耐風圧性	耐震性能 水平方向(kN)	耐震性能 垂直方向(kN)	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性(℃)	遮音性	断熱性
	・1.0	・0.5			・30分	・80		
	・	・			・1時間	・70		
						・60		

性能の確認方法及び判定方法 (17.1.3)
※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料

2 メタルカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による (17.2.2)
金属系材料の種類
・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材
（アルミニウム材の場合）
規格等 標準仕様書16.2.3による
種別 ・ (表14.2.1)
着色 ・標準色 ・特注色
映像調整 ・行う ・行わない
シーリング材（ガラスの取付けは除く） (17.2.2)
下表以外は標準仕様書表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料 (17.2.2)
・シーリング （種類： ）
・構造ガスケット （材質，形状等・図示 ・ ）
断熱材 (17.2.2)
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
施工箇所・図示による ・
形状及び仕上げ (17.2.3)
製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による ・
見え掛かり部の仕上げ ・
ガラス溝の寸法，形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 ・
取付け (17.2.5)
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.2による ・図示による
鉛直方向 ※±10mm ・
垂直方向 ※±25mm ・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.3による ・図示による
目地の幅 ※±3mm ・ mm
目地の芯の通り ※＋2mm ・ mm
目地両側の段差 ※＋2mm ・ mm
各階の基準墨から各部材までの距離 ※±3mm ・ mm
ガラスの取付け方法 (17.2.6)
・

3 PCカーテンウォール

適用は以下によるほか，カーテンウォール図による (17.3.2)
材料
コンクリート 種類（ ）
品質 設計基準強度(Fc) ※30N/mm² ・
スランプ ※12cm ・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合 2.1t/m³ を超え2.5t/m³ 以下
・
単位水量の最大値 ※185kg/m³ ・
鉄筋 種類記号 ※SD295 ・
補強鉄線 径（mm） ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法 ・
シーリング材 (17.3.2)
下表以外は標準仕様書表9.7.1による

被着体の組合せ	シーリング材の種類 記号	シーリング材の種類 主成分による区分

ガラスの取付け材料 (17.3.2)
・構造ガスケット （材質，形状等・図示 ・ ）
耐火目地材 ・ (17.3.2)
断熱材 (17.3.2)
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
施工箇所・図示による ・
先付けの材料 (17.3.2)
・先付け材料の仕上材
・石材（ ・花こう岩 ・大理石 ・ ）
・セラミックタイル
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ (17.3.3)(表17.3.1)
製品の見え掛り部の寸法許容差
※標準仕様書表17.3.1による
・上記以外
辺長 （ mm）対角線長の差（ mm）版厚（ mm）
開口部内法寸法（ mm）ねじれ，そり（ mm）
曲がり （ mm）面の凹凸 （ mm）
先付け金物の位置（ mm）
カーテンウォールの仕上げ ・図示による
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・図示による ・
製作 (17.3.4)
配筋 ・図示による ・
取付け (17.3.4)
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.2による ・図示による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
※標準仕様書表17.3.2による ・図示による
ガラスの取付け方法 (17.3.6)
・
PC取付用ブラケットは鉄骨工事とし，二次ファスナー以降はPC工事とする。

4 一般事項

設計図書による規定の他，特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
総合図（施工図）
イ．工事に先立ち，総合図を作成し監督職員の承諾を受ける。
ロ．総合図には特に下記の事項を記載する。
層間変位追従方式（構造体への取付部，ユニット間の接合部），パネル割付，ガラス厚と割付・取付金物配置、部材断面、ブレキャストコンクリートパネルの配筋及び埋込金物、パッキング・シール材・インシュレーション・スペリ材、層間区画部分の耐火被覆、表面処理・裏面処理、結露水及び浸入水の排水経路、防水層とパラペット笠木の取合い等の必要事項。
施工計画書
イ．工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員に提出し、承諾を受ける。
ロ．施工計画書は特に下記の留意事項について作成する。
カーテンウォールの性能書（各種計算書・建具性能試験報告書・シーリング資料など）添付。
材料の加工方法・接合方法、組立要領、製品精度、防食処理、摩擦音の防止方法、仕上げの材料、工法、品質管理及び規格同証明、検査基準要領、取付け方法、取付け精度等。
試験
・ 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う
・ 試験の種類・耐風圧（ ）・耐震（ ）・水密（ ）・気密 （ ）・
遮音（ ）
・ 試験体の製作 ※ 製作しない・製作する（寸法※ 実物大 ・ ）

18 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
※Ｆ☆☆☆☆ ・
・防火材料
・屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所： ）

② 素地ごしらえ

種別 (18.2.2～18.2.7)(表18.2.1～表18.2.7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り(DP)の場合	※B種 ・A種 ・C種
	上記以外の場合	※C種 ・A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面		**塗り工法に応じた節の規定による**
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP）		**塗り工法に応じた節の規定による**
押出成形セメント板面		**塗り工法に応じた節の規定による**
せっこうボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
及びその他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2)(18.3.3)(表18.3.1～表18.3.4)

下地面等		錆止め塗料の種別		工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種	※A種 ・B種
		DP	1回目 C種 2，3回目 D種	標準仕様書 表18.3.4
		EP-G	※B種 ・A種	※A種 ・B種
	見え隠れ部分	SOP	A種	※B種 ・A種
		DP	1回目 C種 2，3回目 D種	標準仕様書 表18.3.4
		EP-G	※B種 ・A種	※B種 ・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	SOP	※A種 ・B種	※A種 ・B種
		DP	B種	標準仕様書 表18.3.6
		EP-G	C種	※A種 ・B種
	鋼製建具以外	SOP	※B種 ・A種	※B種 ・A種
		DP	B種	標準仕様書 表18.3.6
		EP-G	C種	※B種 ・A種

④ 塗装

種別 (18.4.1～18.12.2)(表18.4.1～表18.12.1)

塗装		種別
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・B種
	木部屋内	※B種 ・A種
	鉄鋼面	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.4.3
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種
⊙アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	標準仕様書 表18.7.1
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.7.2
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形セメント板面	⊙A種 ・B種 ・C種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面，モルタル面等	※B種 ・A種
	木部	標準仕様書 表18.8.2
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面	標準仕様書 表18.8.4
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種 ・A種
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・A種
・ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り	―
	・オイルステイン塗り(OS)	―
⊙木材保護塗料塗り(WP)	屋外	※B種 ・A種

塗料の種類等 (表18.5.1)
クリヤラッカー塗り（CL）
種別がA種の場合における，標準仕様書表18.5.1の工程2
・塗料の種類（ ）
耐候性塗料塗り(DP) (表18.7.2)
上塗り塗料の等級 鉄鋼面 （ 1 ）級
亜鉛めっき鋼面 （ 1 ）級
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (表18.10.1)
標準仕様書表8.10.1の工程1の着色
⊙適用する
オイルステイン塗り(OS)の仕様 (表18.11.2)
・図示による ・

19 内装工事

① 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)(19.3.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.9.3)
※Ｆ☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分
(19.2.2)(表19.2.1)(表19.2.2)
・図示による
下地の施工 (19.2.3)
標準仕様書19.2.3(1)(ｱ)から（ｳ）以外の下地の工法
・図示による

② ビニル床シートⒼ

材料 ※材料表による (19.2.2)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS（複層ビニル床シート） ・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物 ・ ・	※2.0	

接合部の処理 ※熱溶接工法 ・ (19.2.3)

3 ビニル床タイルⒼ

材料 ※材料表による (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT（コンポジションビニル床タイル） ・TT（単層ビニル床タイル） ・FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル） ・FOB（薄型置敷きビニル床タイル）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

④ 特殊機能床

材料 ※材料表による (19.2.2)

シート・タイルの種別	種類	性能	厚さ，寸法，形状(mm)
・帯電防止床シート			厚さ：
・帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：
・視覚障害者用床タイル		―	形状：
⊙耐動荷重性床シート		―	厚さ：
⊙防滑性床シート		―	厚さ：
・防滑性床タイル		―	寸法： 厚さ：

⑤ ビニル幅木

材質 ⊙軟質 ・硬質 (19.2.2)
高さ(mm) ※60 ・70 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・
階段用 ⊙ 型 ・ 型

6 ゴム床タイル

種類 ・単層品 ・積層品 (19.2.2)
色柄 （ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) （ ）

⑦ カーペット敷きⒼ

・織じゅうたん (19.2.2)(表19.3.1)

種別	織り方	パイル形状	色柄等	帯電性	備考
・A種 ・B種 ・C種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ，ﾙｰﾌﾟ併用	・無地 ・柄物 （標準品）	・適用する ・適用しない	

色柄，パイル糸の種類等
※色柄は模様のない無地のもの
・
下敷き材
※JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等・図示・ ）
・適用しない
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ (19.3.3)

・タフテッドカーペット (19.2.2)(19.3.3)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・	・グリッパー工法 ・全面接着工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・			
・レベルループパイル	・			
・カット，ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ8mm ・
・
見切り，押え金物
・適用する（材質，形状等・図示・ ）
・適用しない
・ニードルパンチカーペット
厚さ(mm) （ ）
帯電性 ・適用する
・適用しない
備考 （ ）
⊙タイルカーペット (19.2.2)(19.3.3)(表19.3.2)

種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	備考
※第一種 ・第二種	※ループパイル	※500×500 ・	※6.5 ⊙図示		
・第一種 ・第二種	・カットパイル	※500×500 ・	※6.5 ・		
・第一種 ・第二種	・カット，ループ併用	※500×500 ・	※6.5 ・		

見切り，押え金物 ・適用する（材質，形状等 ・図示 ・ ）
・適用しない
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
下敷き材
※ JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

⑦ 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 (19.4.2)
※Ｆ☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
種類 ※材料表による (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1～19.4.8)

種類	工法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材 （弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材 （エポキシ樹脂塗床材）	・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	
⊙薄膜型塗床材 （エポキシ樹脂塗床材）		※平滑仕上げ	
⊙ｱｸﾘﾙ樹脂塗床材 （JIS K 5970） （防塵塗料塗り）	工程 塗布量(kg/m²) ・ 溶剤 ⊙水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系	表面仕上げ ⊙平滑 ・防滑 仕上げ色 ⊙標準色 ・	

竣工年月日	・ ・	・ ・	
監理者印		・ ・	
		・ ・	
施工者印		・ ・	
		・ ・	

株式会社 大建設計 技にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 特記仕様書（7） SCALE	DWG. NO A-011

19 内装工事〈続き〉

⑧ フローリング張り【役場】

フローリングのホルムアルデヒド放散量 (19.5.2)
※F☆☆☆☆ ・

単層フローリングⒼ (19.5.2～19.5.5)

種　類	工　法	樹種	厚さ，幅及び長さ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	・釘留め工法（根太張り）	※なら・	※標準仕様書表19.5.1による・	・塗装品・無塗装品	・
	・釘留め工法（直張り）	※なら・	※標準仕様書表19.5.3による・		・
	・接着工法	※なら・	※標準仕様書表19.5.5による・		・
・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら・	・	・塗装品・無塗装品	・

複合フローリングⒼ (19.5.2～19.5.5)

種　類	工　法	樹種	厚さ，幅及び長さ	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用
複合フローリング（天然木化粧）	**・釘留め工法（根太張り）**	※なら・	※標準仕様書表19.5.2による・A種 ・B種 ・C種			・
	・釘留め工法（直張り）		※標準仕様書表19.5.4による・A種 ・B種 ・C種			
	⊙接着工法		※標準仕様書表19.5.6による・A種 ・B種 ・C種	・適用する⊙適用しない	⊙塗装品・無塗装品	

接着工法の場合の不陸緩衝材 (19.5.5)
※合成樹脂発泡シート ・
現場塗装仕上 ・行う（施工箇所 ）
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上，ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・行わない

⑨ 畳敷き

種別 (19.6.2)(表19.6.1)
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）
・衝撃緩和型畳 ⊙化学畳
畳表(JIS A 5902) ・ C1 ・ C2
下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロンⒼ)
畳表及び畳床はホルムアルデヒド，アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑩ せっこうボード，その他ボード及び合板張り

材料(せっこうボード、その他ボード) (19.7.2)(表19.7.1)

規格名称	種　類	JIS記号	厚さ（mm），規格等
木質系ｾﾒﾝﾄ板	⊙硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板Ⓖ	HW	⊙15 ・20 ・25 ・
	・中質木毛セメント板Ⓖ	MW	・15 ・20 ・25 ・
	・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板Ⓖ	NW	・15 ・20 ・25 ・
	・硬質木片ｾﾒﾝﾄ板Ⓖ	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・
	・普通木片ｾﾒﾝﾄ板Ⓖ	NF	・30 ・
繊維強化ｾﾒﾝﾄ板	⊙けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	0.8FK 1.0FK	ﾀｲﾌﾟ2（無石綿） ⊙6 ・8
火山性ｶﾞﾗｽ質複層板（VSﾎﾞｰﾄﾞ）	・火山性ガラス質複層板		・ ・
繊維板	・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)Ⓖ	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・
	・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（素地)Ⓖ	HB	・無研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・研磨板 （・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
	・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（化粧)Ⓖ		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
	・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞⒼ	IB	A級（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
	・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・塗装 ・10 ・12
吸音材料	⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	DR	⊙ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ⊙9（不燃）⊙12（不燃） ・ ） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（・12（不燃）・15（不燃） ・19（不燃））
	・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・25 ・
	⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	GW-B	⊙25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包） ・
せっこうボード製品	⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-R	⊙12.5（不燃）・15（不燃）・
	・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-NC	9.5（不燃）化粧無（下地張り用） 化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾁ模様）
	⊙ｿｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-S	12.5（不燃）
	⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	GB-F	⊙12.5（不燃）・15（不燃）⊙21
	・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ	GB-L	9.5
	⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（木目）	GB-D	12.5（不燃） 幅440mm程度 模様（⊙柾目 ・板目）専用下地材有り
	⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	GB-D	9.5（準不燃）
	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ（※1.2・ ）
	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板		

⊙ボード類による柱型及び壁の見えがかり出隅はボード用コーナー補強を行うこと。

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
ボード表面への化粧張仕上げの有無
⊙有り（種類： ） ・

天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) (19.7.3)
（ ）
せっこうボードの目地工法 (19.7.3)
種類
⊙図示（仕上げ表）による ・
せっこうボードのエッジの種類（突付け工法，目透し工法の場合）
⊙図示による ・
せっこうボード等の下地 ※図示 ・
遮音シール材 ⊙適用する（⊙シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ）
・適用しない

材料(合板張り) (19.7.2)

種　類	規　格	防虫処理
⊙普通合板Ⓖ	表面の樹種名（ ） 生地，透明塗料塗り（※ｳﾚﾝ程度 ・ ） 不透明塗料塗り（※しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ(mm)（ ） 接着の程度（ ）	・行う ⊙行わない
⊙天然木化粧合板Ⓖ	化粧板の樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ） 厚さ(mm)（ ）	・行う ⊙行わない
・特殊加工化粧合板Ⓖ	化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 表面性能（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ） 厚さ(mm)（ ）	・行う ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(2)(ｲ)のいずれかによる
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
合板類の張付け ・A種 ・B種 (19.7.3)(表19.7.3)

⑪ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
※F☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
種類 ※材料表による (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他	防火性能	備考
・クロスA	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・クロスB	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・クロスC	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・クロスD	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
・クロスE	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

施工 (19.8.3)
モルタル及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ
※B種 ・A種 (表18.2.4)
コンクリート面及びALCパネル面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ
※B種 ・A種 (表18.2.5)
せっこうボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ
※B種 ・A種 (表18.2.7)

⑫ 断熱材Ⓖ

・断熱材打込み工法 (19.9.3)

種　類 断熱材名	種類(記号)	厚さ（mm）	施工箇所	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・	・	
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）		・	・	
⊙硬質ウレタンフォーム断熱材		・	・	
⊙フェノールフォーム断熱材		・	・	
・木繊セメント板		※ 25	・ 一般部	特定ﾌﾛﾝを使用しないもの
		※ 50	・ 接地部分	※準不燃 ・
	ﾒｰｶｰ 性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。			

※断熱範囲図による

フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
ロックウール，グラスウール，フェノールフォーム，ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・
⊙断熱材現場発泡工法 (19.9.4)
断熱材の種類 ・A種1 ⊙A種1H ・
吹抜け厚さ（mm）・25 ・30 ⊙ 図示
施工箇所 ⊙図示による ・

接地部分の断熱材（特定フロンを使用しないもの）
⊙押出法ポリスチレンフォーム ＪＩＳ Ａ 9521 断熱材3種bA 厚さ（図示）mm
（免震ピット部，地下ピット除く）
・木繊 セメント板 厚さ50（床下防湿ｼｰﾄなし） ・

20 ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア

材料等 ※材料表による (20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
	・支柱調整式 ・置敷式	・500×500 ・	・	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	**・帯電防止床タイル** **・タイルカーペット** ・	

帯電防止性能 ⊙U値（クラス1） ・U値（クラス2）
漏えい抵抗 ⊙R≧1×10Ω6 ・
耐荷重性能，耐衝撃性能，ローリングロード性能，耐燃焼性能の試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)による ・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による ・
表面仕上材の品質，性能は，標準仕様書19章による。
構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製(仕上げ：) ・
スロープ及びボーダー ⊙製造所の仕様による ・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ⊙20～30パーセント
・
配線取り出し開口 ⊙パネル1枚につき，40mm×80mm 程度の開口1箇所以上
・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル ・なし ・あり（形式，施工箇所：図示）
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける.

2 可動間仕切

材料等 (20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 スタッド	パネル	総厚さ（mm）	表面仕上材 材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式			・	・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	・メラミン樹脂焼付又はアク**リル樹脂焼付け** ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具 ・あり（寸法及び形状 ・図示 ・ ） ・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質，性能は標準仕様書19章による
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・

3 移動間仕切

材料等 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質，性能 標準仕様書19章による
遮音性は，JIS A 6512に準拠し，中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
・標準仕様書20.2.4(3)(ｳ)による
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
・標準仕様書20.2.4(3)(ｴ)による
・図示による
ハンガーレール
・標準仕様書20.2.4(3)(ｵ)による
・図示による
ランナー
・標準仕様書20.2.4(3)(ｶ)による
・図示による
あと施工アンカー
・使用する 種類： 材料： 寸法：
・使用しない

④ トイレブース

材料等 ※材料表による (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・

⑤ 視覚障害者用床タイル

材料等 ※材料表による (11.2.2)(19.2.2)

施工箇所		種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）
屋内		・塩化ビニル製	・300×300 ・	・7.0 ・
		・セラミックタイル（Ⅰ類） ・セラミックタイル（Ⅱ類）	・300×300 ・	・
		・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300 ・	・
屋外		・磁器質タイル（Ⅰ類） ・せっ器質タイル（Ⅱ類）	・300×300 ・	・
		・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300 ・	・

ブロックパターンは JIS T 9251 による

⑥ 手すり

材料等 ※材料表による (20.2.6)

材　種	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所	備　考
※集成材	・クリヤラッカー ・	・35 ・45 ・		
・ステンレスパイプ	・HL ・			
⊙鋼製パイプ	・EP-G ・SOP ・			
⊙ビニル製ハンドレール				

⑦ 階段滑り止め

材料等 ※材料表による (20.2.7)

材　種	形　状	寸法(mm)	取付け工法	幅（mm）	端部フラットエンド	
⊙ステンレス製（SUS 304） ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ・タイヤ型	・ ・	※接着工法 ・埋込み工法	・約35 ・	⊙あり	⊙ビニル製 ・ステンレス製
					・なし	ー

8 黒板及びホワイトボードⒼ

材料等

種　類	寸法（mm）	色	形　式	
・鋼製黒板 ・	※焼付け	※緑 ・黒	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・
・ほうろう黒板	※焼付け ・	※緑 ・黒	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・
・ホワイトボード	・	・	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け ・

⑨ 鏡

取付箇所 （ ） (20.2.10)

寸法（mm） ⊙図示による ・
厚さ（mm） ※5 ⊙ 図示による

⑩ 表示

⊙衝突防止表示（ガラススクリーン等） (20.2.11)
形状，寸法（ ・30φ ⊙ 図示による ）
材質 （ ・ステンレス製 ⊙ 図示による ）
⊙誘導標識、非常用進入口等の表示等 (20.2.11)
※消防法に適合する市販品 ・

室名札，ピクトグラフ，案内板等の形状寸法材質色，書体，印刷等の種別，取付け形式 (20.2.11)
⊙図示による ・
案内用図記号はJIS Z 8210による。
その他の表示 ※図示

⑪ タラップ

材料の種類 ※ステンレス製 ・ (20.2.12)
仕上げ ※研磨等の仕上げを行わない ・

12 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃ ・
工法（ ）
キャスタブル耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける.

⑬ ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	種　類	ｽﾗｯﾄの材質	スラット幅（mm）	ボックス・レールの材種	開閉方式	寸法・取付箇所
⊙横型	⊙手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製Ⓖ ・	※25 ・	※鋼製 ・		⊙図示 ・
	・電動	ー					
・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100 ・	※アルミニウム合金製 ・	・片開き ・両開き	・図示 ・
	・電動	ー					

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用Ⓔる場合

⑭ ロールスクリーンⒼ

材料等 ※材料表による (20.2.15)

材　種	品質	操作方式	遮光性能	幅，高さ	取付箇所
・ポリエステル ・	・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示 ・	・図示 ・

巻取りパイプ，ウェイトバー，操作コード又は操作チェーンその他の材料
※製造所の仕様による ・
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける.

⑮ カーテン

材料等 ※材料表による (20.2.16)(表20.2.1)

形　式		開閉操作方式	ひだの種類	生地の種別，品質，特殊加工等	取付箇所	備考
⊙シングル ⊙ダブル	⊙片引き ⊙引分け	⊙手引き ・ひも引き ・電動	⊙つまみひだ（三つ山ひだ，二つ山ひだ） ・箱ひだ，片ひだ ⊙プレーンひだ	⊙遮光 ⊙防炎 ・	⊙図示 ・	
						（暗幕）

使用される繊維のうち，ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品についてはⒼとする
暗幕用カーテンの両端，上部及び召合せの重なり
・
※300mm以上
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける.
暗幕は、遮光等級1級 ドレープ裏地に遮光生地とする。

20 ユニット及びその他の工事〈続き〉

⑯ カーテンレール

材料等 (20.2.16)
レール及びブランケットの強さによる区分
※10-90 ・
レールの材料による区分
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成形材
・ステンレス製
レールの仕上げ ※アルマイト ・
レールの形状 ※角形 ・
カーテン付属物 フック（ひるかん） ※鋼製 ・樹脂製

17 プレキャストコンクリート

補強鉄線の径及び網目寸法 (20.3.2)
・図示による ・

製作 (20.3.3)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下，単位セメント量の最小値300kg/㎥を満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示による
取付け方法 (20.3.4)
※図示による
・

18 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み

材料等 (20.4.2)

材　種	材　種	種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―	・ ・	・A ・B	

工法 (20.4.3)
積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示による ・
伸縮調整目地 材種 ・図示による ・
厚さ ・図示による ・

⑲ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）
・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ⊙図示による
材質 ⊙集成材（仕上げ：パイン積層材 ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1） ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

⑳ 天井点検口

材　種	寸　法	形　式		外　枠	内　枠
・アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ
		・密閉形			

※天井伏図による

㉑ 床点検口

材　種	寸　法	形　式		備　考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形 ⊙防水防臭形	⊙屋内外用 ・屋内用	⊙鍵付き

㉒ 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備　考
⊙垂直方法 ⊙水平方向	⊙完全（全貫通型） ・	⊙耐火型 ・非耐火型	⊙有り ・無し	

目地

目　地	内　壁	外　壁
目地材	⊙シーリング材 （見え掛り部のみ） ・	⊙シーリング材 （見え掛り部のみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	⊙幅20×深さ10 ・	⊙幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による

㉓ 止水板

形式 ・差込式 ・据置式 ⊙壁張り式
施工箇所 ・図示 ⊙地下水槽周りの打継箇所、土に接する部分の打継箇所
性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

24 エキスパンションジョイント金物

材　種	クリアランス	耐火性能	備　考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150 ・	・有り（ ） ・無し	

外部は防水型とする

㉕ くつふきマット【役場】

材　種	受　け　枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS 304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS 304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

※材料表による

㉖ 流し台ユニット

材　種	寸　法（mm）			備　考
	W	D	H	
⊙流し台	・1,200 ・1,500 ・1,800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
⊙コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚	・1,200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
⊙水切り	・1,200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能 JIS A 4420による
形状 ※図示による ・
※材料表による

㉗ 旗竿【消防】

材　質	形　式	高さ（m）	操作方法	固定方法	備　考
⊙アルミニウム合金製 ・	⊙テーパー型 ・同一断面型	7m	・ハンドル式 ⊙ロープ式	⊙埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

28 旗竿受金物

材種 ・ステンレス製（SUS 304） ・

29 車止め支柱

形　式		材　種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
・上下式鎖内蔵型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・ ・
・				

30 フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ ・図示による ・

㉛ 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷量による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

㉜ 屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・
サイズ ・ ・
※サイン図による

㉝ 洗面カウンター

材種 ⊙メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き（mm） ・約450 ・約600 ⊙図示
仕様 ・ 扉及び中棚付 ⊙ オープン

㉞ 防煙垂れ壁

⊙固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス ⊙不燃シート	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

⊙可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
⊙垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ⊙図示	ガイドレール ※固定式（壁埋込み型） ⊙可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

⊙ 復帰方式（ ※ 手動巻上げハンドル ・ 電動式 ）
⊙ まぐさ・座板・レールの材質
（⊙ 鋼製塗装仕上げ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ）

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

㉟ 収納家具

材質形状・寸法 ※図示による ・
合板，集成材，MDF，パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・
・規制対象外（1-8 環境への配慮（2）による） ・

㊱ 屋外掲示板

照明器具 ※有り ⊙無し
施錠 ※有り ・無し
枠の材質 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・
※サイン図による

㊲ 敷地境界石標

種類 ※コンクリートブロック製（市販品）
・花こう石類（文字記号等入り）

38 銘板

・ 無し ・ 有り 仕様（ ）

㊴ 定礎

⊙ 定礎石 ※ 花こう岩 彫り込み文字 ・
大きさ（mm） ⊙ 450x600x30
・ 定礎箱 ※ ステンレス製 ・ 銅板製 ・
大きさ（mm） ・350×270×70 ・

40 避難器具

金属製避難はしご及び緩降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。

㊶ 消火器ボックス 屋内消火器ボックス

市販品 （⊙ 埋め込み型 ・ 露出型） （ ・ 扉無し ⊙ 扉付き）
材 質 ・ 鋼板製焼付塗装（ ・ 標準色 ⊙ 指定色） ステンレス製
※ 消防法などに適合した形状・設置場所とする。
・化粧鋼板壁用 ・一般壁用

㊷ 自転車置場

・ 止め金物式 ・ 機械２段式 ⊙図示

㊸ 郵便受箱

※ ステンレス製既製品 （ ） ・

㊹ ホルムアルデヒド等発散材料

ホルムアルデヒドの放散量の等級 ※ Ｆ☆☆☆☆ ・

㊺ かぎ箱

市販品 形式 ⊙30組用 ・60組用 ・120組用 ・協議による

㊻ 室名札等

・室名札（アクリル板）室名差し込み式 既製品
・ピクトサイン（アクリル板） （・平付け型 ・突き出し型） 既製品
・室名札（カッティングシート貼）
・階段表示（アクリル板） 既製品
※サイン図による

21 排水工事

① 屋外雨水排水

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)

材　種	管の種類	形　状	呼び径	備　考
⊙遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	⊙B形管 ・	⊙図示 ・	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙VP ・VU ・RS－VUG		⊙図示 ・ ・図示 ・ ・図示 ・	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV ・VU継手		・図示 ・ ・図示 ・	
・鋼管	・白管 ・			

基床の厚さ及び種類 ⊙図示による ・ (21.2.2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 (21.2.2)
※接着剤 ・ゴム輪
側塊の形状及び寸法 ⊙図示による ・ (21.2.1)
排水桝の種類 ⊙図示による ・ (21.2.1)
砂地業に用いる材料（6.4.2(2)） (21.2.1)
・シルト ⊙山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料（6.4.2(1)） (21.2.1)
・再生クラッシャランG ・切込砂利 ・切込砕石
⊙現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.2.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度※ 18N/㎟ ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
⊙現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 (21.2.1)
※SD295 ・
凍上抑制層の厚さ ・図示による ・
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.2.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

⊙標準仕様書21.2.2(6)（t）の排水桝を現場打ちとする場合の足掛け金物 (21.2.2)
・幅400mm，径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの

② 鋳鉄製ふた

種類 (21.2.1)

名　称	種　類	適用荷重	鍵	備　考
鋳鉄製マンホールふた	⊙水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・ ・ 断熱形	⊙T－ 2用 ・T－ 6用 ・T－20用 ・ ・T－25用	・有 ⊙無	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③ グレーチング

材料等 (21.2.1)

材　質	形　式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	・受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ⊙溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ⊙U字溝用	⊙歩行用	⊙細目	・（ ）	⊙凹凸形 ・
			⊙T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	※普通目 ⊙細目	・（ ）	⊙平形 ・
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き，ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	―	―	・凹凸形 ・
			・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ・T－20用	―	―	・平形 ・

④ 街きょ，縁石，側溝

材料 (21.3.1)(表21.3.1)

種　類	形状，寸法
⊙縁石	⊙図示 ・
⊙L形側溝	⊙図示 ・
⊙U形側溝	⊙図示 ・
⊙U形側溝ふた	⊙図示 ・
・	⊙図示 ・

砂地業の材料 (21.3.1)
・シルト ⊙山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 (21.3.1)
⊙再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ ※100（mm） ・図示による (21.3.2)
⊙現場打ちの場合のコンクリート材料 (21.3.1)
※普通コンクリート ・
設計基準強度※ 18N/㎟ ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
⊙現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 (21.3.1)
※SD295 ・
凍上抑制層の厚さ ・図示 ・
凍上抑制層に用いる材料 ・ (21.3.1)
砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

⑤ 埋戻し土

※B種（標準仕様書表3.2.1） ⊙A種 (21.2.1)

⑥ 浸透管及び浸透桝

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

22 舗装工事

① 路床【路床の整備は別途工事だが試験は本工事で行う】

路床の材料 (22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)

種　別	材　料	厚　さ（mm）
・盛土	標準仕様書表3.2.1により ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G	・図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャランG ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（75μmふるい通過量6%以下）	・図示 ・
・フィルター層	・川砂，海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量6%以下） ・	・図示 ・

路床安定処理 ・適用する ・適用しない (22.2.2)(22.2.3)
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
添加材料 (表22.2.1)
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ・特号 ・1号 ） ・消石灰（ ・特号 ・1号 ）
添加量を定めるために用いるCBR(※5%以上 ・) (22.2.4)

試験 (22.2.5)
砂の粒度試験 ⊙行う ・行わない
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験 ⊙行う ・行わない
路床締固め度の試験（現場密度） ⊙行う ・行わない
現場ＣＢＲ試験 ⊙行う ・行わない

② 路盤

路盤の厚さ ⊙図示による ・ (22.3.2)
路盤材料 ※再生クラッシャランG (22.1.3)(22.3.3)(表22.3.1)
・クラッシャラン ・粒度調整砕石
※再生粒度調整砕石G ・クラッシャラン鉄鋼スラグG
・粒度調整鉄鋼スラグG ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグG

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2)
※図示による ・
材料 (22.1.3)(22.4.3)
アスファルト ※再生アスファルトG（ ・60～80 ・80～100 ）
・ストレートアスファルト
骨材 ・道路用砕石
⊙アスファルトコンクリート再生骨材G (表22.4.2)

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.4)

区分	地　域	種　類
表層	⊙一般地域	⊙密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物(13)
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)

試験 (22.4.6)
アスファルト混合物等の抽出試験 ⊙行う ・行わない
舗装の平たん性 (22.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・
・

④ コンクリート舗装

コンクリート舗装の厚さ (22.5.2)

舗装の種類	部　位	構成	厚　さ（mm）
コンクリート舗装	歩行者用通路	⊙図示	※70 ⊙図示
	車路及び駐車場	⊙図示	⊙図示 ・

材料 (22.5.3)
コンクリート
※普通コンクリート，標準仕様書表22.5.1による ・
・図示による
早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
施工：目地 (22.5.4)
種類，間隔，構造
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・図示による
舗装の平たん性 (22.5.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

5 カラー舗装

(22.6.2)

種類・工法		部　位	基　層	厚さ（mm）
・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道及び駐車場 ・歩行者用通路	・無し	・図示 ・
・常温系	・ニート工法 ・塗布工法		・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	3～5 1程度以下

舗装厚さの許容差 ※標準仕様書（22.4.2(3)）による ・
材料 (22.6.3)
加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材（ ） ・自然石（ ）
配合 (22.6.4)
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 （・ %）
ニート工法及び塗布工法の配合等 ・
試験 (22.6.6)
加熱系 標準仕様書(22.4.6(3))
抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6 透水性アスファルト舗装

舗装の構成 ※図示による ・ (22.7.2)
材料 (22.1.3)(22.7.3)
アスファルト
※再生アスファルト（・60～80 ・80～100 ）
・ストレートアスファルト
試験 (22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 (22.7.2)
※著しい不陸がないもの ・

株式会社 大建設計

DATE	PROJ. TITLE	
2025 . 3 . 14	防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 特記仕様書（9） SCALE	DWG. NO A-013

22 舗装工事〈続き〉

7 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（N）・カラー平板（C） ・洗出平板（W）・擬石平板（S） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	・砂 ・モルタル	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

歩行者用通路に使用するコンクリート平板はG（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板はG（透水性コンクリート）とする。
クッション材　※砂　・空練モルタル (22.8.2)
クッション材厚さ　※30　・
仕上がり面の平たん性 (22.8.2)
※歩行に支障のないものとし，コンクリート平板間の段差3mm以内　・

・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	部　位	形状，寸法	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm²）	色彩，表面加工等
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路 歩行者用通路	・図示 ・図示	※80　・ ※60　・	※5.0　・ ※3.0　・	・標準品 ・

インターロッキングブロックの割付け (22.8.4)
・図示による
仕上がり面の平たん性 (22.8.2)
※インターロッキングブロック間の段差3mm以内　・
歩道部に使用するブロックはG（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
クッション材　※砂　・空練モルタル
クッション材の厚さ　車路　※20　・
歩行者用通路　※30　・
目地材　※砂　・モルタル

・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3)

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	割付け	施工方法	基層（mm）
・小舗石 （花崗岩） ・	・ ・	・80 ・	・図示 ・	・うろこ張り ・	・コンクリート版 （※70　・　） ・アスファルト混合物 （※50　・　）

クッション材　※砂　・空練モルタル (22.8.2)
クッション材厚さ　※30　・
目地材　※砂　・モルタル
仕上がり面の平たん性 (22.8.2)
※舗石間の段差3mm以内　・

8 砂利敷き

種別 (22.9.2)(表22.9.1)
通路　※A種　・図示による
建築物周囲その他　※B種　・図示による
（　　）　・

⑨ 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種　類	施　工	適　用	色	幅（mm）	塗布厚さ（mm）
・1種G	常温	液状	⊙白 ・	⊙150 ⊙100	⊙1.0 ・
・2種G	加熱				
⊙3種1号	溶融	粉体状			

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない (23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない (23.1.3)

2 植栽基盤の整備

整備内容 (23.2.2)(表 23.2.1)(表 23.2.2)

植　栽	工　法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲（面積）	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝，地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

工法D種以外の工法で、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
植栽基盤の排水設備 (23.2.2)
（暗きょ，開きょ，排水層縦穴排水等）
・設ける（ ※図示　・　）
・設けない

3 植込み用土

・現場発生土の良質土　・客土　（※畑土　・黒土） (23.2.3)

4 土壌改良材

種類，指定量 (23.2.3)(23.2.4)
・バーク堆肥G
施工箇所　・植栽範囲　・図示による
指定量植栽基盤面積1㎡あたり（・ L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
施工箇所　※植栽範囲　・図示による
指定量植栽基盤面積1㎡あたり（・ L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので，植害試験の調査の結果，害が認められないものとする

5 樹木

樹種，寸法，株立数　・図示による (23.3.2)
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）
・適用しない

6 支柱

支柱材の種類 (23.3.2)
※丸太（間伐材）G　・真竹　・ワイヤー（防錆処理）・ 鋼製
防腐処理方法
※加圧式防腐処理丸太材　・
形式 (23.3.3)
・添え柱形　・鳥居形　・ハツ掛け形
・布掛け形　・ワイヤ掛け形　・地下埋設形

7 幹巻き用材料

材料　・幹巻き用テープ　・わら　・こも (23.3.2)

8 芝

種類 (23.4.2)
※コウライシバ　・ノシバ
芝張りの工法 (23.4.2)
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り
客土　※ 行わない　・ 行う（ ※ 畑土　・ 黒土）

9 吹付けは種

種類等 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備　考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

10 地被類

種類等 (23.4.2)

植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数
・	・	・	・
・	・		

11 新植，移植樹木，芝等の枯保証

新植樹木の枯補償の期間 (23.3.4)(23.4.7)
（芝張り，吹付けは種及び地被類を含む）
※引渡しの日から１年　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23.3.6)
※引渡しの日から１年　・無し

12 屋上緑化G

植栽基盤及び材料 (23.5.2)(23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示による　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）・透水排水管（種類：　）
・板状成形品
植込み用土　※改良土
耐根層材料（耐熱シート）
・屋上緑化軽量システム
土壌層の厚さ　・図示による　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）・透水排水管（種類：　）
・板状成形品
植込み用土　※改良土
耐根層材料（耐熱シート）

樹木，芝及び地被類 (23.5.3)
樹種，寸法，株立数　・図示による
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）
・適用しない
見切り材，舗装材，水抜き管，マルチング材等 (23.5.3)
※図示による　・

工法 (23.5.4)
平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力の（ ・1・1.15・1.3 ）倍の風圧力に対応した工法
・図示による　・
支柱　・設置する（形式　・図示　・　） (23.5.4)
かん水装置　・設置する（種類　・図示　・　） (23.5.4)

24 その他

① RC杉板型枠【役場】

・杉板上小節　本実加工型枠(うづくり加工品)を使用する。
（働き幅100、幅115ｘ厚15ｘ長さ3000杉板を使用）
・杉板型枠と捨て貼り合板t15のジョイントは合わさないこと。（25mm程度ずらす）
・捨て貼り合板のジョイントは5mm程度隙間を空けること。
・杉板型枠は乾燥収縮が大きいため、現場での調整が必要となる。型枠建て作業期間は余裕をみておくこと。
・剥離剤塗布後、打設の３日前から型枠に散水を行う。
・コンクリート型枠の存置期間は３日間を目安とする。
・養生後、洗浄機にて表面のノロを取り除くこと。その際、高水圧により表面を欠損しないよう留意のこと
・コンクリートの増し打ちは内外ともｔ２０mmとする。

建築非構造部材耐震性能表

分類		項目	特記事項
外壁	帳壁	CW（メタル・PCa）	**CW工事** **取付方法、性能等** **地震力に対する安全性** **設計用震度**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **設計用水平震度（KH）※1.0 ・**：**設計用地震の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。** **設計用鉛直震度（KV）※0.5 ・** **構造体の層間変形に対する追従性** **層間変形角**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **・1/100 ・1/200 ・**：**左記の層間変形角に対して、脱落しないこと** **層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。**
		ALCパネル	**外壁パネルの耐震性** **地震力に対する安全性** **設計用震度**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **設計用水平震度（KH）※1.0 ・**：**設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。** **設計用鉛直震度（KV）※0.5 ・** **構造体の層間変形に対する追従性** **層間変形角**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **⊙1/100 ・1/200 ・**：**左記の層間変形角に対して、脱落しないこと**
		押出成形セメント板（EGP）	**外壁パネルの耐震性** **地震力に対する安全性** **設計用震度**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **設計用水平震度（KH）※1.0 ・**：**設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。** **設計用鉛直震度（KV）※0.5 ・** **構造体の層間変形に対する追従性** **層間変形角**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **⊙1/100 ・1/200 ・**：**左記の層間変形角に対して、脱落しないこと**
ガラス	ガラス	ガラス	**構造体の層間変形に対する追従性** **以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。** **構造体の層間変形角　⊙ 1／100　・ 1／200　・ ／**

分類	項目	特記事項
開仕切り	開仕切り	**・ＡＬＣパネル** **開仕切りパネルの耐震性** **地震力に対する安全性** **設計用震度**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **設計用水平震度（KH）※1.0 ・**：**設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。** **設計用鉛直震度（KV）※0.5 ・** **構造体の層間変形に対する追従性** **層間変形角**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **・1/100 ・1/200 ・**：**左記の層間変形角に対して、脱落、転倒しないこと**
		・押出成形セメント板（EGP） **外壁パネルの耐震性** **地震力に対する安全性** **設計用震度**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **設計用水平震度（KH）※1.0 ・**：**設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。** **設計用鉛直震度（KV）※0.5 ・** **構造体の層間変形に対する追従性** **層間変形角**：**帳壁（仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材）の性能** **・1/100 ・1/200 ・**：**左記の層間変形角に対して、脱落、転倒しないこと**

竣工年月日	・ ・	・ ・	株式会社 大建設計	DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事
監理者印		・ ・	共にこころを	PROJ. NO 0-2023-120	【共通】意匠
		・ ・		DWG. TITLE 特記仕様書（10）	DWG. NO A-014
施工者印		・ ・		SCALE	
		・ ・			

工 事 区 分 表

躯体関係

項目		建築	電気	機械	EV	別途	備考
1.鉄筋コンクリート造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○		
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通孔・開口部の補強	○					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○		
2.鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造のはり貫通孔	S.SRC 造貫通鋼管スリーブ・補強	○					
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火区画 防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火区画 防煙区画
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○			
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの		○	○			
	機器取り付け用アンカー・架台		○	○			建築設計図にあるものは建築工事
4.昇降機関連 【役場】	昇降路・機械室の躯体	○					
	昇降路内ピット防水・集水桝	○					
	点検用タラップ				○		
	各階出入口穴あけ・同補強	○					
	出入口扉・三方枠				○		
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				○		
	昇降機がRC造の時、軌条・中間ビーム ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式				○		
	昇降路内天井フック取付	○					供給はEV工事
	ホール押釦・インジケータ 鋼索などの壁開口	○					
	昇降路がS造の時の中層ビームブラケット受けピース	○					
	EV監視盤				○		制御盤共
	昇降路から監視盤までの配線工事		○				
	昇降路から監視盤までの配管工事		○				
	煙感知器・点検口ボックス		○				
	点検口用穴あけ・同補強	○					
5.その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					ピット内 仕上げも含む
	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽	○					
	同上用防水・マンホール・タラップ式	○					
	避雷設備・同接地工事		○				
	ECP,ALC 板の壁開口・補強	○					
	オイルサービスタンクの防油提	○					

仕上げ関係

項目		建築	電気	機械	EV	別途	備考
1.軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないボードの切り込み		○	○			
	開口部の墨出し		○	○			
2.既製間仕切り	切り込み及び補強	○					
	位置ボックス	○					
3.つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○			

項目		建築	電気	機械	EV	別途	備考
4.外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					
	ウエザーカバー、ベントキャップ			○			
	換気扇			○			
5.湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚　　コンロ台	○					
	レンジフードファン			○			
	洗濯パン	○					給排水は 機械工事
6.浴室まわり	ユニットバス、シャワーユニット	○					
7.トイレまわり	洗面カウンター	○					洗面器は 機械工事
	化粧鏡、姿見	○					HWCは 機械工事
	ユニット形衛生器具			○			補強は 建築工事
	身障者手すり	○					HWCは 機械工事
	ベビーベット，フィッテングボード等	○					補強も 建築工事
	オストメイト			○			
	紙巻き機			○			補強は 建築工事
	多機能トイレパック			○			
8.執務室まわり	ブラインド・カーテン・ロールスクリーン	○					
9.フリーアクセスフロア	コンセント		○				
	床パネルの切り込み加工	○					
10.その他	2重ピット及びトレンチのマンホールふた	○					
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○					
	点検口（天井・床下）	○					
	排煙口等の天井仕上げ材の取付け	○					
	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	○					
	消火器BOX設置工事　（埋込型）	○					
	消火器BOX設置工事　（床置型）			○			
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○				
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事	○					
	電気錠、通電金物	○					
	同上制御盤、配管、配線		○				
	電動排煙オペレーター・制御盤	○					
	デジタルサイネージ機器、配線					○	
	同上電気配管		○				基礎,下地補強共
	同上下地補強	○					
	サイン工事	○					
	窓口案内システム					○	
	同上配管		○				
	入退室管理システム	役場は配管のみ電気工事 消防は機器・配管配線共電気工事					
	監視カメラ設置工事	役場は配管配線のみ電気工事 消防は機器・配管配線共電気工事					
	機器警備設備・配管・配線		○			○	電気工事は 空配管のみ
	議場家具					○	
	地流し	○					給排水は 機械工事
	防災デジタル無線設備					○	
	同上電気配管		○				
	同上基礎	○					

屋外排水設備・外構

項目		建築	電気	機械	EV	別途	備考
1.雨水	屋外雨水排水設備	○				造成	
	桝及び桝ふた、側溝、配管 建物用（第一桝から造成工事による桝まで）	○					
	桝及び桝ふた、側溝、配管（建物用以降）					造成	
2.雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○			
	桝及び桝ふた、配管（建物から浄化槽まで）			○			
	桝及び桝ふた、配管（浄化槽以降）			○			
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ （建物から浄化槽まで）	○					
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ （浄化槽以降）			○			
3.植栽	植栽及び客土	○					
3.舗装・囲障	路床					造成	
	舗装（路床から上の仕上げ）	○					
	縁石	○					
	囲障（メッシュフェンス等）					造成	
	手摺					造成	
	擁壁、スロープ、階段					造成	
4.浄化槽	浄化槽及び付属品機器搬入据付工事			○			
	同上点検蓋工事			○			
	鋼板製機器搬入据付工事			○			
	防液堤設置工事			○			
	山留工事・水替工事・掘削工事	○					
	配筋型枠コンクリート・埋戻 ・残土処分工事	○					
	浮上防止バンドアンカー工事	○					
	流入放流配管布設工事			○			
	二次側配管布設工事			○			
	臭突配管布設工事			○			
	一時側電気引込工事		○				
	制御盤以降二次側電気工事			○			
	外部警報工事		○				
	鋼板製機械室基礎工事	○					
	鋼板製機械室			○			
	使用開始前機器運転調整			○			
5.屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充てん	○					
	上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等		○	○			自家発用は 電気設備工事
	タンク室形以外		○	○			自家発用は 電気設備工事
6.その他	液状化対策					造成	建物下は 建築工事

電気配線配管

項目		建築	電気	機械	EV	別途	備考
	機器付属の制御盤以降の配管配線 （接地線共）			○			2次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管線		○				1次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○				
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線			○			
	配管感知から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線		○				
	注油口内アース端子よりのアース用配管配線		○	○			自家発用は 電気設備工事
	建具内配管配線	○					
	電気錠への電源,電気錠のカードリーダー,セキュリティ					○	
	同上制御盤、シリンダー錠から制御盤までの配線					○	
	同上1次電源送り、火災信号送り					○	
	同上カードリーダー、テンキー	役場は配管のみ電気工事 消防は機器・配管配線共電気工事					

別途関連工事（特記無き限り前項目に倣う）

項目		建築	電気	機械	EV	別途	備考
1.サーバー室 【役場】	家具・什器・備品					○	
	カーテン・ブラインド	○					
	サイン					○	サーバー室内サインは別途工事 廊下側に設置するサインは建築工事
	床仕上工事	○					
	壁・柱仕上工事	○					
	天井仕上工事	○					
	建具工事	○					
	サーバー架用電源盤までの一次側配線		○				
	サーバー架用電源盤以降二次側配線					○	
	サーバー架・LAN配線工事					○	
	上記2項目以外の電気設備工事		○				
	空調設備工事			○			
	同上用基礎	○					
	防災設備工事		○	○			
	サーバー移設					○	
2.町道整備	舗装					造成	
	縁石					造成	
	車両出入口の切り下げ					造成	
	給水本管の敷設					上水	
3.耐震性貯水槽	貯水槽本体及び配管					上水	
	同上用基礎					上水	
4.防災無線用アンテナ 【消防】	鉄骨架台含む防災無線用設備一式					○	
	コンクリート基礎のみ	○					

竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計　社にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠	
PROJ NO 0-2023-120	DWG TITLE 工事区分表　SCALE NS	DWG NO A-015	

役場敷地

敷地概要		
地名地番	徳島県海部群牟岐町中村山田66−1 他	
敷地面積	10,331.42m²	
用途地域	・第１種住居専用　・第2種住居専用　・住居	
	・近隣商業　・商業　・準工業　・工業　・工業専用	
	・市街化調整地域　・特別用途（　　）⊙なし	
防火地域	・防火　・準防火　⊙指定なし　・法22条	
その他地域・地区	・高度地区（第１種）・高度利用地区（　　）	
	・風致地区（第　種）・都市計画公園　・駐車場整備地区	
	・特別用途地域（特定大規模小売店舗制限地区）	
指定建ぺい率（%）	・30　・40　・50　・60　⊙70　・80	
基準建ぺい率（%）	・100（耐火建築物）	
指定容積率（%）	・50　・60　・80　・100・150⊙200・300・400	
	・500・600・700・800・900・1000	
道路・壁面後退等	・主前面道路（巾7.50 m）	
	・その他前面道路（巾　　m）	
	・都市計画道路（・有　m ⊙無）	
	・壁面後退（・有　m ⊙無）	

建物概要	
用途	庁舎
工事種別	⊙新築　・増築　・改築　・移転
	・用途変更　・大規模の修繕
	・大規模の模様替　・解体撤去
建築面積	新　設　1500.81m²
	既　設　.　m²
	合　計　1500.81m²
建蔽率	14.53%
延べ面積	新　設　2,558.66m²
	既　設　.　m²
	合　計　2,558.66m²
容積対象面積	新　設　2,404.10m²
	既　設　.　m²
	合　計　2,404.10m²
容積率	23.27%
その他	

棟別概要				
棟　名	役場庁舎棟・駐車場棟1			
用　途	庁舎・自動車車庫・自転車駐車場			
工事種別	⊙新築　・増築　・改築			
階　数	地上３ 階・地下　階・塔屋　階			
構　造	・SRC ⊙RC ⊙S　・CB			
最高の高さ	平均GL+　11.84m			
最高の軒高さ	平均GL+　11.49m			
建築面積	1347.41m²			
床面積（単位m²）	延床面積		容対面積	
	3階	97.47m²	3階	97.47m²
	2階	1014.30m²	2階	1006.86m²
	1階	1299.25m²	1階	1190.79m²
	合計	2411.02m²	合計	2295.12m²

棟　名	駐車場棟2			
用　途	自動車車庫			
工事種別	⊙新築　・増築　・改築			
階　数	地上1 階・地下　階・塔屋　階			
構　造	・SRC　・RC　⊙S　・CB			
最高の高さ	GL+　3.040m			
最高の軒高さ	GL+　2.900m			
建築面積	23.26m²			
床面積（単位m²）	延床面積		容対面積	
	1階	38.66m²	1階	0.00m²
	合計	38.66m²	合計	0.00m²
棟　名	浄化槽機械室A			
用　途	浄化槽機械室			
工事種別	⊙新築　・増築　・改築			
階　数	地上1 階・地下　階・塔屋　階			
構　造	・SRC　・RC　⊙S　・CB			
最高の高さ	GL+　1.395m			
最高の軒高さ	GL+　1.395m			
建築面積	1.44m²			
床面積（単位m ）	延床面積		容対面積	
	1階	1.44m²	1階	1.44m²
	合計	1.44m²	合計	1.44m²

消防敷地

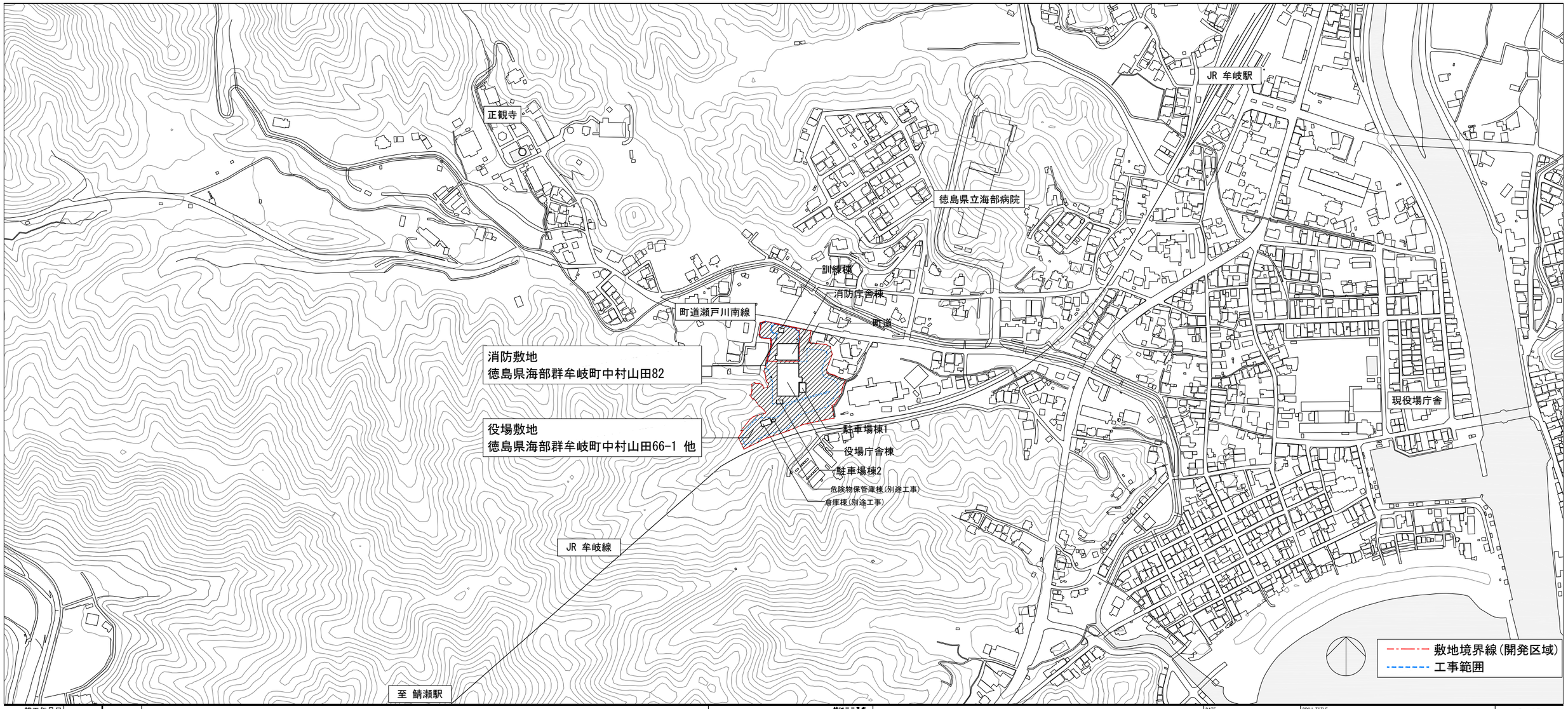
敷地概要	
地名地番	徳島県海部群牟岐町中村山田82
敷地面積	1,944.59m²
用途地域	・第１種住居専用　・第2種住居専用　・住居
	・近隣商業　・商業　・準工業　・工業　・工業専用
防火地域 その他地域・地区	・市街化調整地域　・特別用途（　　）⊙なし
	・防火　・準防火　⊙指定なし　・法22条
	・高度地区（第１種）・高度利用地区（　　）
	・風致地区（第　種）・都市計画公園　・駐車場整備地区
	・特別用途地域（特定大規模小売店舗制限地区）
指定建ぺい率（%）	・30　・40　・50　・60　⊙70　・80
基準建ぺい率（%）	・100（耐火建築物）
指定容積率（%）	・50　・60　・80　・100・150⊙200・300・400
	・500・600・700・800・900・1000
道路・壁面後退等	・主前面道路（巾7.50 m）
	・その他前面道路（巾　　m）
	・都市計画道路（・有　m ⊙無）
	・壁面後退（・有　m ⊙無）

建物概要	
用途	消防署
工事種別	⊙新築　・増築　・改築　・移転
	・用途変更　・大規模の修繕
	・大規模の模様替　・解体撤去
建築面積	新　設　695.64m²
	既　設　.　m²
	合　計　695.64m²
建蔽率	35.78%
延べ面積	新　設　1241.01m²
	既　設　.　m²
	合　計　1241.01m²
容積対象面積	新　設　992.81m²
	既　設　.　m²
	合　計　992.81m²
容積率	51.06%
その他	

棟別概要				
棟　名	消防庁舎棟			
用　途	消防署・自動車車庫			
工事種別	⊙新築　・増築　・改築			
階　数	地上２ 階・地下　階・塔屋　階			
構　造	・SRC ⊙RC　・S　・CB　・CB			
最高の高さ	平均GL+　9.39m			
最高の軒高さ	平均GL+　8.55m			
建築面積	654.61m²			
床面積（単位m²）	延床面積		容対面積	
	2階	604.53m²	2階	604.53m²
	1階	561.34m²	1階	344.74m²
	合計	1165.87m²	合計	949.27m²

棟　名	訓練棟			
用　途	訓練場・自動車車庫			
工事種別	⊙新築　・増築　・改築			
階　数	地上２ 階・地下　階・塔屋　階			
構　造	・SRC　・RC　⊙S　・CB			
最高の高さ	GL+　8.37m			
最高の軒高さ	GL+　6.89m			
建築面積	39.59m²			
床面積（単位m²）	延床面積		容対面積	
	2階	36.85m²	2階	36.85m²
	1階	36.85m²	1階	0.00m²
	合計	73.70m²	合計	36.85m²
棟　名	浄化槽機械室B			
用　途	浄化槽機械室			
工事種別	⊙新築　・増築　・改築			
階　数	地上1 階・地下　階・塔屋　階			
構　造	・SRC　・RC　⊙S　・CB			
最高の高さ	GL+　1.395m			
最高の軒高さ	GL+　1.395m			
建築面積	1.44m²			
床面積（単位m²）	延床面積		容対面積	
	1階	1.44m²	1階	1.44m²

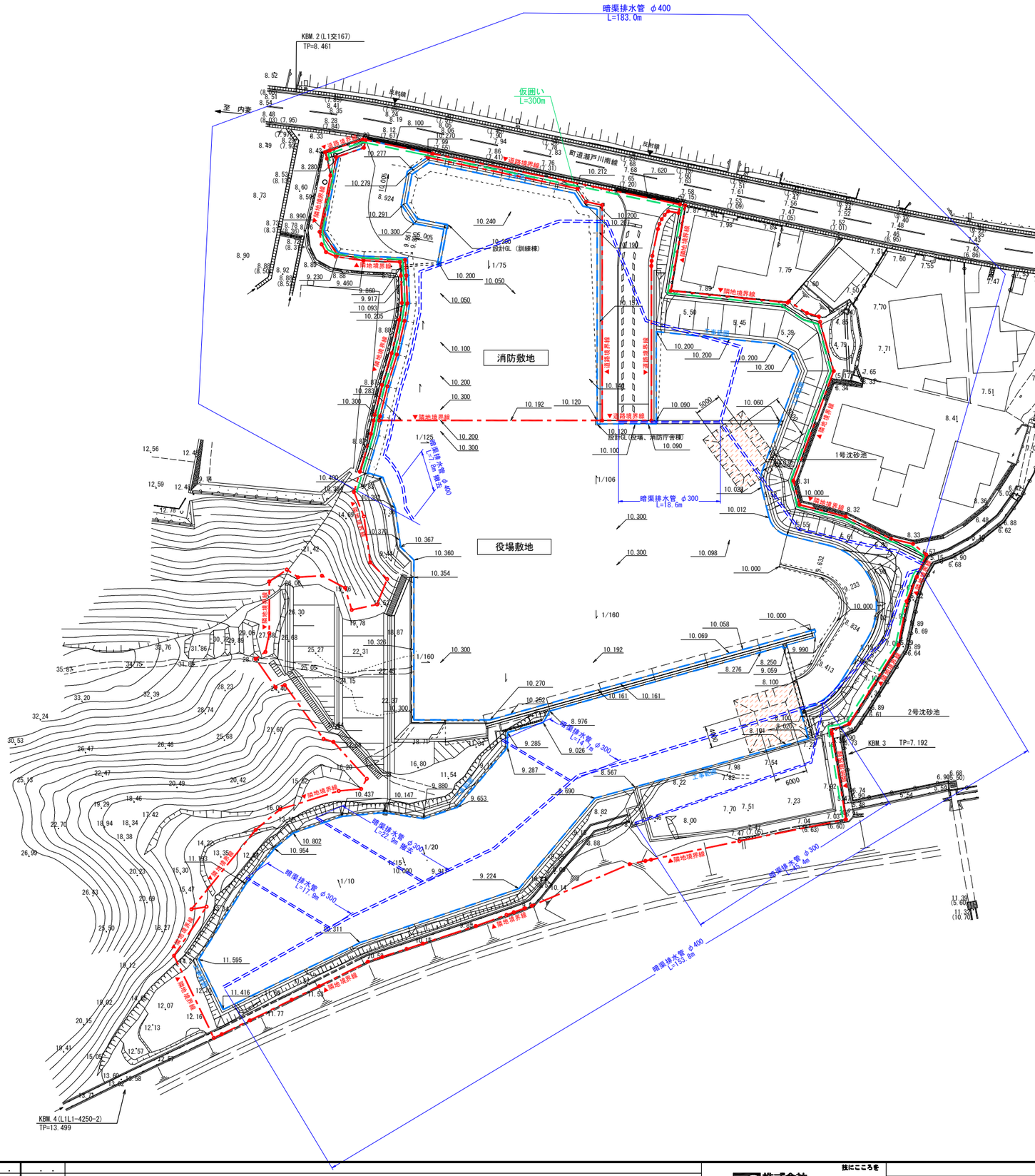
位置図



竣工年月日	. .	. .
監理者印		. .
		. .
施工者印		. .
		. .

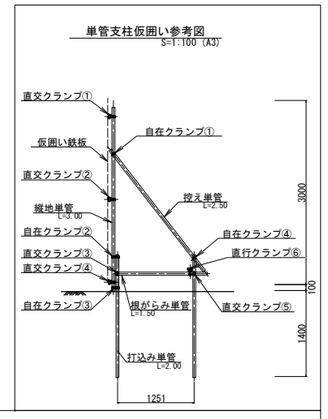
株式会社 大建設計　社にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 建築概要・附近見取図	SCALE 1:2500(A1) 1:5000(A3)	DWG. NO A-016



単管支柱仮囲い参考図

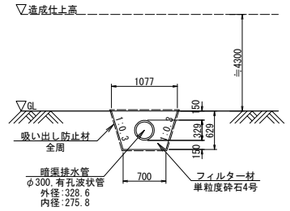
S=1:100 (A3)



暗渠排水管参考図

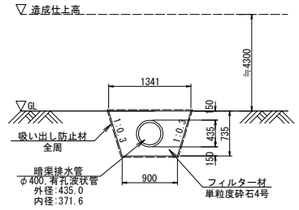
暗渠排水管φ300(北側)

S=1:100 (A3)



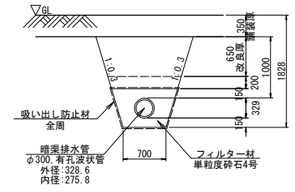
暗渠排水管φ400(北側)

S=1:100 (A3)



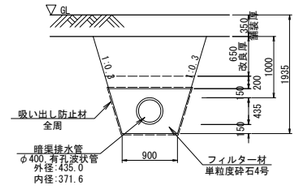
暗渠排水管φ300(南側)

S=1:100 (A3)



暗渠排水管φ400(南側)

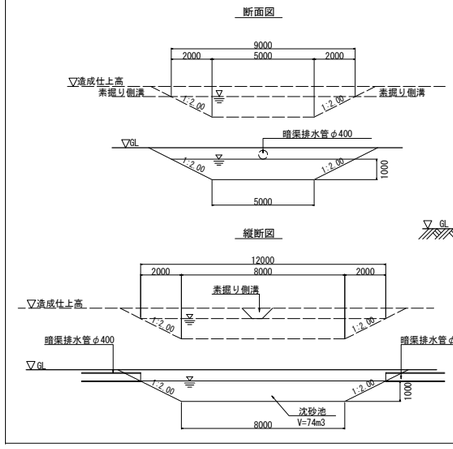
S=1:150 (A3)



沈砂池参考図

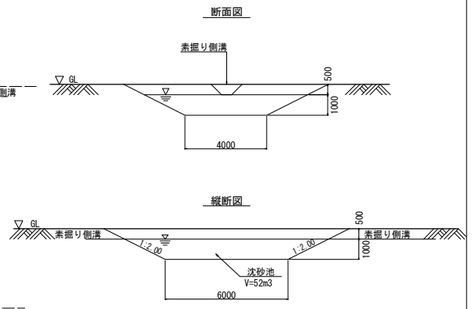
1号沈砂池

S=1:300 (A3)



2号沈砂池

S=1:300 (A3)



凡例	
・・・	敷地境界線(開発区域)
― ―	工事範囲
― ―	仮囲い
10.000	T.P.からの高さ

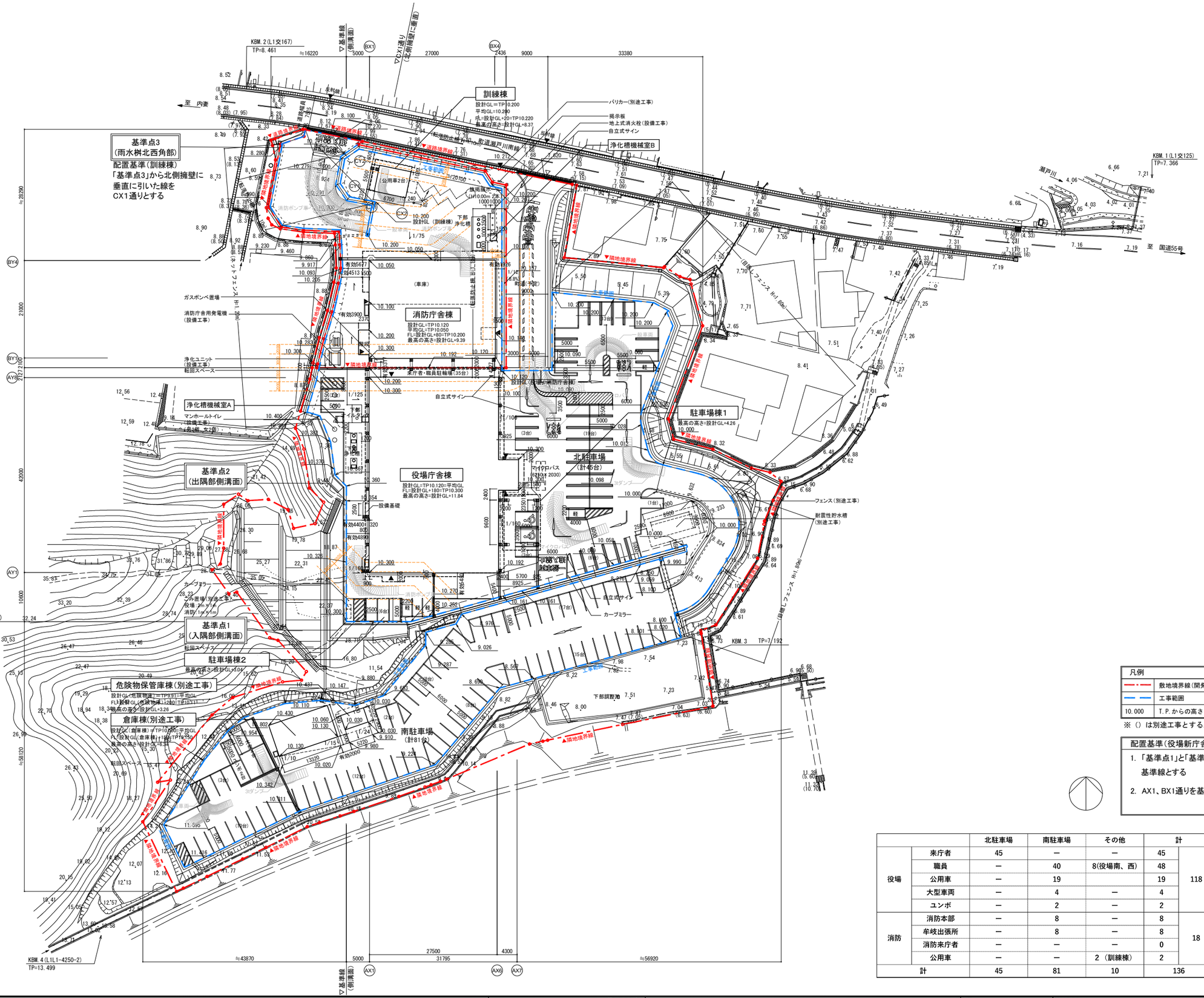
特記事項

- 造成工事(別途工事)が完了した状態を現況図とする。
- 工事範囲内の地盤レベルは、舗装仕上がり高を示す。
- 路床まで仕上がった状態を現況図とする。
- 舗装厚については、町道部、庁舎駐車場部、外構部等は25cm、南側駐車場は、30cmを想定。
- 特記なき限り、暗きょ排水管は存置とすること。

竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計 住にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 現況図	SCALE 1:400(A1) 1:800(A3)	DWG. NO A-017



凡例	
----	敷地境界線(開発区域)
----	工事範囲
10.000	T.P.からの高さ

※ ( ) は別途工事とする。

配置基準(役場新庁舎、消防新庁舎)

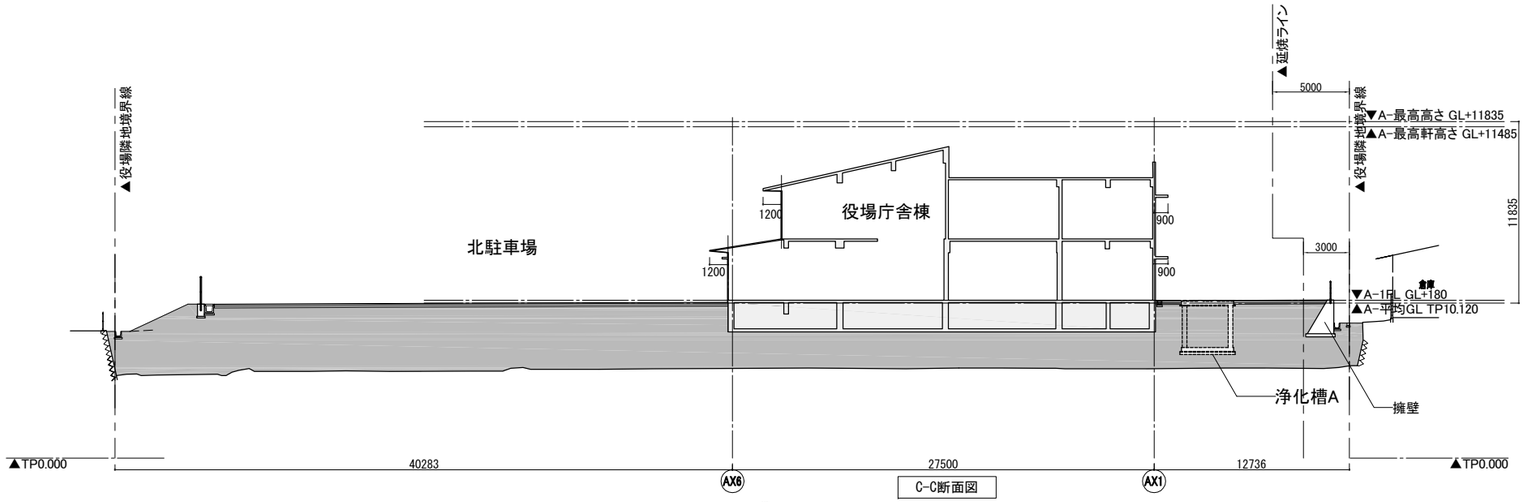
1. 「基準点1」と「基準点2」を結んだ直線を基準線とする
2. AX1、BX1通りを基準線に平行とする

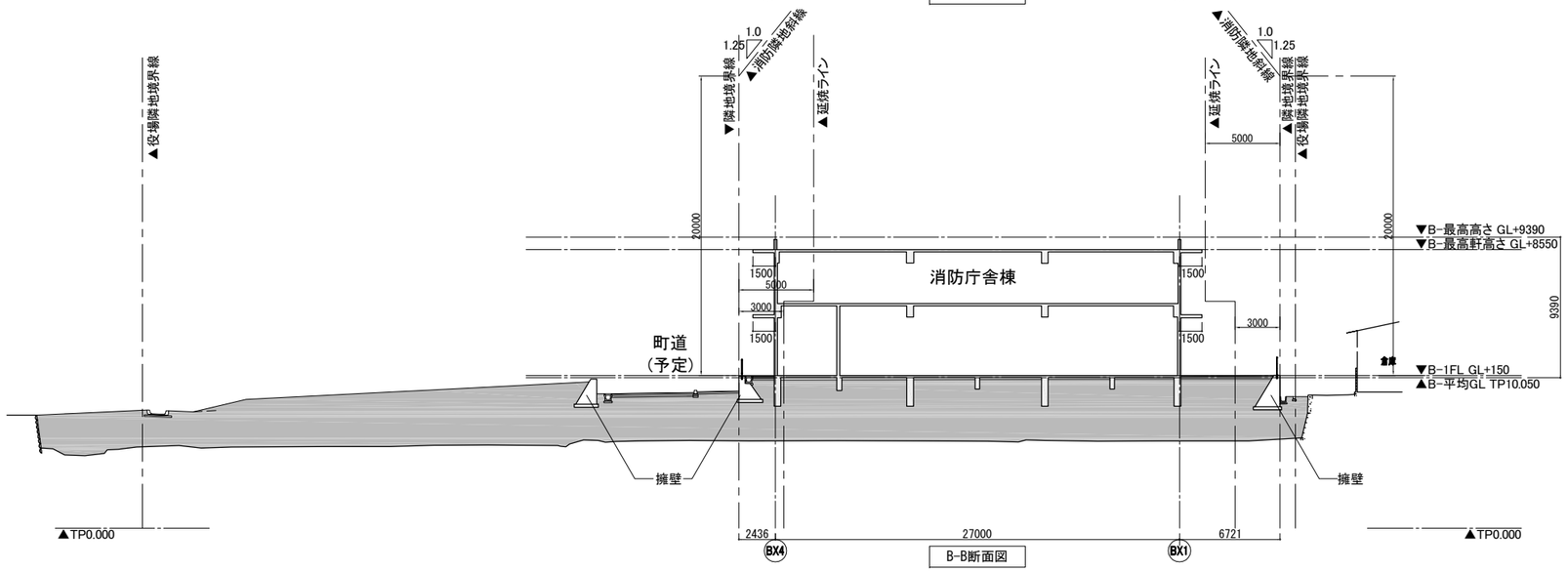
		北駐車場	南駐車場	その他	計		備考
役場	来庁者	45	—	—	45	118	
	職員	—	40	8(役場南、西)	48		
	公用車	—	19		19		
	大型車両	—	4	—	4		
	ユンボ	—	2	—	2		
消防	消防本部	—	8	—	8	18	
	牟岐出張所	—	8	—	8		
	消防来庁者	—	—	—	0		役場来庁者と兼用
	公用車	—	—	2 (訓練棟)	2		
計		45	81	10	136		

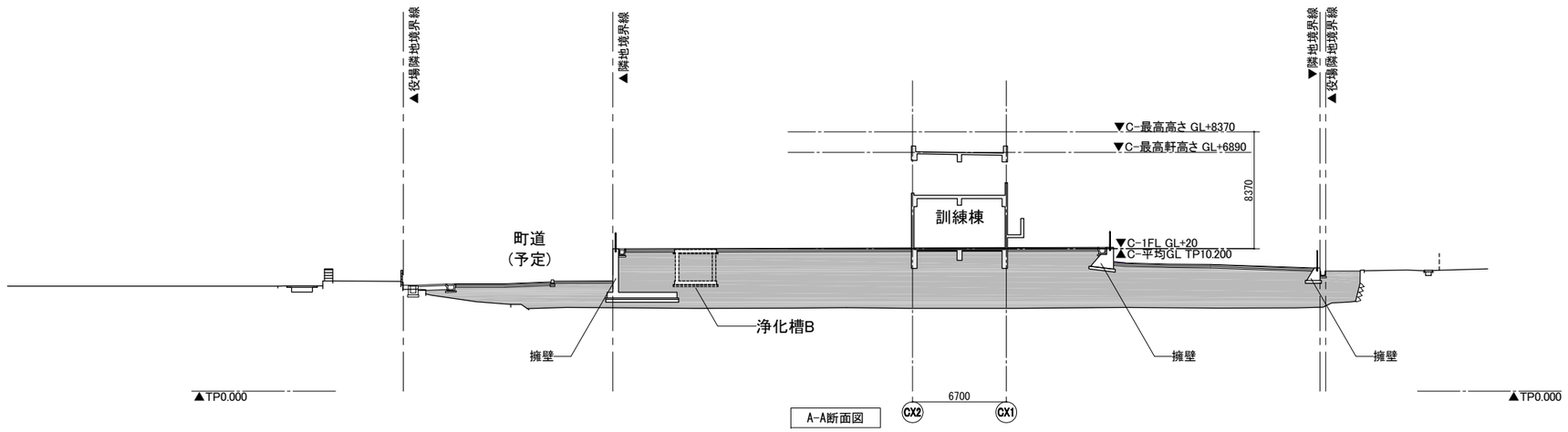
竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計 我にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠	
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 配置図	SCALE 1:400(A1) 1:800(A3)	DWG. NO A-018

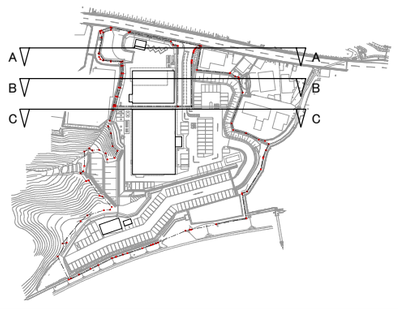






【凡例】

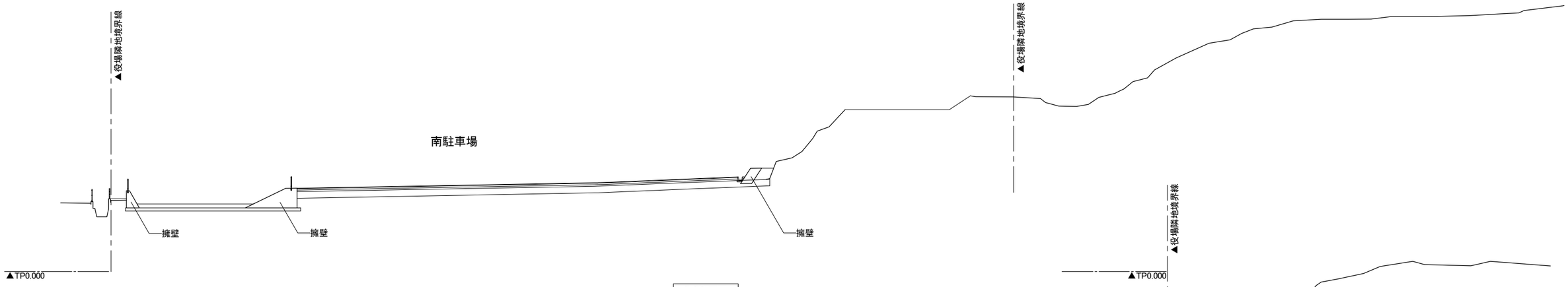
	盛土（既設）



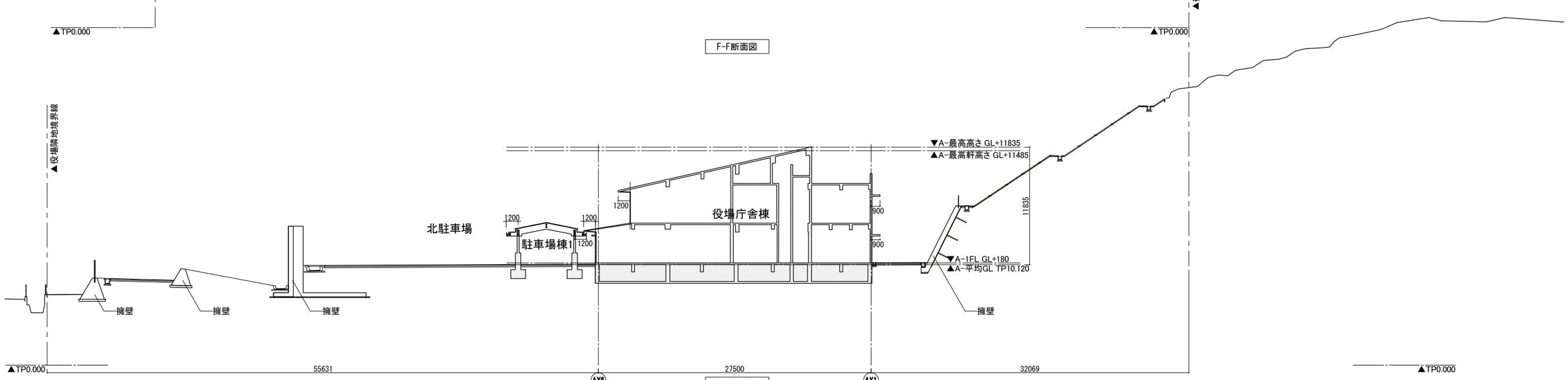
竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計 社にこころを

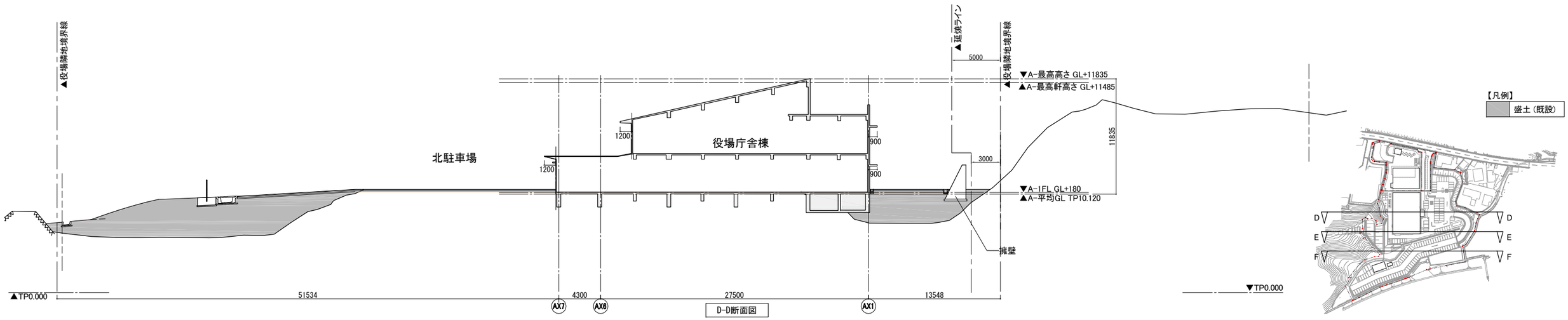
DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 断面図(1)	SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)	DWG. NO A-019



F-F断面図



E-E断面図

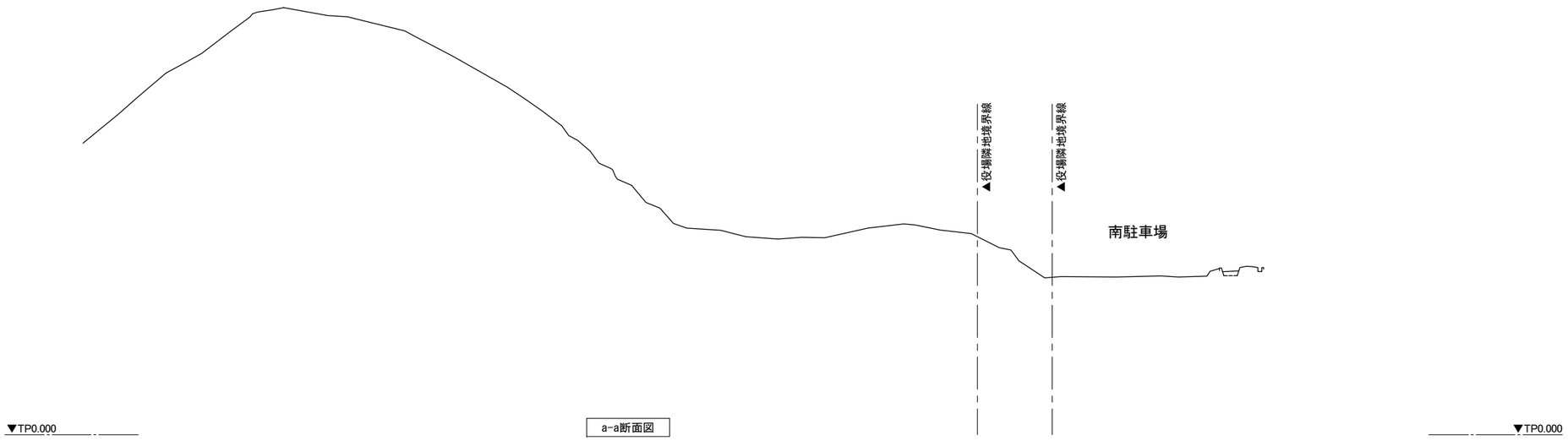


D-D断面図

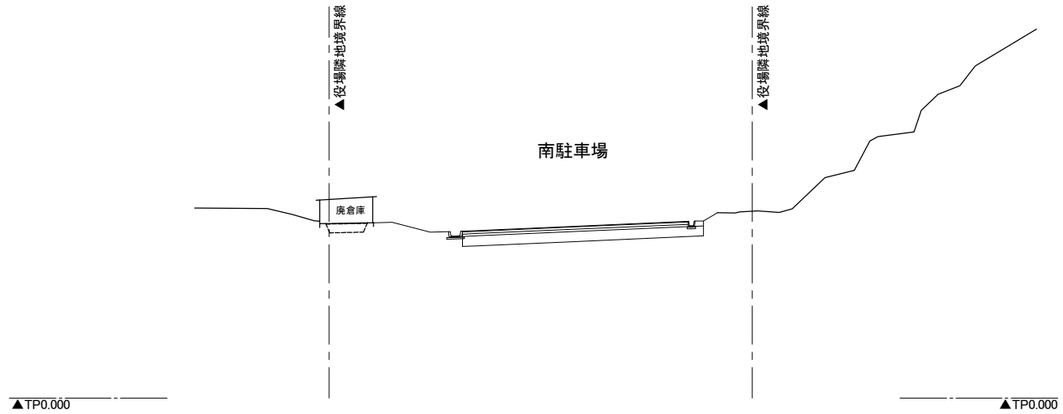
竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

技にこころを
株式会社 大建設計

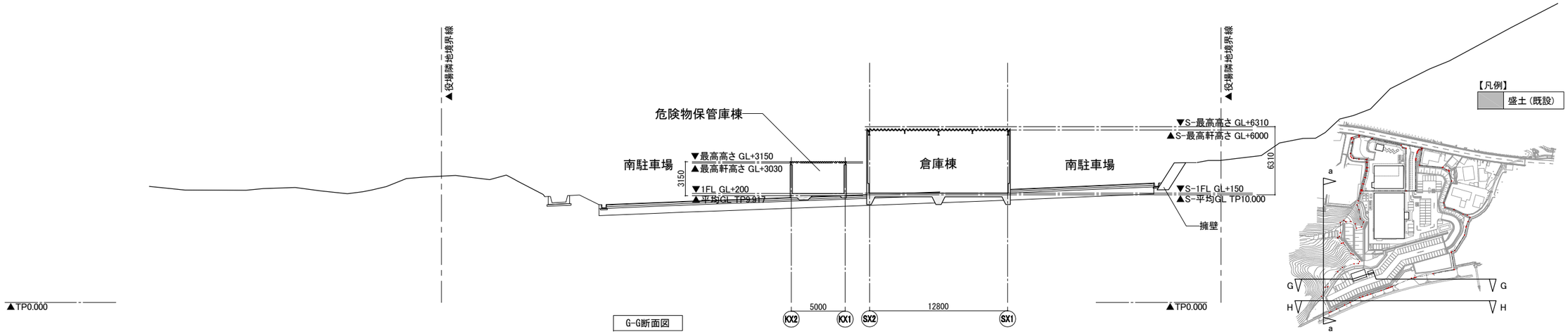
DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 断面図(2)	SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)	DWG. NO A-020



a-a断面図



H-H断面図

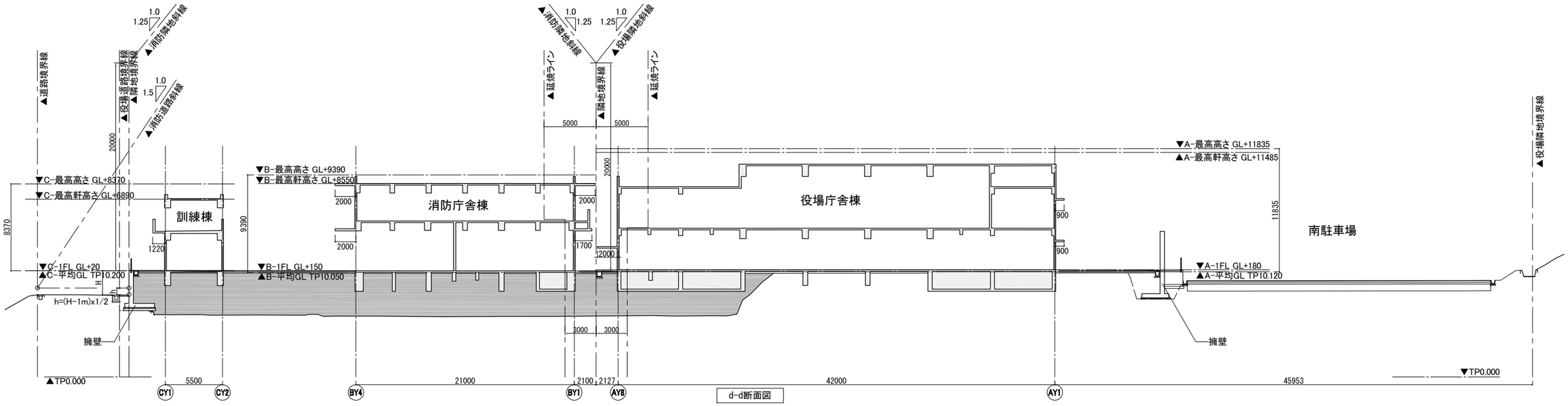


G-G断面図

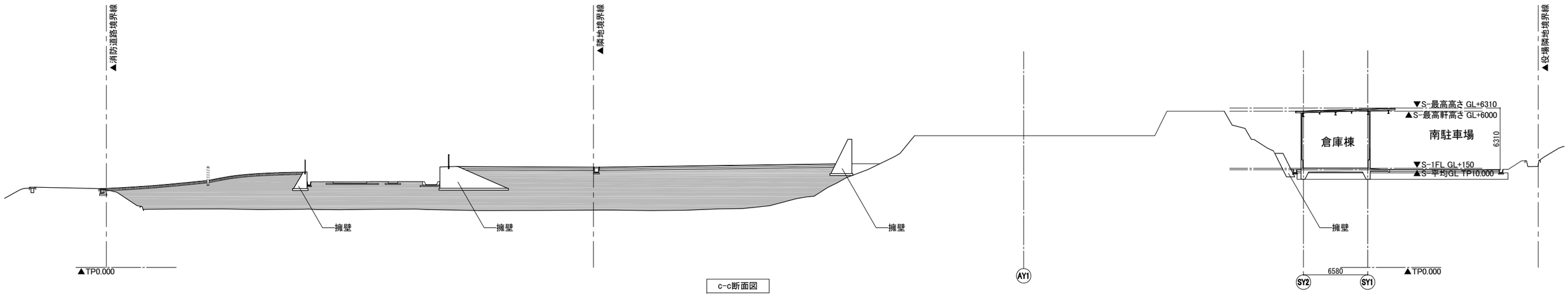
竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

技にこころを
株式会社 大建設計

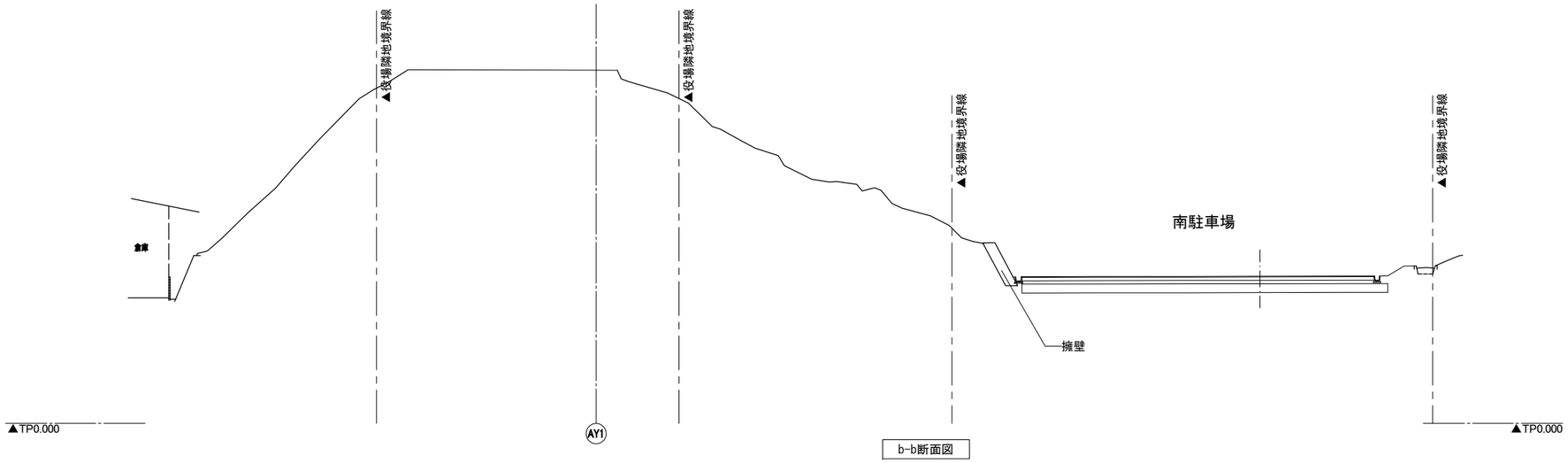
DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 断面図(3)	SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)	DWG. NO A-021



d-d断面図



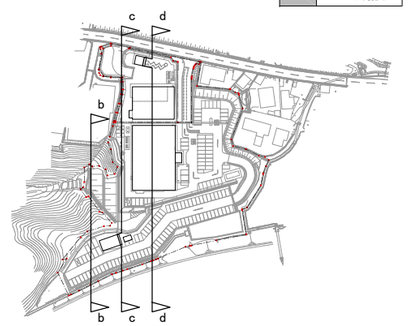
c-c断面図



b-b断面図

【凡例】

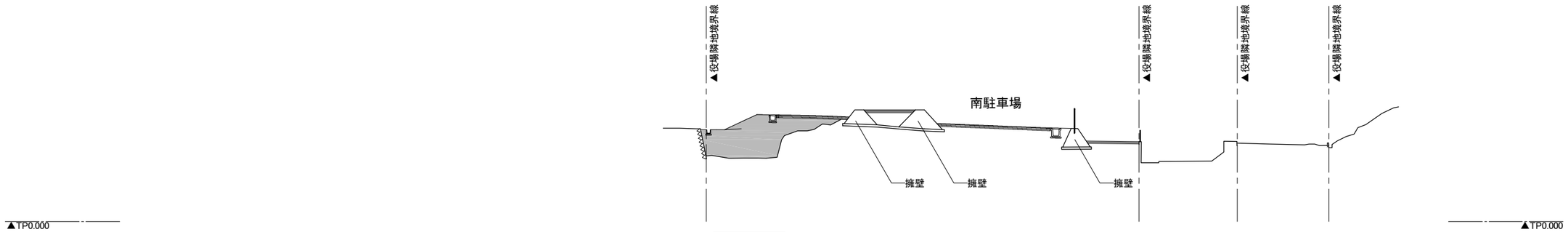
	盛土（既設）



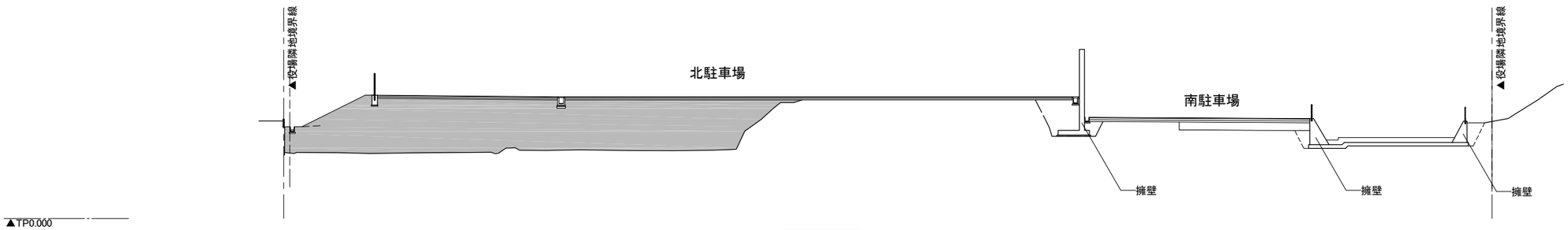
竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計 技にこころを

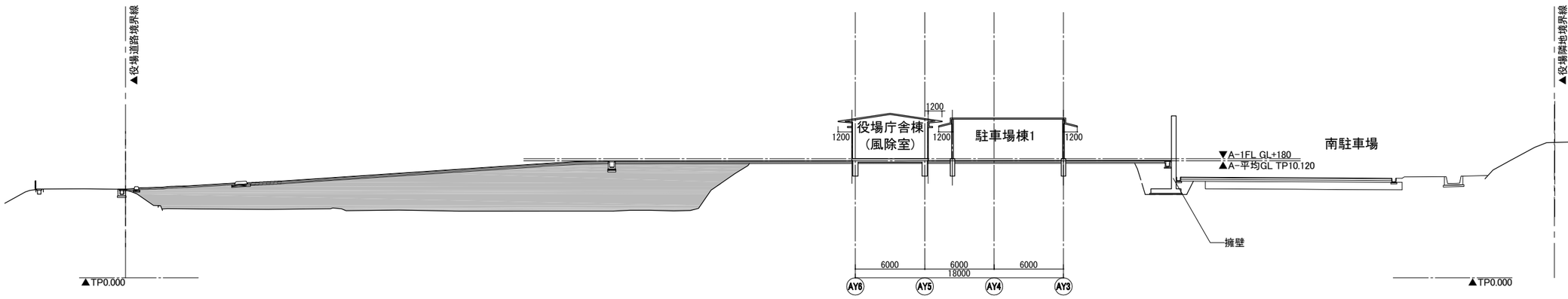
DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠	
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 断面図(4)	1:200(A1) SCALE 1:400(A3)	DWG. NO A-022



g-g断面図



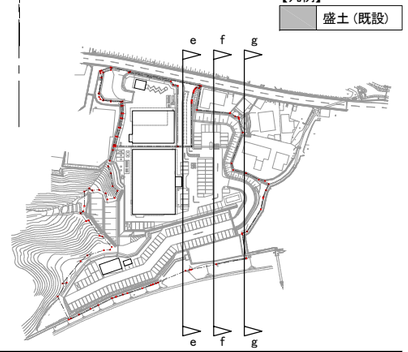
f-f断面図



e-e断面図

【凡例】

	盛土（既設）



竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

技にこころを
株式会社 大建設計

DATE 2025 . 3 . 14

PROJ. NO 0-2023-120

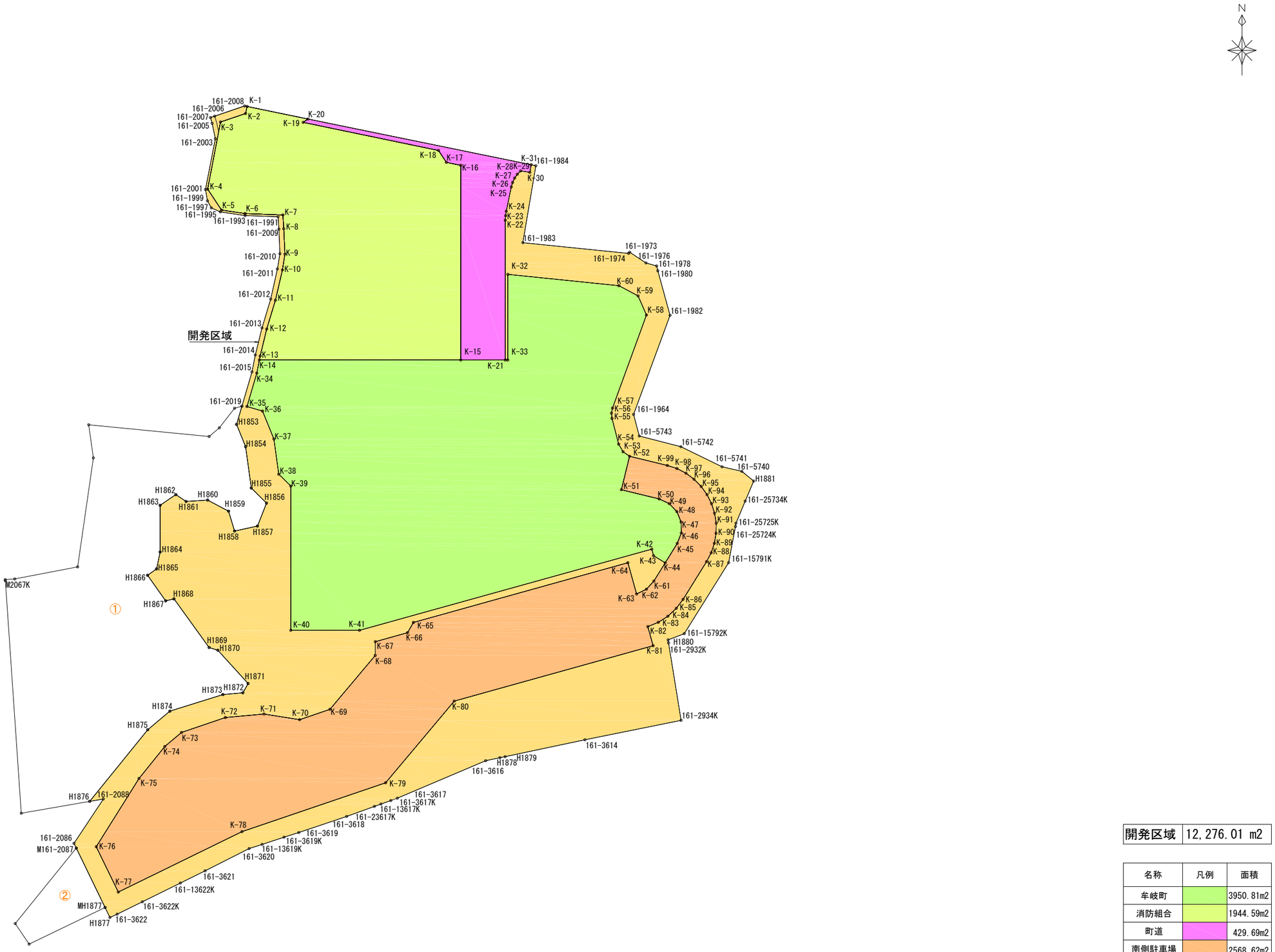
PROJ. TITLE 防災拠点整備事業
牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事

DWG. TITLE 断面図(5)

SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)

【共通】 意匠

DWG. NO A-023



開発区域	12,276.01 m2

名称	凡例	面積
牟岐町		3950.81m2
消防組合		1944.59m2
町道		429.69m2
南側駐車場		2568.62m2
共有		3382.28m2

竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計 地にこころを

DATE 2025 . 3 . 14

PROJ. NO 0-2023-120

PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事

DWG. TITLE 敷地求積図(1)

SCALE 1:400(A1) 1:800(A3)

【共通】 意匠

DWG. NO A-024

求積表

牟岐町

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
K-14	74540.733	84545.916	0.000	40.783
K-34	74538.062	84545.389	-451642.876	2.722
K-35	74531.296	84543.405	-1144054.780	7.051
K-36	74530.370	84546.564	-156577.311	3.292
K-37	74524.720	84548.860	-955389.146	6.099
K-38	74517.603	84549.847	-1203475.498	7.185
K-39	74515.221	84552.263	-402801.226	3.393
K-40	74486.006	84552.263	-4940388.727	29.215
K-41	74486.006	84566.180	0.000	13.917
K-42	74502.452	84625.345	2782523.820	61.408
K-43	74501.132	84625.712	-223411.395	1.370
K-44	74499.657	84628.055	-249649.306	2.769
K-45	74503.589	84630.507	665524.666	4.634
K-46	74505.691	84631.320	355788.360	2.254
K-47	74507.945	84631.299	381517.943	2.254
K-48	74510.032	84630.448	353249.266	2.254
K-49	74511.658	84628.888	275215.680	2.253
K-50	74512.593	84626.838	158254.104	2.253
K-51	74514.454	84619.209	314966.893	7.853
K-52	74521.255	84620.868	1151001.764	7.000
K-53	74522.150	84619.519	151470.146	1.619
K-54	74523.685	84618.656	259780.599	1.761
K-55	74528.882	84617.311	879519.320	5.368
K-56	74529.945	84617.203	179896.288	1.068
K-57	74530.993	84617.416	177357.881	1.069
K-58	74549.813	84624.279	3185128.700	20.032
K-59	74553.702	84622.577	658201.023	4.245
K-60	74555.743	84618.720	345421.487	4.364
K-32	74558.045	84596.199	389532.744	22.638
K-33	74540.733	84596.199	-2929058.794	17.312
K-21	74540.733	84595.699	0.000	0.500
K-15	74540.733	84586.699	0.000	9.000
		倍面積 ㎡	7901.625	
		面積 ㎡	3950.813	

南側駐車場

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
K-44	74499.657	84628.055	621330.777	4.326
K-45	74503.589	84630.507	665524.666	4.634
K-46	74505.691	84631.320	355788.360	2.254
K-47	74507.945	84631.299	381517.943	2.254
K-48	74510.032	84630.448	353249.266	2.254
K-49	74511.658	84628.888	275215.680	2.253
K-50	74512.593	84626.838	158254.104	2.253
K-51	74514.454	84619.209	314966.893	7.853
K-52	74521.255	84620.868	1151001.764	7.000
K-99	74519.394	84628.497	-314973.068	7.853
K-98	74518.755	84630.439	-108156.460	2.044
K-97	74517.819	84632.256	-158429.883	2.044
K-96	74516.610	84633.905	-204642.789	2.045
K-95	74515.157	84635.344	-245948.219	2.045
K-94	74513.497	84636.537	-280991.322	2.044
K-93	74511.670	84637.455	-309263.583	2.045
K-92	74509.722	84638.075	-329748.732	2.044
K-91	74507.701	84638.382	-342107.720	2.044
K-90	74505.657	84638.369	-346001.679	2.044
K-89	74503.640	84638.035	-341430.507	2.044
K-88	74501.700	84637.389	-328394.323	2.045
K-87	74499.885	84636.447	-307232.012	2.045
K-86	74492.282	84631.706	-1286945.767	8.960
K-85	74490.440	84630.315	-311780.643	2.308
K-84	74488.872	84628.620	-265398.010	2.309
K-83	74487.629	84626.675	-210384.332	2.308
K-82	74486.749	84624.540	-148941.069	2.309
K-81	74482.889	84625.613	-653305.591	4.006
K-80	74471.701	84585.363	-1893132.399	41.776
K-79	74455.173	84571.488	-2795824.433	21.580
K-78	74445.273	84542.380	-1674227.293	30.745
K-77	74433.055	84517.363	-2065571.940	27.841
K-76	74442.230	84512.882	1550852.498	10.211
K-75	74456.034	84521.564	2333351.493	16.307
K-74	74462.495	84526.788	1092221.402	8.309
K-73	74465.337	84530.175	480459.889	4.421
K-72	74468.350	84539.034	509405.527	9.357
K-71	74469.064	84546.851	120727.322	7.850
K-70	74467.943	84554.065	-189562.127	7.301
K-69	74470.028	84560.196	352603.234	6.476
K-68	74480.949	84569.364	1847063.925	14.259
K-67	74483.705	84569.364	466146.334	2.756
K-66	74485.526	84575.926	308013.573	6.810
K-65	74487.619	84577.109	354037.302	2.404
K-64	74499.691	84620.528	2042553.874	45.066
K-63	74493.380	84622.282	-1068091.374	6.550
K-62	74494.356	84624.269	165184.634	2.214
K-61	74495.986	84625.766	275877.557	2.213
		倍面積 ㎡	5137.258	
		面積 ㎡	2568.629	

共有(1/3)

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
161-1984	74580.047	84601.892	-32656.149	0.961
161-1983	74564.468	84599.249	-2635984.576	15.802
161-1974	74562.281	84620.641	-370083.899	21.504
161-1973	74562.524	84620.881	41125.690	0.342
161-1976	74560.368	84624.178	-364892.347	3.939
161-1978	74559.752	84626.335	-104258.316	2.243
161-1980	74558.773	84626.567	-165698.591	1.006
161-1982	74549.766	84629.064	-1524485.468	9.347
161-1964	74529.722	84621.680	-3392461.913	21.361
161-5743	74525.337	84622.815	-742137.111	4.530
161-5742	74523.172	84631.245	-366435.040	8.704
161-5741	74519.097	84639.573	-689778.583	9.272
161-5740	74518.180	84643.576	-155232.648	4.107
H1881	74516.226	84645.982	-330791.796	3.100
161-25734K	74512.171	84644.270	-686471.972	4.402
161-25725K	74507.699	84642.400	-757049.988	4.847
161-25724K	74507.005	84642.292	-117483.576	0.702
161-15791K	74499.690	84640.913	-1238306.645	7.444
161-15792K	74485.322	84631.919	-2432112.050	16.951
H1880	74484.083	84628.653	-209713.849	3.493
161-2933K	74483.472	84628.752	-103416.274	0.619
161-2934K	74467.793	84631.289	-2653828.183	15.883
161-3614	74463.857	84611.818	-666140.869	19.865
H1879	74460.455	84595.643	-575643.782	16.529
H1878	74460.239	84594.615	-36545.096	1.050
161-3616	74459.633	84591.734	-102526.927	2.944
161-3617	74452.047	84573.847	-1283290.097	19.429
161-3617K	74451.567	84572.521	-81190.257	1.410
161-13617K	74450.848	84570.538	-121613.859	2.109
161-23617K	74450.368	84569.212	-81187.080	1.410
161-3618	74448.333	84563.594	-344185.260	5.975
161-3619	74445.109	84553.901	-545234.804	10.215
161-3619K	74444.138	84550.927	-164200.788	3.129
161-13619K	74442.686	84546.479	-245529.434	4.679
161-3620	74441.829	84543.854	-144910.415	2.761
161-3621	74437.343	84534.945	-758487.492	9.975
161-13622K	74434.865	84529.912	-418942.716	5.610
161-3622K	74431.089	84522.245	-638340.945	8.546
161-3622	74428.565	84517.119	-426655.355	5.714
H1877	74427.878	84515.663	-116125.521	1.610
MH1877	74429.914	84514.675	344145.768	2.263
M161-2087	74441.934	84508.843	2031662.686	13.360
161-2086	74442.881	84508.383	160059.313	1.053
161-2088	74451.864	84514.331	1518331.040	10.774
H1876	74451.389	84511.573	-80287.304	2.799
H1875	74465.909	84523.311	2454386.516	18.671
H1874	74469.661	84527.782	634279.701	5.837
H1873	74473.022	84538.511	568231.811	11.243
H1872	74473.396	84542.600	63236.336	4.106
H1871	74475.255	84543.646	314331.331	2.133
H1870	74481.991	84537.521	1138930.741	9.104
H1869	74482.531	84535.741	91299.561	1.860
H1868	74492.371	84528.641	1663593.519	12.134
H1867	74491.986	84526.956	-65086.405	1.728
H1866	74497.168	84523.302	876018.437	6.341
H1865	74498.441	84525.107	215198.625	2.209
H1864	74501.865	84525.814	578830.354	3.496
H1863	74511.306	84525.814	1596016.420	9.441

共有(2/3)

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
H1862	74513.475	84529.015	366679.924	3.867
H1861	74512.080	84531.071	-235838.820	2.485
H1860	74512.355	84535.446	46493.292	4.384
H1859	74510.143	84539.671	-373994.159	4.769
H1858	74506.116	84540.893	-680887.431	4.208
H1857	74507.124	84545.544	170439.128	4.759
H1856	74511.754	84547.364	782900.164	4.975
H1855	74514.814	84544.271	517420.403	4.351
H1854	74523.187	84543.121	1415768.733	8.452
H1853	74527.674	84541.301	758681.802	4.842
161-2019	74531.380	84542.388	626624.151	3.862
161-2015	74538.300	84544.417	1170080.691	7.211
161-2014	74541.736	84545.095	580991.563	3.502
161-2013	74547.237	84546.444	930172.556	5.664
161-2012	74553.049	84548.196	982778.048	6.070
161-2011	74559.146	84549.582	1030989.152	6.253
161-2010	74562.231	84550.073	521672.436	3.124
161-2009	74567.201	84549.866	840426.697	4.974
161-1991	74569.713	84549.690	424778.085	2.518
161-1993	74569.964	84543.024	42442.271	6.671
161-1995	74570.691	84538.021	122921.920	5.056
161-1997	74571.520	84536.189	140162.520	2.011
161-1999	74572.918	84535.395	236362.074	1.608
161-2001	74575.220	84535.013	389200.079	2.333
161-2003	74585.505	84536.999	1738905.643	10.475
161-2005	74588.623	84536.357	527170.724	3.183
161-2007	74589.794	84536.027	197983.762	1.217
161-2006	74590.080	84536.870	48354.849	0.890
161-2008	74592.126	84542.914	345937.238	6.381
K-1	74592.022	84543.423	-17584.979	0.520
K-2	74590.595	84543.131	-241286.513	1.457
K-3	74588.877	84538.058	-290481.483	5.356
K-4	74575.305	84535.437	-2294665.474	13.823
K-5	74571.061	84538.255	-717548.749	5.094
K-6	74570.364	84543.028	-117849.654	4.824
K-7	74570.076	84550.667	-48698.984	7.644
K-8	74567.257	84550.865	-476697.219	2.826
K-9	74562.173	84551.076	-859714.268	5.088
K-10	74558.956	84550.564	-543999.976	3.257
K-11	74552.794	84549.163	-1041992.518	6.319
K-12	74546.973	84547.409	-984311.146	6.080
K-13	74541.520	84546.072	-922066.752	5.615
K-14	74540.733	84545.916	-133075.395	0.802
K-34	74538.062	84545.389	-451642.876	2.722
K-35	74531.296	84543.405	-1144054.780	7.051
K-36	74530.370	84546.564	-156577.311	3.292
K-37	74524.720	84548.860	-955389.146	6.099
K-38	74517.603	84549.847	-1203475.498	7.185
K-39	74515.221	84552.263	-402801.226	3.393
K-40	74486.006	84552.263	-4940388.727	29.215
K-41	74486.006	84566.180	0.000	13.917
K-42	74502.452	84625.345	2782523.820	61.408
K-43	74501.132	84625.712	-223411.395	1.370
K-44	74499.657	84628.055	-249649.306	2.769
K-61	74495.986	84625.766	-621330.777	4.326
K-62	74494.356	84624.269	-275877.557	2.213
K-63	74493.380	84622.282	-165184.634	2.214
K-64	74499.691	84620.528	1068091.374	6.550

共有(3/3)

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
K-65	74487.619	84577.109	-2042553.874	45.066
K-66	74485.526	84575.926	-354037.302	2.404
K-67	74483.705	84569.364	-308013.573	6.810
K-68	74480.949	84569.364	-466146.334	2.756
K-69	74470.028	84560.196	-1847063.925	14.259
K-70	74467.943	84554.065	-352603.234	6.476
K-71	74469.064	84546.851	189562.127	7.301
K-72	74468.350	84539.034	-120727.322	7.850
K-73	74465.337	84530.175	-509405.527	9.357
K-74	74462.495	84526.788	-480459.889	4.421
K-75	74456.034	84521.564	-1092221.402	8.309
K-76	74442.230	84512.882	-2333351.493	16.307
K-77	74433.055	84517.363	-1550852.498	10.211
K-78	74445.273	84542.380	2065571.940	27.841
K-79	74455.173	84571.488	1674227.293	30.745
K-80	74471.701	84585.363	2795824.433	21.580
K-81	74482.889	84625.613	1893132.399	41.776
K-82	74486.749	84624.540	653305.591	4.006
K-83	74487.629	84626.675	148941.069	2.309
K-84	74488.872	84628.620	210384.332	2.308
K-85	74490.440	84630.315	265398.010	2.309
K-86	74492.282	84631.706	311780.643	2.308
K-87	74499.885	84636.447	1286945.767	8.960
K-88	74501.700	84637.389	307232.012	2.045
K-89	74503.640	84638.035	328394.323	2.045
K-90	74505.657	84638.369	341430.507	2.044
K-91	74507.701	84638.382	346001.679	2.044
K-92	74509.722	84638.075	342107.720	2.044
K-93	74511.670	84637.455	329748.732	2.044
K-94	74513.497	84636.537	309263.583	2.045
K-95	74515.157	84635.344	280991.322	2.044
K-96	74516.610	84633.905	245948.219	2.045
K-97	74517.819	84632.256	204642.789	2.045
K-98	74518.755	84630.439	158429.883	2.044
K-99	74519.394	84628.497	108156.460	2.044
K-52	74521.255	84620.868	314973.068	7.853
K-53	74522.150	84619.519	151470.146	1.619
K-54	74523.685	84618.656	259780.599	1.761
K-55	74528.882	84617.311	879519.320	5.368
K-56	74529.945	84617.203	179896.288	1.068
K-57	74530.993	84617.416	177357.881	1.069
K-58	74549.813	84624.279	3185128.700	20.032
K-59	74553.702	84622.577	658201.023	4.245
K-60	74555.743	84618.720	345421.487	4.364
K-32	74558.045	84596.199	389532.744	22.638
K-33	74540.733	84596.199	-2929058.794	17.312
K-21	74540.733	84595.699	0.000	0.500
K-22	74568.999	84595.699	4782364.056	28.266
K-23	74569.921	84595.747	155994.513	0.923
K-24	74570.833	84595.888	154302.771	0.923
K-25	74575.740	84596.910	830229.060	5.012
K-26	74576.658	84597.179	155320.174	0.957
K-27	74577.522	84597.590	146184.280	0.957
K-28	74578.309	84598.133	133157.034	0.956
K-29	74578.999	84598.795	116745.880	0.956
K-30	74578.678	84600.686	-54313.033	1.918
K-31	74580.240	84600.951	264292.957	1.584
		倍面積 ㎡	6764.571	
		面積 ㎡	3382.286	

消防組合

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
K-1	74592.022	84543.423	426298.970	12.565
K-2	74590.595	84543.131	-241286.513	1.457
K-3	74588.877	84538.058	-290481.483	5.356
K-4	74575.305	84535.437	-2294665.474	13.823
K-5	74571.061	84538.255	-717548.749	5.094
K-6	74570.364	84543.028	-117849.654	4.824
K-7	74570.076	84550.667	-48698.984	7.644
K-8	74567.257	84550.865	-476697.219	2.826
K-9	74562.173	84551.076	-859714.268	5.088
K-10	74558.956	84550.564	-543999.976	3.257
K-11	74552.794	84549.163	-1041992.518	6.319
K-12	74546.973	84547.409	-984311.146	6.080
K-13	74541.520	84546.072	-922066.752	5.615
K-14	74540.733	84545.916	-133075.395	0.802
K-15	74540.733	84586.699	0.000	40.783
K-16	74580.112	84586.699	6661879.240	39.379
K-17	74580.724	84583.762	103532.322	3.000
K-18	74583.117	84582.194	404814.133	2.861
K-19	74588.831	84554.770	966448.612	28.013
K-20	74589.501	84555.732	113304.036	1.172
		倍面積 ㎡	3889.182	
		面積 ㎡	1944.591	

町道

点名称	X座標	Y座標	倍面積 ㎡	辺長 m
K-15	74540.733	84586.699	-6661879.240	39.379
K-21	74540.733	84595.699	0.000	9.000
K-22	74568.999	84595.699	4782364.056	28.266
K-23	74569.921	84595.747	155994.513	0.923
K-24	74570.833	84595.888	154302.771	0.923
K-25	74575.740	84596.910	830229.060	5.012
K-26	74576.658	84597.179	155320.174	0.957
K-27	74577.522	84597.590	146184.280	0.957
K-28	74578.309	84598.133	133157.034	0.956
K-29	74578.999	84598.795	116745.880	0.956
K-30	74578.678	84600.686	-54313.033	1.918
K-31	74580.240	84600.951	264292.957	1.584
K-20	74589.501	84555.732	1566560.041	46.158
K-19	74588.831	84554.770	-113304.036	1.172
K-18	74583.117	84582.194	-966448.612	28.013
K-17	74580.724	84583.762	-404814.133	2.861
K-16	74580.112	84586.699	-103532.322	3.000
		倍面積 ㎡	859.390	
		面積 ㎡	429.695	

役場敷地

牟岐町	3950.813㎡
南側駐車場	2568.629㎡
共有	3382.286㎡
町道	429.695㎡
合計面積	10331.423㎡

消防敷地

消防組合	面積	1944.591㎡

竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

技にこころを
株式会社 大建設計

DATE 2025 . 3 . 14

PROJ.NO 0-2023-120

PROJ.TITLE 防災拠点整備事業
牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事

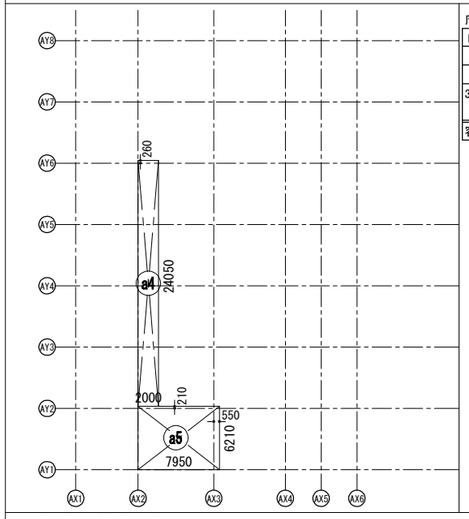
DWG.TITLE 敷地求積図(2)

SCALE

【共通】
意匠

DWG.NO A-025

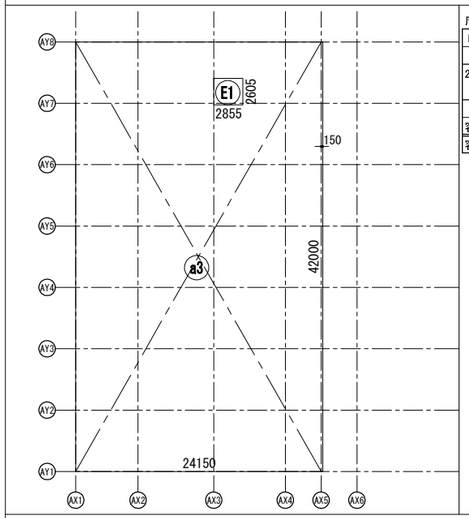
庁舎棟 3階床面積



庁舎棟 3階床面積(㎡)

NO.	計算式			面積
a4	2.000	×	24.050	48.100000
a5	7.950	×	6.210	49.369500
3階床面積			合計	97.469500
			改め	97.47
容積対象床面積 (a4～a5)				97.47

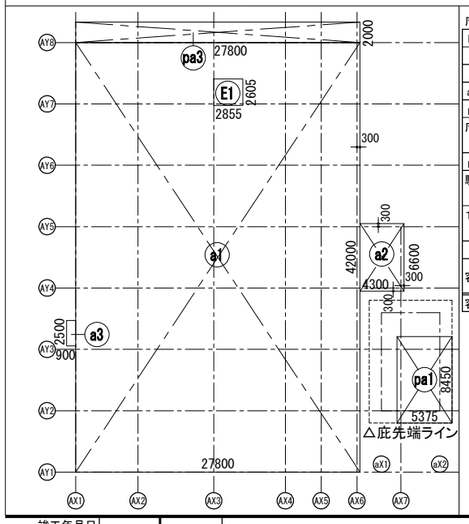
庁舎棟 2階床面積



庁舎棟 2階床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
a3	24.150	×	42.000		1014.300000
2階床面積				合計	1014.300000
				改め	1014.30
E1	2.855	×	2.605		7.437275
容積対象外床面積	E1		EVシャフト	改め	7.44
容積対象床面積	2階床面積-E1				1006.86

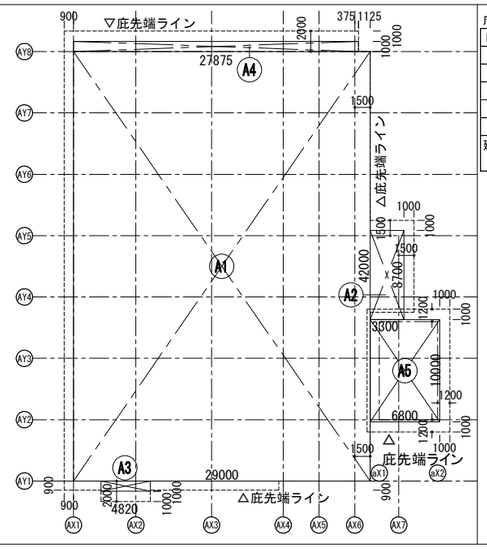
庁舎棟・駐車場棟1 1階床面積



庁舎棟・駐車場棟1 1階床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
a1	27.800	×	42.000		1167.600000
a2	4.300	×	6.600		28.380000
a2A	0.900	×	2.500		2.250000
pa3	27.800	×	2.000		55.600000
庁舎棟 1階床面積				合計	1253.830000
				改め	1253.83
pa1	5.375	×	8.450		45.418750
駐車場棟1 1階床面積				合計	45.418750
				改め	45.42
1階床面積				合計	1299.25
E1	2.855	×	2.605		7.437275
容積対象外床面積	E1		EVシャフト	改め	7.44
	pa1+pa3		駐車・駐輪場	合計	101.02
容積対象床面積	1階床面積-E1-(pa1+pa3)				1190.79

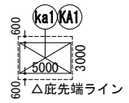
庁舎棟・駐車場棟1 建築面積



庁舎棟 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
A1	29.000	×	42.000		1218.000000
A2	3.300	×	8.700		28.710000
A3	4.820	×	1.000		4.820000
A4	27.875	×	1.000		27.875000
A5	6.800	×	10.000		68.000000
建築面積(合計)				合計	1347.405000
				改め	1347.41

危険物保管庫棟 床面積・建築面積



危険物保管庫棟 床面積(㎡)

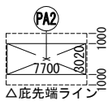
NO.	計算式				面積
ka1	5.000	×	3.000		15.000000
				合計	15.000000
				改め	15.00

危険物保管庫棟 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
KA1	5.000	×	3.000		15.000000
				合計	15.000000
				改め	15.00

駐車場棟2 床面積・建築面積

駐車場棟2 床面積



駐車場棟2 建築面積

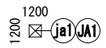
駐車場棟2 床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
pa2	7.700	×	5.020		38.654000
				合計	38.654000
				改め	38.66

駐車場棟2 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
PA2	7.700	×	3.020		23.254000
				合計	23.254000
				改め	23.26

浄化槽機械室A 床面積・建築面積



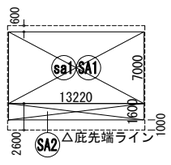
浄化槽機械室A 床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
ja1	1.200	×	1.200		1.440000
				合計	1.440000
				改め	1.44

浄化槽機械室A 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
JA1	1.200	×	1.200		1.440000
				合計	1.440000
				改め	1.44

倉庫棟 床面積・建築面積



倉庫棟 床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
sa1	13.220	×	7.000		92.540000
				合計	92.540000
				改め	92.54

倉庫棟 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
SA1	13.220	×	7.000		92.540000
SA2	13.220	×	1.600		21.152000
				合計	113.692000
				改め	113.70

面積表【役場】

敷地面積(㎡)

	10331.42

建蔽率(%)

1500.81 / 10331.42 × 100	14.53

容積率(%)

2404.10 / 10331.42 × 100	23.27

建築面積(㎡)

	庁舎棟	付属棟				合計
		駐車場棟2	倉庫棟	危険物保管庫棟	浄化槽機械室A	
	1347.41	23.26	113.70	15.00	1.44	1500.81

延床面積(㎡)

庁舎棟・駐車場棟1					付属棟				合計
階	容積対象床面積	容積対象外床面積(EV)	容積対象外床面積(駐車・駐輪場)	床面積	駐車場棟2(容積対象外)	倉庫棟(容積対象)	危険物保管庫棟(容積対象)	浄化槽機械室A(容積対象)	床面積
3	97.47			97.47					97.47
2	1006.86	7.44		1014.30					1014.30
1	1190.79	7.44	101.02	1299.25	38.66	92.54	15.00	1.44	1446.89
合計	2295.12	14.88	101.02	2411.02	38.66	92.54	15.00	1.44	2558.66

延床面積/5	=	511.73	>	139.68
容積対象床面積	=	2404.10		

	対象外部分	面積(㎡)
容積対象外床面積	EVシャフト	14.88
	駐車・駐輪場	139.68
	合計	154.56

竣工年月日	. .	. .
監理者印		. .
		. .
施工者印		. .
		. .

株式会社 大建設計 注にこころを

DATE 2025 . 3 . 14

PROJ. NO 0-2023-120

PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事

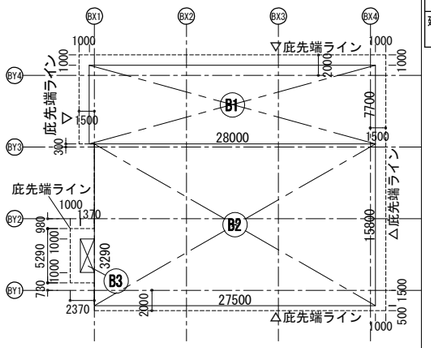
DWG. TITLE 求積図(1)

SCALE 1:300(A1) 1:600(A3)

【共通】意匠

DWG. NO A-026

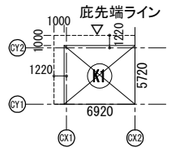
消防庁舎棟　建築面積



消防庁舎棟　建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
B1	28.000	×	7.700		215.600000
B2	27.500	×	15.800		434.500000
B3	1.370	×	3.290		4.507300
建築面積(合計)				合計	654.607300
				改め	654.61

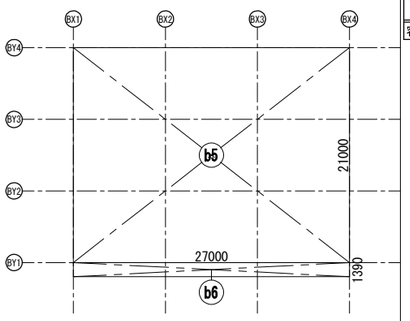
訓練棟　建築面積



訓練棟 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
K1	6.920	×	5.720		39.582400
				合計	39.582400
				改め	39.59

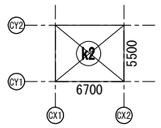
消防庁舎棟　2階床面積



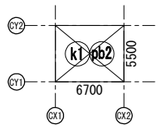
消防庁舎棟　2階床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
b5	27.000	×	21.000		567.000000
b6	27.000	×	1.390		37.530000
2階床面積				合計	604.530000
				改め	604.53
容積対象床面積　(b5～b6)					604.53

訓練棟　床面積



訓練棟　2階床面積



訓練棟　1階床面積

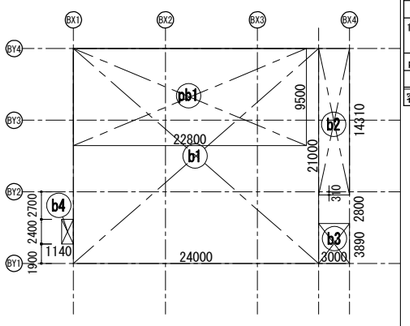
訓練棟　2階床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
k2	6.700	×	5.500		36.850000
				合計	36.850000
				改め	36.85

訓練棟　1階床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
k1	6.700	×	5.500		36.850000
訓練棟　1階床面積				合計	36.850000
				改め	36.85
pb2	6.700	×	5.500		36.850000
容積対象外床面積 pb2			駐車場	改め	36.85
容積対象床面積　k1−pb2					0.00

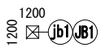
消防庁舎棟　1階床面積



消防庁舎棟　1階床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
b1	24.000	×	21.000		504.000000
b2	3.000	×	14.310		42.930000
b3	3.000	×	3.890		11.670000
b4	1.140	×	2.400		2.736000
1階(合計)床面積				合計	561.336000
				改め	561.34
pb1	22.800	×	9.500		216.600000
	pb1		駐車場	改め	216.60
容積対象床面積　(b1～b4)−pb1					344.74

浄化槽機械室B　床面積・建築面積



浄化槽機械室B 床面積(㎡)

NO.	計算式				面積
jb1	1.200	×	1.200		1.440000
				合計	1.440000
				改め	1.44

浄化槽機械室B 建築面積(㎡)

NO.	計算式				面積
JB1	1.200	×	1.200		1.440000
				合計	1.440000
				改め	1.44

面積表【消防】

敷地面積(㎡)

	1944.59

建蔽率(%)

695.64	/	1944.59	×	100	35.78

容積率(%)

992.81	/	1944.59	×	100	51.06

建築面積(㎡)

	庁舎棟		訓練棟		付属棟	合計
					浄化槽機械室B	
	654.61		39.59		1.44	695.64

延床面積(㎡)

階	消防庁舎棟 容積対象床面積	消防庁舎棟 容積対象外床面積(EV)	消防庁舎棟 容積対象外床面積(駐車場)	消防庁舎棟 床面積	訓練棟 容積対象床面積	訓練棟 容積対象外床面積(駐車場)	訓練棟 床面積	付属棟 浄化槽機械室B (容積対象)	合計 床面積
2	604.53			604.53	36.85		36.85		641.38
1	344.74		216.60	561.34		36.85	36.85	1.44	599.63
合計	949.27	0.00	216.60	1165.87	36.85	36.85	73.70	1.44	1241.01

延床面積/5　＝　248.20　＜　253.45　∴容積対象除外駐車場面積＝248.20

容積対象床面積　＝　992.81

	対象外部分	面積(㎡)
容積対象外床面積	EVシャフト	0.00
	駐車場	253.45
	合計	253.45

竣工年月日	. .	. .
監理者印		. .
		. .
施工者印		. .
		. .

技にこころを
株式会社 大建設計

DATE 2025 . 3 . 14

PROJ. ND 0-2023-120

PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事

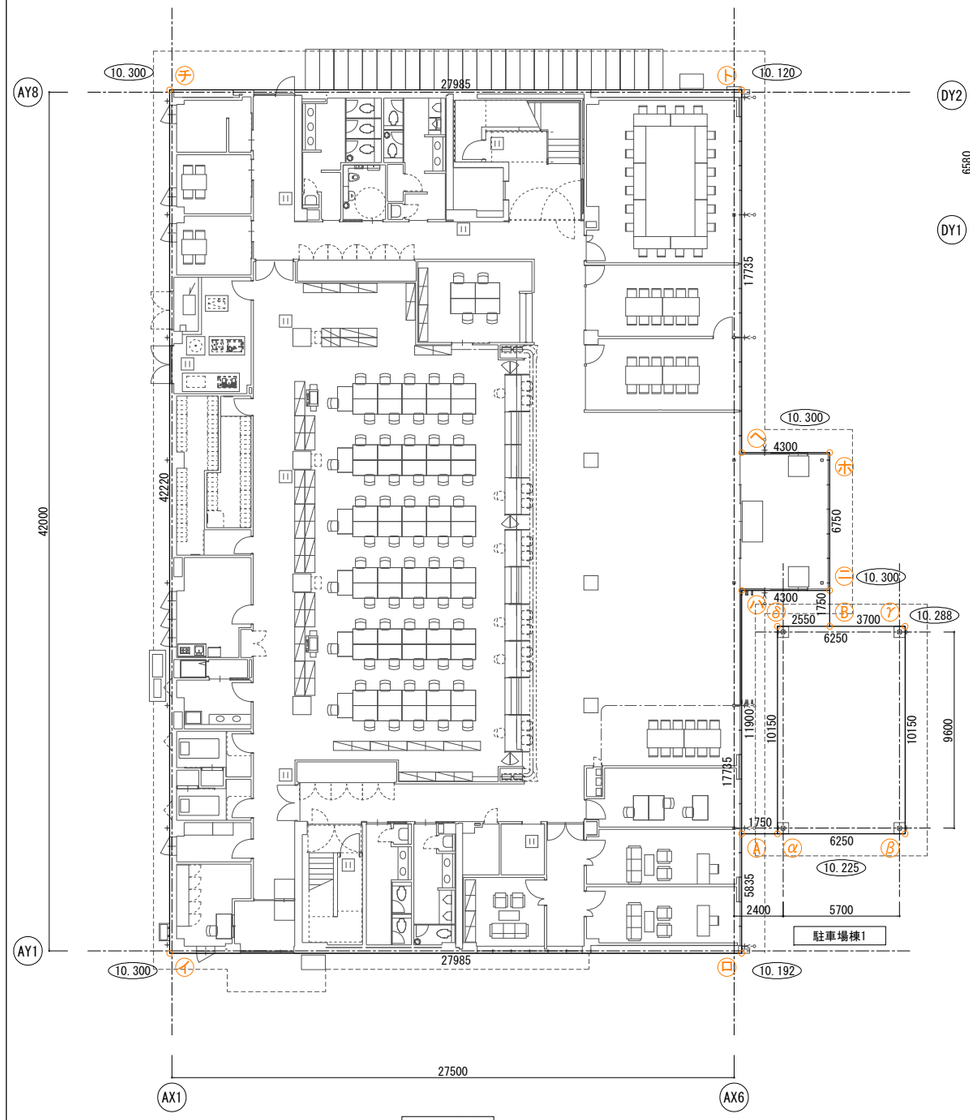
DWG. TITLE 求積図(2)

SCALE 1:300(A1) 1:600(A3)

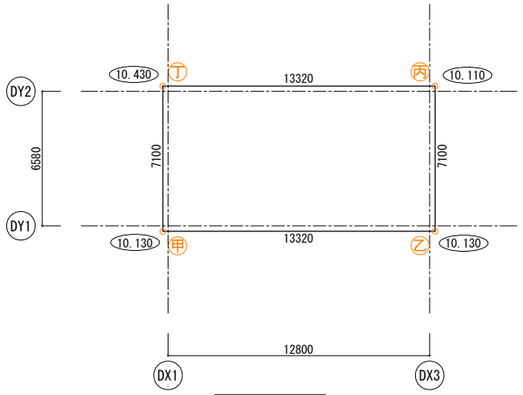
【共通】 意匠

DWG. NO A-027

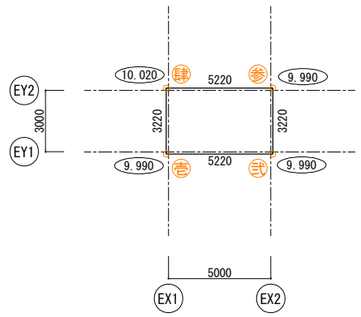
役場敷地



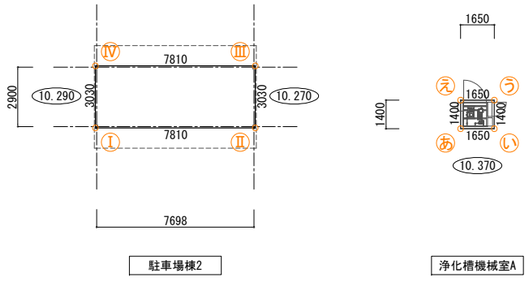
役場庁舎棟



倉庫棟(別途工事)



危険物保管庫棟(別途工事)



駐車場棟2

浄化槽機械室A

役場庁舎棟

	レベル		辺長			面積	
イ－ロ	(10.300 + 10.192)	×	27.985	× 0.5	=	286.7343	㎡
ロ－ハ	(10.192 + 10.300)	×	17.735	× 0.5	=	181.7128	㎡
ハ－ニ	(10.300 + 10.300)	×	4.300	× 0.5	=	44.2900	㎡
ニ－ホ	(10.300 + 10.300)	×	6.750	× 0.5	=	69.5250	㎡
ホ－ヘ	(10.300 + 10.300)	×	4.300	× 0.5	=	44.2900	㎡
ヘ－ト	(10.300 + 10.120)	×	17.735	× 0.5	=	181.0744	㎡
ト－チ	(10.120 + 10.300)	×	27.985	× 0.5	=	285.7269	㎡
チ－イ	(10.300 + 10.300)	×	42.220	× 0.5	=	434.8660	㎡
面積　合計						1528.2193	㎡
辺長　合計						149.010	m
面積/辺長	1528.2193	÷	149.010		=	10.256	m
∴平均地盤レベル						10.25	m

※役場庁舎棟の平均地盤高さは10.120とする。

駐車場棟1

	レベル		辺長			面積	
α－β	(10.225 + 10.225)	×	6.250	× 0.5	=	63.9063	㎡
β－γ	(10.225 + 10.288)	×	10.150	× 0.5	=	104.1035	㎡
γ－δ	(10.288 + 10.288)	×	6.250	× 0.5	=	64.3000	㎡
δ－α	(10.288 + 10.225)	×	10.150	× 0.5	=	104.1035	㎡
面積　合計						336.4132	㎡
辺長　合計						32.800	m
面積/辺長	336.4132	÷	32.80		=	10.257	m
∴平均地盤レベル						10.25	m

※駐車場棟1の平均地盤高さは10.120とする。

駐車場棟2

	レベル		辺長			面積	
Ⅰ－Ⅱ	(10.290 + 10.270)	×	7.810	× 0.5	=	80.2868	㎡
Ⅱ－Ⅲ	(10.270 + 10.270)	×	3.030	× 0.5	=	31.1181	㎡
Ⅲ－Ⅳ	(10.270 + 10.290)	×	7.810	× 0.5	=	80.2868	㎡
Ⅳ－Ⅰ	(10.290 + 10.290)	×	3.030	× 0.5	=	31.1767	㎡
面積　合計						222.8704	㎡
辺長　合計						21.680	m
面積/辺長	222.8704	÷	21.68		=	10.280	m
∴平均地盤レベル						10.28	m

※駐車場棟2の平均地盤高さは10.120とする。

浄化槽機械室A

	レベル		辺長			面積	
あ－い	(10.370 + 10.370)	×	1.650	× 0.5	=	17.1105	㎡
い－う	(10.370 + 10.370)	×	1.400	× 0.5	=	14.5180	㎡
う－え	(10.370 + 10.370)	×	1.650	× 0.5	=	17.1105	㎡
え－あ	(10.370 + 10.370)	×	1.400	× 0.5	=	14.5180	㎡
面積　合計						63.2570	㎡
辺長　合計						6.100	m
面積/辺長	63.2570	÷	6.10		=	10.370	m
∴平均地盤レベル						10.37	m

倉庫棟(別途工事)

	レベル		辺長			面積	
甲－乙	(10.130 + 10.130)	×	13.320	× 0.5	=	134.9316	㎡
乙－丙	(10.130 + 10.110)	×	7.100	× 0.5	=	71.8520	㎡
丙－丁	(10.110 + 10.430)	×	13.320	× 0.5	=	136.7964	㎡
丁－甲	(10.430 + 10.130)	×	7.100	× 0.5	=	72.9880	㎡
面積　合計						416.5680	㎡
辺長　合計						40.840	m
面積/辺長	416.5680	÷	40.84		=	10.200	m
∴平均地盤レベル						10.20	m

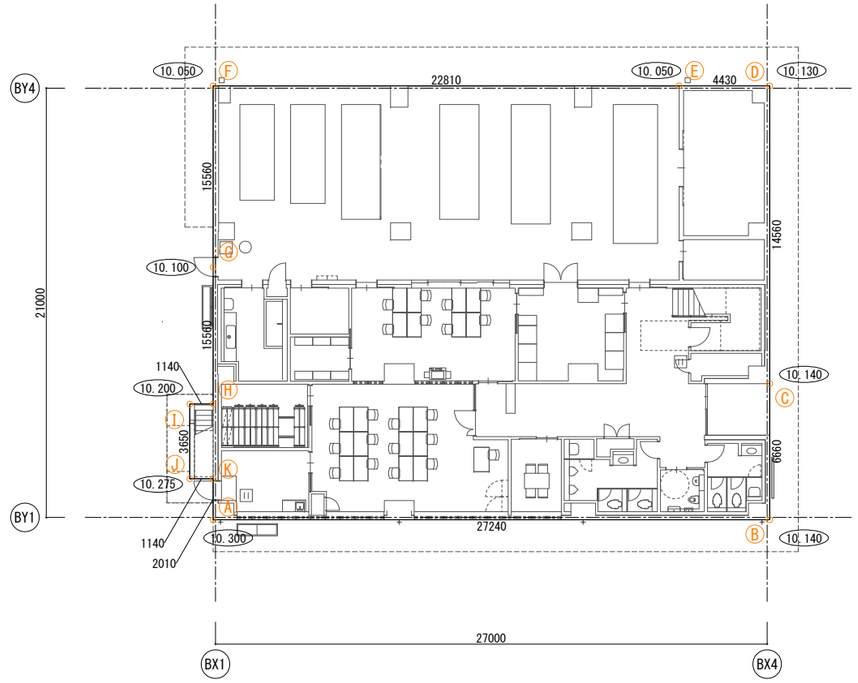
※倉庫棟の平均地盤高さは10.000とする。

危険物保管庫棟(別途工事)

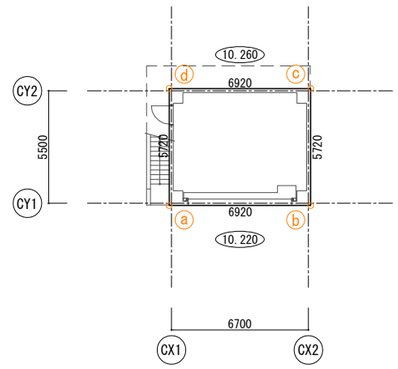
	レベル		辺長			面積	
壱－弐	(9.990 + 9.990)	×	5.220	× 0.5	=	52.1478	㎡
弐－参	(9.990 + 9.990)	×	3.220	× 0.5	=	32.1678	㎡
参－肆	(9.990 + 10.020)	×	5.220	× 0.5	=	52.2261	㎡
肆－壱	(10.020 + 9.990)	×	3.220	× 0.5	=	32.2161	㎡
面積　合計						168.7578	㎡
辺長　合計						16.880	m
面積/辺長	168.7578	÷	16.88		=	9.99	m
∴平均地盤レベル						9.99	m

※危険物保管庫棟の平均地盤高さは9.910とする。

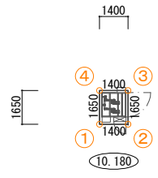
消防敷地



消防庁舎棟



訓練棟



浄化槽機械室B

消防庁舎棟

	レベル		辺長			面積	
A－B	(10.300 + 10.140)	×	6.130	× 0.5	=	62.6486	㎡
B－C	(10.140 + 10.140)	×	14.450	× 0.5	=	146.5230	㎡
C－D	(10.140 + 10.130)	×	2.000	× 0.5	=	20.2700	㎡
D－E	(10.130 + 10.050)	×	1.595	× 0.5	=	16.0936	㎡
E－F	(10.050 + 10.050)	×	0.650	× 0.5	=	6.5325	㎡
F－G	(10.050 + 10.100)	×	16.705	× 0.5	=	168.3029	㎡
G－H	(10.100 + 10.200)	×	7.800	× 0.5	=	79.1700	㎡
H－I	(10.200 + 10.200)	×	7.800	× 0.5	=	79.5600	㎡
I－J	(10.200 + 10.275)	×	10.900	× 0.5	=	111.5888	㎡
J－K	(10.275 + 10.275)	×	1.350	× 0.5	=	13.8713	㎡
K－A	(10.275 + 10.300)	×	0.700	× 0.5	=	7.2013	㎡
面積　合計						711.7618	㎡
辺長　合計						70.080	m
面積/辺長	711.7618	÷	70.08		=	10.156	m
∴平均地盤レベル						10.15	m

※消防庁舎棟の平均地盤高さは10.050とする。

訓練棟

	レベル		辺長			面積	
a－b	(10.220 + 10.220)	×	6.920	× 0.5	=	70.7224	㎡
b－c	(10.220 + 10.260)	×	5.720	× 0.5	=	58.5728	㎡
c－d	(10.260 + 10.260)	×	6.920	× 0.5	=	70.9992	㎡
d－a	(10.260 + 10.220)	×	5.720	× 0.5	=	58.5728	㎡
面積　合計						258.8672	㎡
辺長　合計						25.280	m
面積/辺長	258.8672	÷	25.28		=	10.240	m
∴平均地盤レベル						10.24	m

※訓練棟の平均地盤高さは10.200とする。

浄化槽機械室B

	レベル		辺長			面積	
1－2	(10.180 + 10.180)	×	1.400	× 0.5	=	14.2520	㎡
2－3	(10.180 + 10.180)	×	1.650	× 0.5	=	16.7970	㎡
3－4	(10.180 + 10.180)	×	1.400	× 0.5	=	14.2520	㎡
4－1	(10.180 + 10.180)	×	1.650	× 0.5	=	16.7970	㎡
面積　合計						62.0980	㎡
辺長　合計						6.100	m
面積/辺長	62.0980	÷	6.10		=	10.180	m
∴平均地盤レベル						10.18	m

竣工年月日	. .	. .	
監理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計 — 技にこころを

DATE 2025 . 3 . 14

PROJ. NO O-2023-120

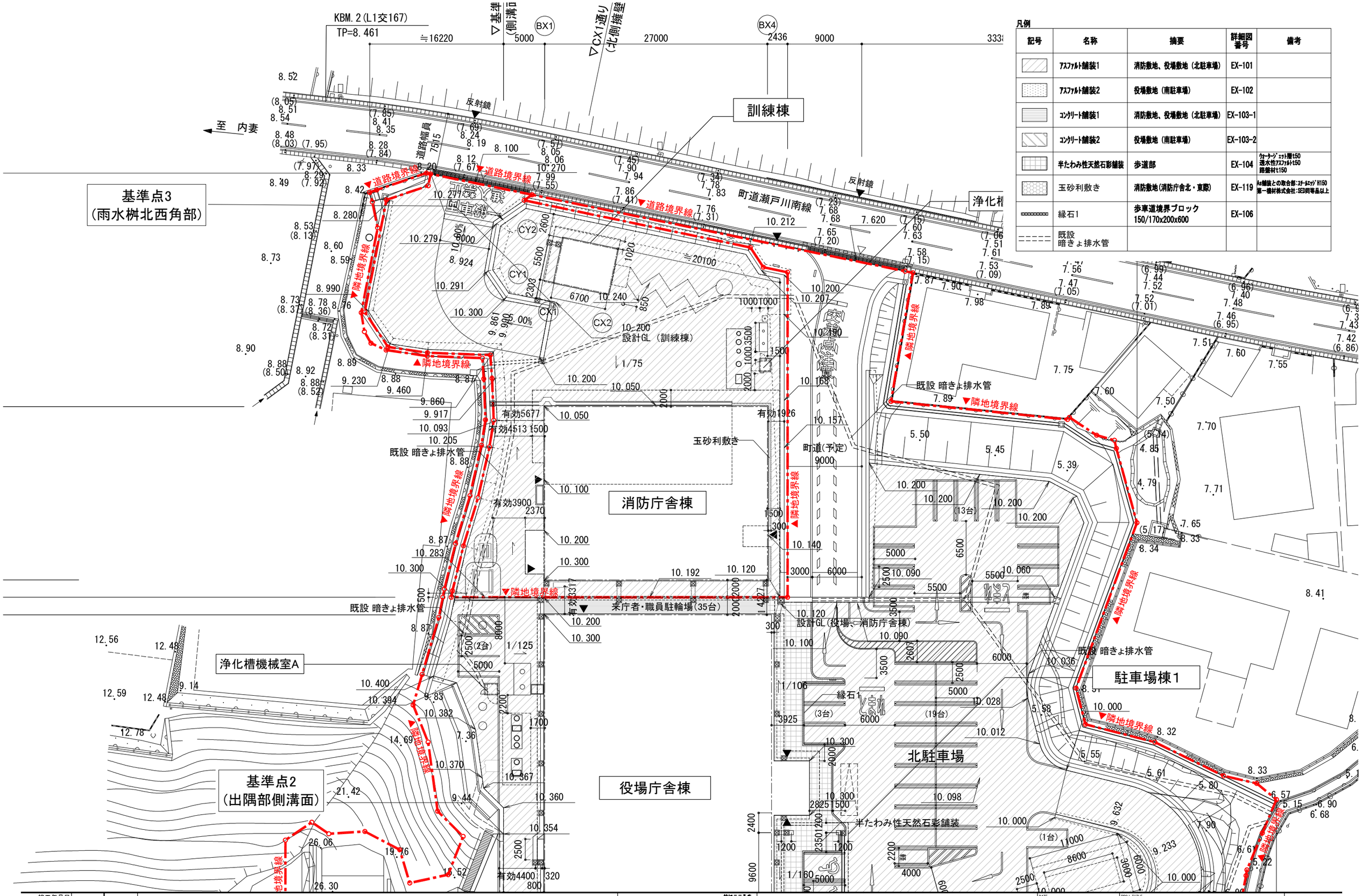
PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事

DWG. TITLE 平均地盤算定図

SCALE 1:150(A1) 1:300(A3)

【共通】 意匠

DWG. NO A-028

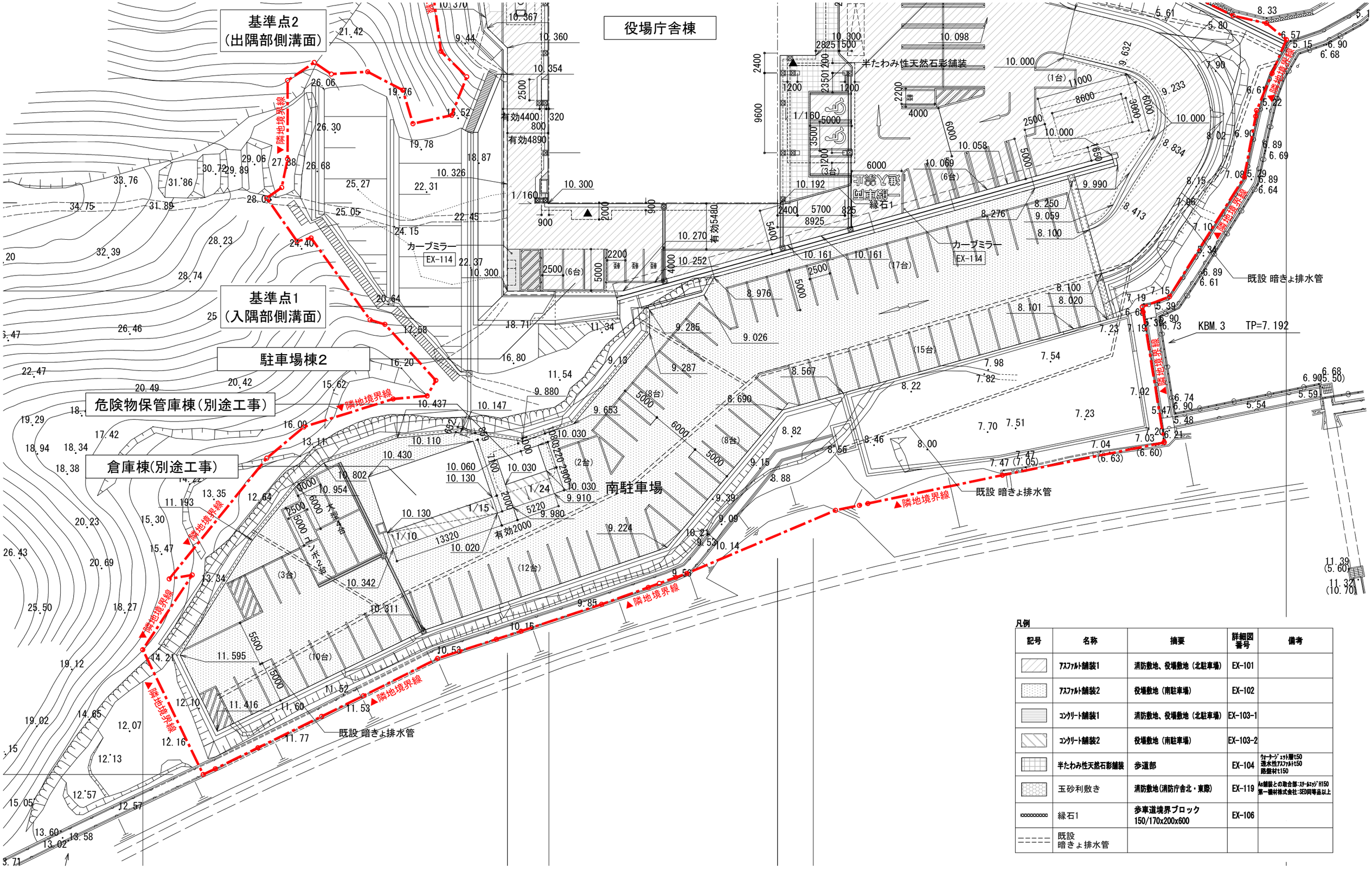


凡例

記号	名称	摘要	詳細図番号	備考
	アスファルト舗装1	消防敷地、役場敷地（北駐車場）	EX-101	
	アスファルト舗装2	役場敷地（南駐車場）	EX-102	
	コンクリート舗装1	消防敷地、役場敷地（北駐車場）	EX-103-1	
	コンクリート舗装2	役場敷地（南駐車場）	EX-103-2	
	半たわみ性天然石彩舗装	歩道部	EX-104	ウォータージェット層t50 透水性アスファルトt50 路盤材t150
	玉砂利敷き	消防敷地(消防庁舎北・東際)	EX-119	As舗装との取合部:ストーンエッジ H150 第一機材株式会社:SED同等品以上
	縁石1	歩車道境界ブロック 150/170x200x600	EX-106	
	既設 暗きょ排水管			

竣工年月日		株式会社 大建設計	技にこころを
監理者印			
施工者印			

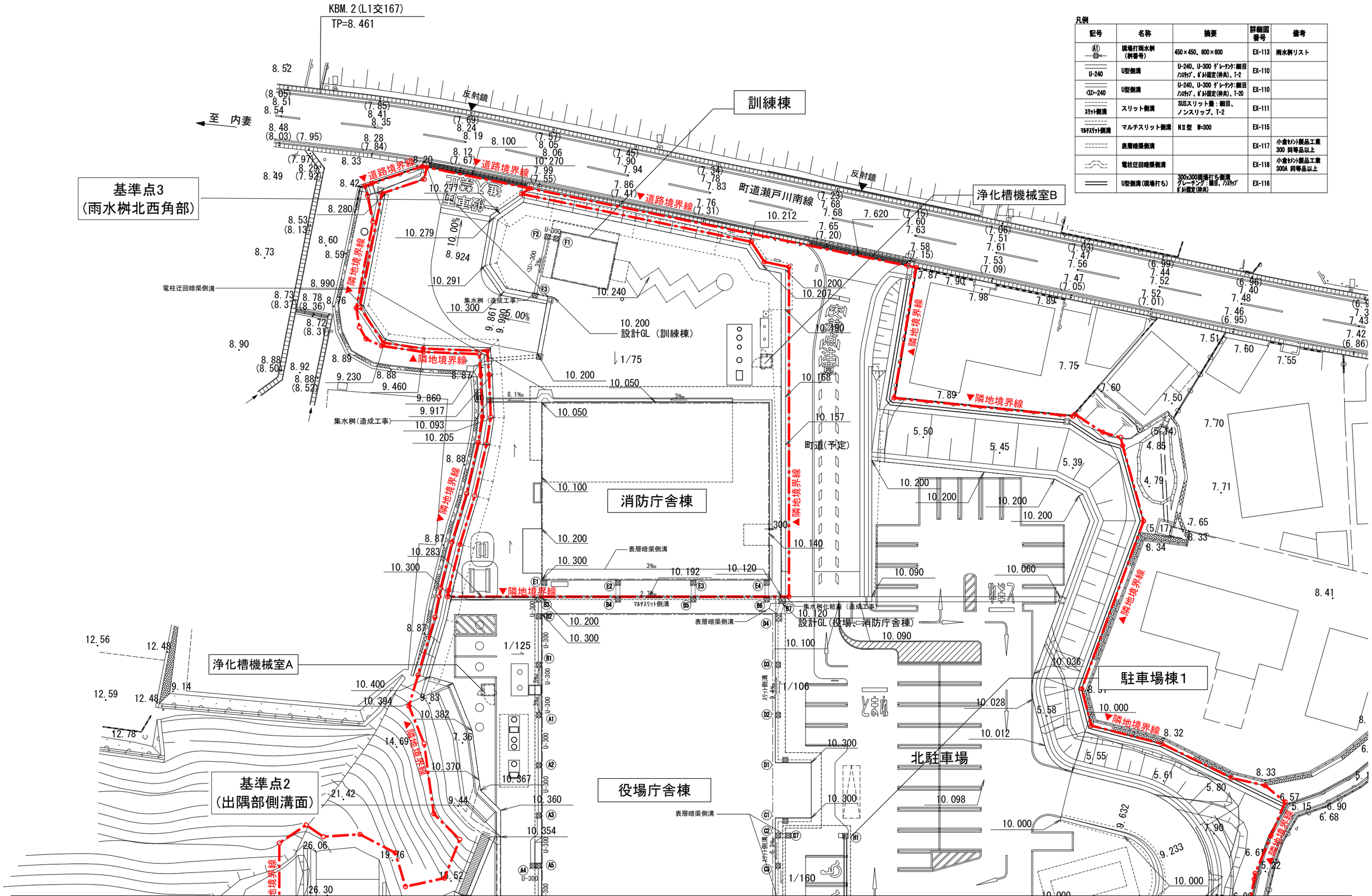
DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠	
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 外構平面図（1）	SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)	DWG. NO A-029



凡例

記号	名称	摘要	詳細図番号	備考
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装1	消防敷地、役場敷地（北駐車場）	EX-101	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装2	役場敷地（南駐車場）	EX-102	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装1	消防敷地、役場敷地（北駐車場）	EX-103-1	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装2	役場敷地（南駐車場）	EX-103-2	
	半たわみ性天然石彩舗装	歩道部	EX-104	ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ層t50 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄt50 路盤材t150
	玉砂利敷き	消防敷地(消防庁舎北・東際)	EX-119	As舗装との取合部:ｽﾃｰﾙｴｯｼﾞ H150 第一鋼材株式会社:SEB同等品以上
	縁石1	歩車道境界ブロック 150/170x200x600	EX-106	
	既設 暗きょ排水管			

竣工年月日	. .	. .	株式会社 大建設計	DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事	【共通】 意匠
監理者印		. .		PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 外構平面図（２）	DWG. NO A-030
		. .			SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)	
施工者印		. .				

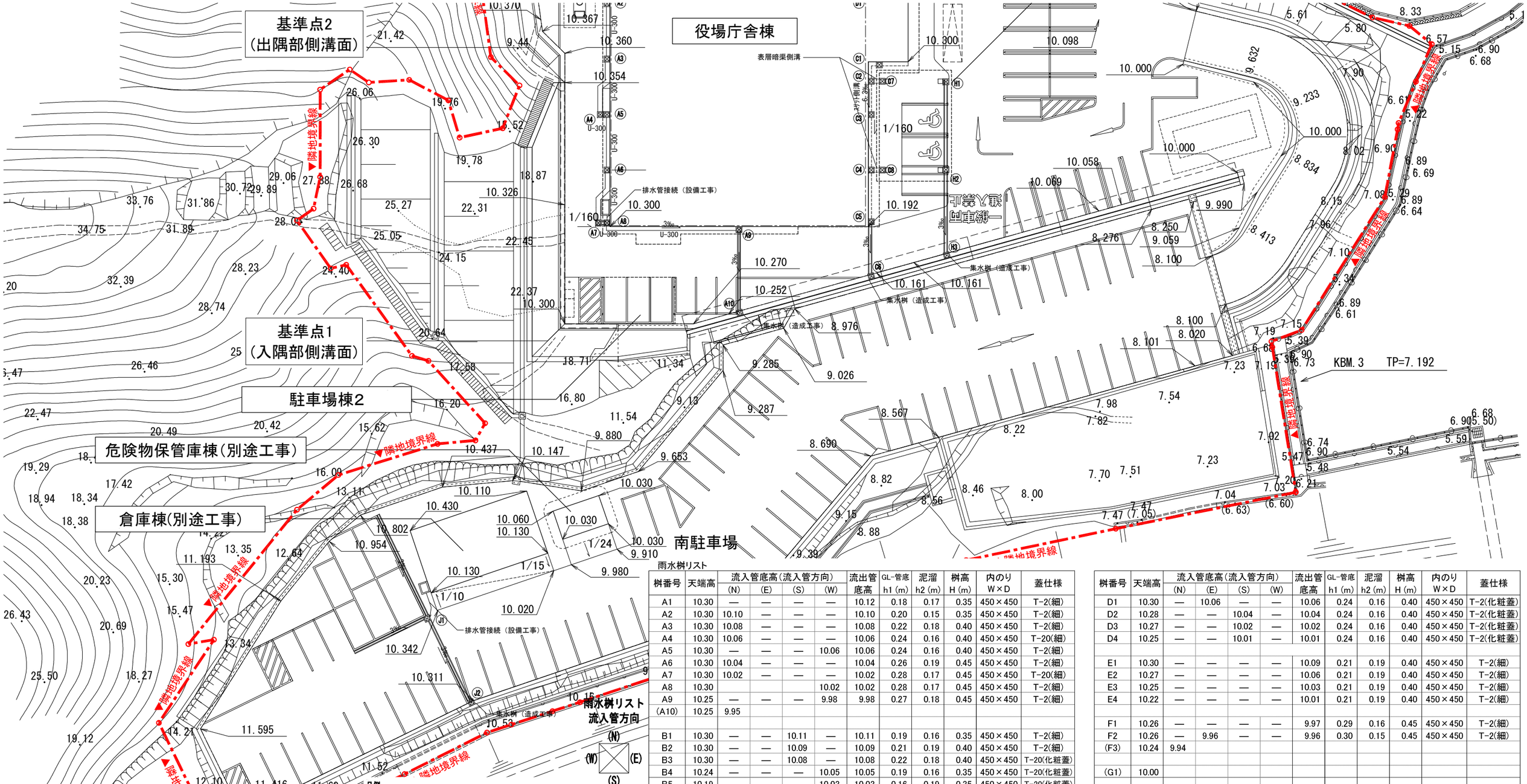


凡例

記号	名称	摘要	詳細図番号	備考
A1	現場打雨水桝（桝番号）	450×450、600×600	EX-113	雨水桝リスト
U-240	U型側溝	U-240、U-300 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸ：細目 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ固定(枠共)、T-2	EX-110	
<U>-240	U型側溝	U-240、U-300 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸ：細目 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ固定(枠共)、T-20	EX-110	
ｽﾘｯﾄ側溝	スリット側溝	SUSスリット蓋：細目、ノンスリップ、T-2	EX-111	
ﾏﾙﾁｽﾘｯﾄ側溝	マルチスリット側溝	HⅡ型 W=300	EX-115	
	表層暗渠側溝		EX-117	小倉ｾﾒﾝﾄ製品工業 300 同等品以上
	電柱迂回暗渠側溝		EX-118	小倉ｾﾒﾝﾄ製品工業 300A 同等品以上
	U型側溝(現場打ち)	300x300現場打ち側溝 グレーチング：細目、ノンスリップ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ固定(枠共)	EX-116	

竣工年月日	. .	. .	株式会社 大建設計	DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事
監理者印		. .		PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 雨水排水計画図（1）
施工者印		. .			SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)
		. .			DWG. NO A-031

【共通】 意匠



雨水桝リスト

桝番号	天端高	流入管底高(流入管方向) (N)	(E)	(S)	(W)	流出管底高	GL-管底 h1 (m)	泥溜 h2 (m)	桝高 H (m)	内のり W×D	蓋仕様
A1	10.30	—	—	—	—	10.12	0.18	0.17	0.35	450×450	T-2(細)
A2	10.30	10.10	—	—	—	10.10	0.20	0.15	0.35	450×450	T-2(細)
A3	10.30	10.08	—	—	—	10.08	0.22	0.18	0.40	450×450	T-2(細)
A4	10.30	10.06	—	—	—	10.06	0.24	0.16	0.40	450×450	T-20(細)
A5	10.30	—	—	—	10.06	10.06	0.24	0.16	0.40	450×450	T-2(細)
A6	10.30	10.04	—	—	—	10.04	0.26	0.19	0.45	450×450	T-2(細)
A7	10.30	10.02	—	—	—	10.02	0.28	0.17	0.45	450×450	T-20(細)
A8	10.30				10.02	10.02	0.28	0.17	0.45	450×450	T-2(細)
A9	10.25	—	—	—	9.98	9.98	0.27	0.18	0.45	450×450	T-2(細)
(A10)	10.25	9.95									
B1	10.30	—	—	10.11	—	10.11	0.19	0.16	0.35	450×450	T-2(細)
B2	10.30	—	—	10.09	—	10.09	0.21	0.19	0.40	450×450	T-2(細)
B3	10.30	—	—	10.08	—	10.08	0.22	0.18	0.40	450×450	T-20(化粧蓋)
B4	10.24	—	—	—	10.05	10.05	0.19	0.16	0.35	450×450	T-20(化粧蓋)
B5	10.19	—	—	—	10.03	10.03	0.16	0.19	0.35	450×450	T-20(化粧蓋)
B6	10.13	10.00	—	—	10.00	9.83	0.31	0.19	0.50	450×450	T-20(化粧蓋)
(B7)	10.12			10.00	9.82						T-20(化粧蓋)
C1	10.30	—	10.07	—	—	10.07	0.23	0.17	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
C2	10.29	10.06	—	—	—	10.06	0.22	0.18	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
C3	10.26	10.05	—	—	—	10.05	0.21	0.19	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
C4	10.23	10.03	—	—	—	10.03	0.19	0.16	0.35	450×450	T-2(化粧蓋)
C5	10.19	10.02	—	—	—	10.02	0.17	0.18	0.35	450×450	T-2(化粧蓋)
(C6)	10.16	10.00									
C7	10.29	—	—	—	—	10.07	0.22	0.18	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
C8	10.23	—	—	—	—	10.04	0.19	0.16	0.35	450×450	T-2(化粧蓋)

桝番号	天端高	流入管底高(流入管方向) (N)	(E)	(S)	(W)	流出管底高	GL-管底 h1 (m)	泥溜 h2 (m)	桝高 H (m)	内のり W×D	蓋仕様
D1	10.30	—	10.06	—	—	10.06	0.24	0.16	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
D2	10.28	—	—	10.04	—	10.04	0.24	0.16	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
D3	10.27	—	—	10.02	—	10.02	0.24	0.16	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
D4	10.25	—	—	10.01	—	10.01	0.24	0.16	0.40	450×450	T-2(化粧蓋)
E1	10.30	—	—	—	—	10.09	0.21	0.19	0.40	450×450	T-2(細)
E2	10.27	—	—	—	—	10.06	0.21	0.19	0.40	450×450	T-2(細)
E3	10.25	—	—	—	—	10.03	0.21	0.19	0.40	450×450	T-2(細)
E4	10.22	—	—	—	—	10.01	0.21	0.19	0.40	450×450	T-2(細)
F1	10.26	—	—	—	—	9.97	0.29	0.16	0.45	450×450	T-2(細)
F2	10.26	—	9.96	—	—	9.96	0.30	0.15	0.45	450×450	T-2(細)
(F3)	10.24	9.94									
(G1)	10.00										
H1	10.29	—	—	—	—	10.03	0.26	0.19	0.45	450×450	T-20(細)
H2	10.26	10.00	—	—	—	9.89	0.37	0.18	0.55	450×450	T-20(細)
(H3)	10.16	9.94									
J1	10.34	10.10	—	—	10.10	10.04	0.30	0.15	0.45	450×450	T-20(細)
(J2)	10.31	10.01									

蓋仕様において T-2,T-20は耐荷重、(ﾎﾞﾙﾄ)はボルト固定タイプを示す。また、細は細目、特記なき限り普通目とする。
( )付き番号は造成工事(別途工事)を示す。
化粧蓋は鋳鉄製、鋳鉄目地とする。

凡例

記号	名称	摘要	詳細図番号	備考
A1	現場打雨水桝(桝番号)	450×450、600×600	EX-113	雨水桝リスト
U-240	U型側溝	U-240、U-300 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ:細目 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ、ﾎﾞﾙﾄ固定(枠共)、T-2	EX-110	
<U>-240	U型側溝	U-240、U-300 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ:細目 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ、ﾎﾞﾙﾄ固定(枠共)、T-20	EX-110	
ｽﾘｯﾄ側溝	スリット側溝	SUSスリット蓋：細目、ノンスリップ、T-2	EX-111	
ﾏﾙﾁｽﾘｯﾄ側溝	マルチスリット側溝	NⅡ型 W=300	EX-115	
	表層暗渠側溝		EX-117	小倉セメント製品工業 300 同等品以上
	電柱迂回暗渠側溝		EX-118	小倉セメント製品工業 300A 同等品以上
	U型側溝(現場打ち)	300x300現場打ち側溝 グレーチング：細目、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ﾎﾞﾙﾄ固定(枠共)	EX-116	

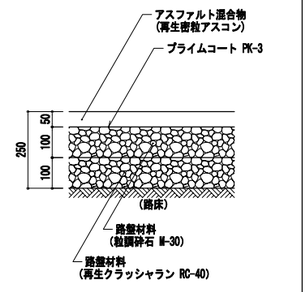
竣工年月日	. .	. .
監理者印		. .
		. .
施工者印		. .
		. .

株式会社 大建設計 技にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 雨水排水計画図（２）	SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)	DWG. NO A-032

EX-101 アスファルト舗装1 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

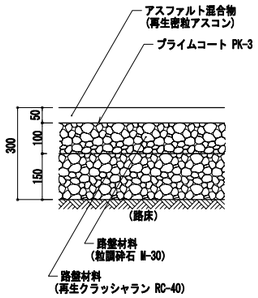
消防敷地、役場敷地（北駐車場）



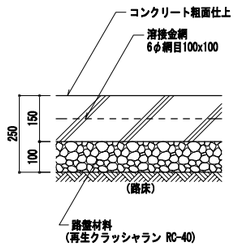
※路床については、CBR試験を行い、設計CBR4未満の場合は、地盤を安定処理によって改良し路床の支持力を確保すること。

EX-102 アスファルト舗装2 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

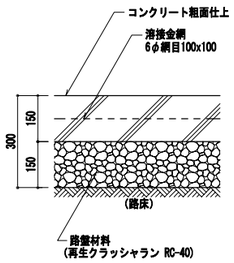
役場敷地（南駐車場）



EX-103-1 コンクリート舗装1（車道部） S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

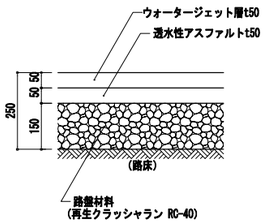


EX-103-2 コンクリート舗装2（車道部） S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)



EX-104 半たわみ性天然石彫舗装 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

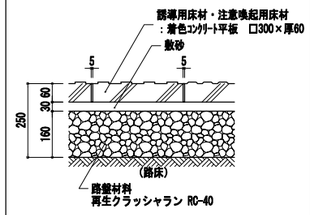
役場敷地（歩道部）



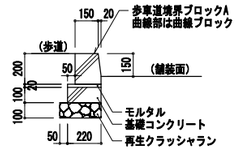
※路床については、CBR試験を行い、設計CBR4未満の場合は、地盤を安定処理によって改良し路床の支持力を確保すること。

東京舗装工業　ダイヤツインナチュナル問等品以上

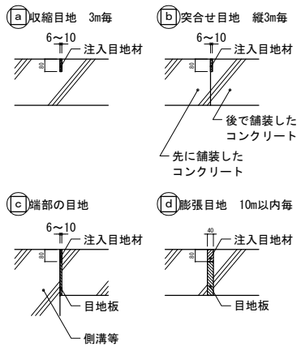
EX-105 点字ブロック S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)



EX-106 縁石 1 歩車道境界ブロック S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)



EX-108 コンクリート舗装目地 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

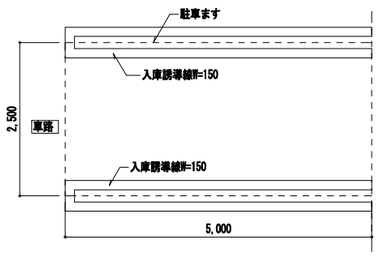


部　位			
駐 車 場 広 場 等	縦方向	突合せ目地	3m程度ごと
	横方向	収縮目地	3m程度ごと
道　路 (歩道部を含む)	縦方向	突合せ目地	3m程度ごと
	横方向	収縮目地	3m程度ごと
舗装内のマンホール周囲		突合せ目地	―
建築物、構造物との取合い		伸縮調整目地	―

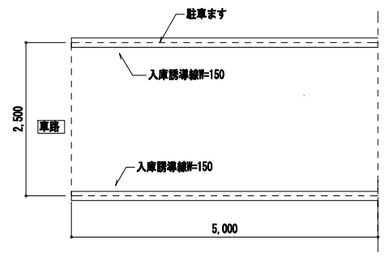
（備考）
標準仕様書「表22.5.4、図22.5.1」

EX-109 駐車場　平面詳細図 S=1: 50 (A1) S=1:100 (A3)

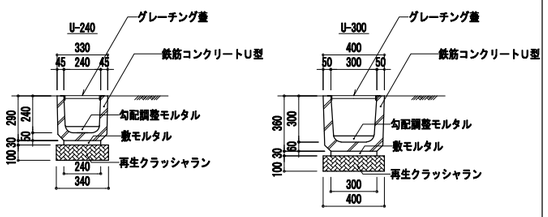
来庁者用（北駐車場）



職員用（南駐車場、北駐車場の一部）

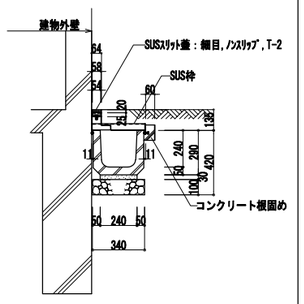


EX-110 U型側溝 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

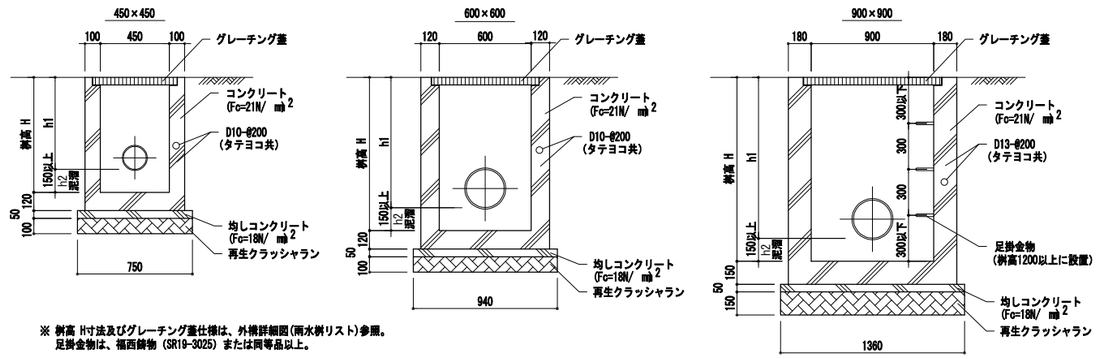


※グレーチング蓋
一般部：細目、ノンスリップ、ボルト固定（枠共）、T-2
車路部：細目、ノンスリップ、ボルト固定（枠共）、T-20

EX-111 スリット側溝 S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

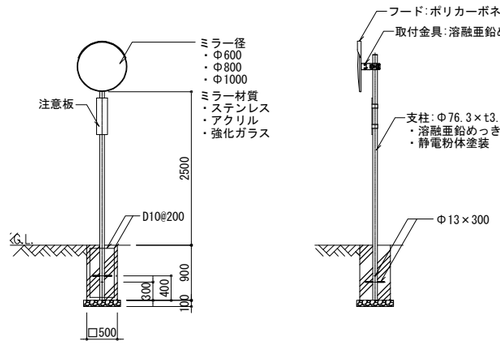


EX-113 現場打雨水桝 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

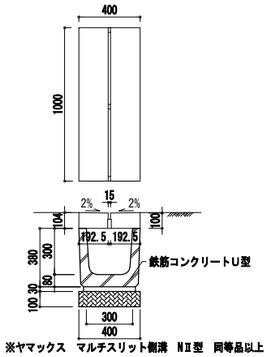


※ 桝高 H寸法及びグレーチング蓋仕様は、外構詳細図(雨水桝リスト)参照。
足掛金物は、福西鋳物（SR19-3025）または同等品以上。

EX-114 カーブミラー S=1: 50 (A1) S=1:100 (A3)

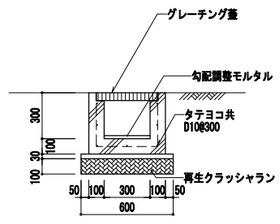


EX-115 マルチスリット側溝 S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

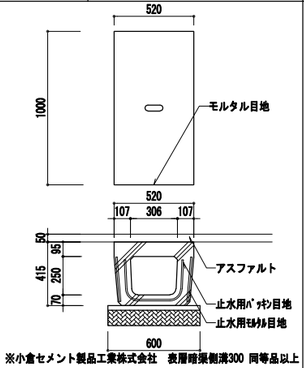


※ヤマックス　マルチスリット側溝　NⅡ型　同等品以上

EX-116 U型側溝（現場打ち） S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

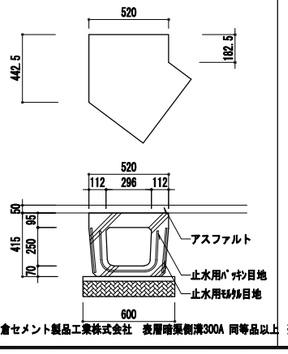


EX-117 表層暗渠側溝 S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)



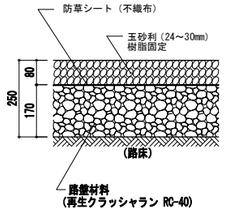
※小倉セメント製品工業株式会社　表層暗渠側溝300 同等品以上

EX-118 電柱迂回暗渠側溝 S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)



※小倉セメント製品工業株式会社　表層暗渠側溝300A 同等品以上

EX-119 玉砂利敷き S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)



※樹脂固定　楽砂利ロック（ヤブ原産業株式会社）同等品以上

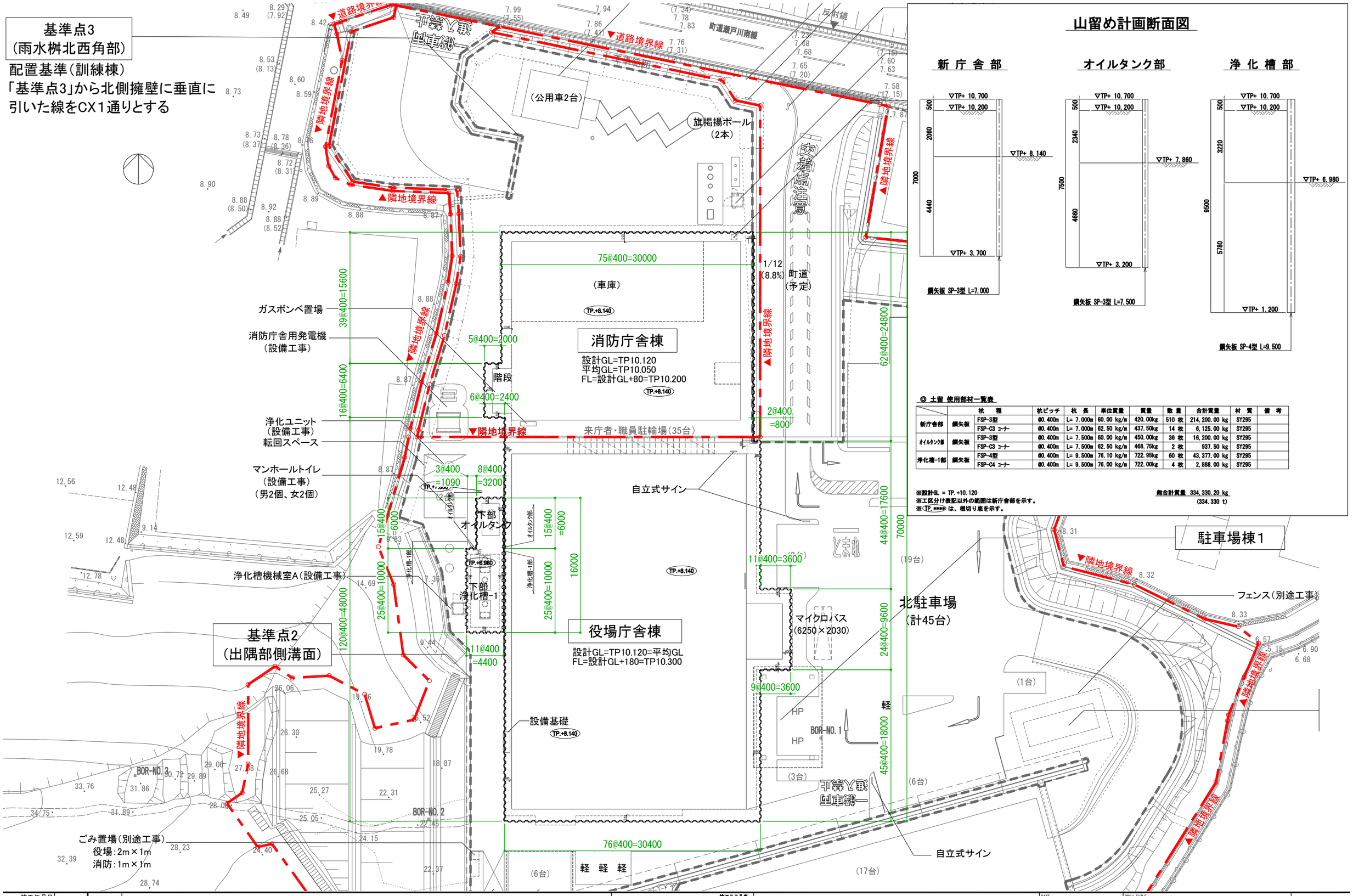
竣工年月日	. .	. .
監理者印		. .
		. .
施工者印		. .
		. .

技にこころを
株式会社 大建設計

DATE 2025 . 3 . 14
PROJ. NO 0-2023-120
PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事
DWG. TITLE 外構詳細図
SCALE A1 図示 A3 図示
【共通】 意匠
DWG. NO A-033

基準点3
（雨水桝北西角部）

配置基準（訓練棟）
「基準点3」から北側擁壁に垂直に
引いた線をCX1通りとする



山留め計画断面図

◎ 土留 使用部材一覧表

	杭 種		杭ピッチ	杭 長	単位質量	質量	数 量	合計質量	材 質	備 考
新庁舎部	鋼矢板	FSP-3型	φ0.400m	L= 7.000m	60.00 kg/m	420.00kg	510 枚	214,200.00 kg	SY295	
		FSP-C3 コーナー	φ0.400m	L= 7.000m	62.50 kg/m	437.50kg	14 枚	6,125.00 kg	SY295	
オイルタンク部	鋼矢板	FSP-3型	φ0.400m	L= 7.500m	60.00 kg/m	450.00kg	36 枚	16,200.00 kg	SY295	
		FSP-C3 コーナー	φ0.400m	L= 7.500m	62.50 kg/m	468.75kg	2 枚	937.50 kg	SY295	
浄化槽-1部	鋼矢板	FSP-4型	φ0.400m	L= 9.500m	76.10 kg/m	722.95kg	60 枚	43,377.00 kg	SY295	
		FSP-C4 コーナー	φ0.400m	L= 9.500m	76.00 kg/m	722.00kg	4 枚	2,888.00 kg	SY295	

※設計GL = TP.+10.120
※工区分け表記以外の範囲は新庁舎部を示す。
※TP.+○.○○ は、根切り底を示す。

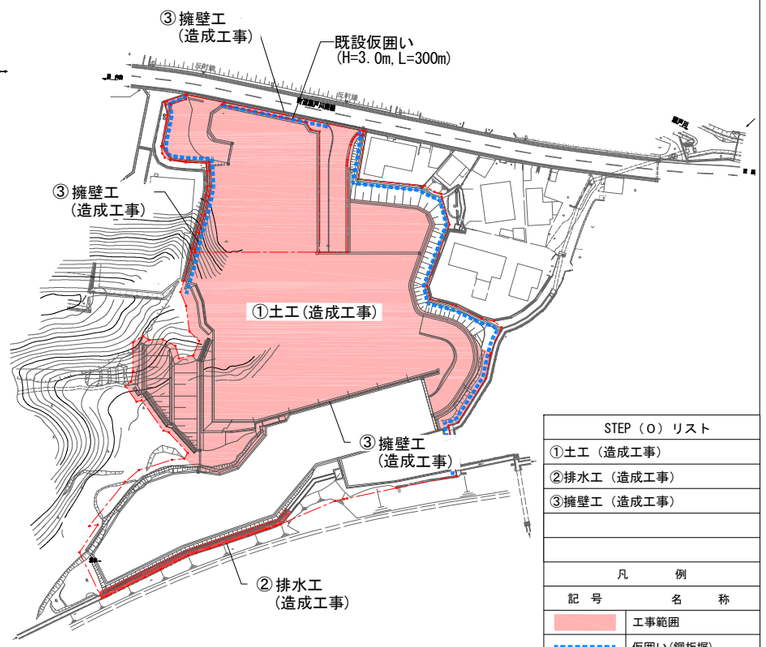
総合計質量 334,330.20 kg
(334.330 t)

竣工年月日	. .	. .
監理者印		. .
施工者印		. .

株式会社 大建設計 技にこころを

DATE 2025 . 3 . 14
PROJ. NO 0-2023-120
PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事
DWG. TITLE 山留計画図（参考）
SCALE 1:200(A1) 1:400(A3)
【共通】意匠
DWG. NO A-034

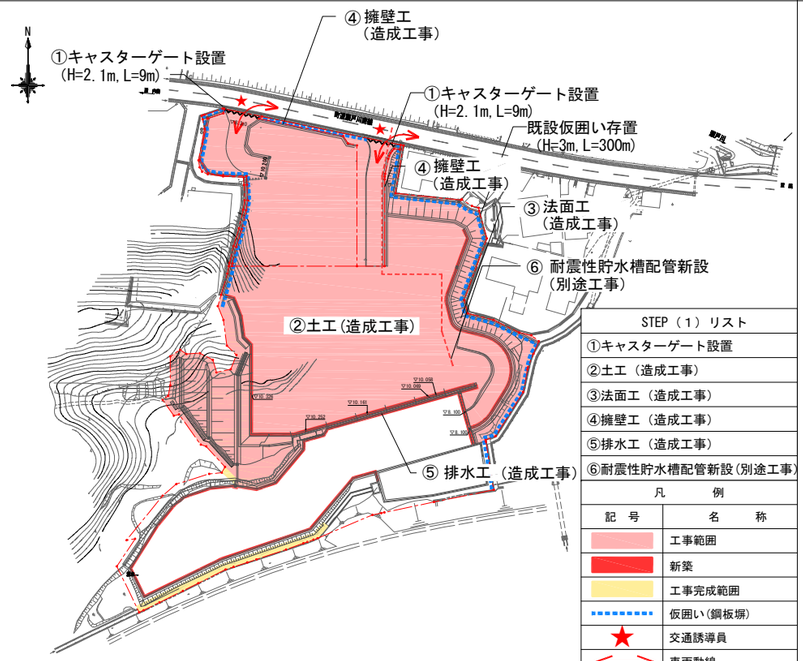
現況



STEP（0）リスト
①土工（造成工事）
②排水工（造成工事）
③擁壁工（造成工事）

凡例	
記号	名称
	工事範囲
	仮囲い（鋼板塀）

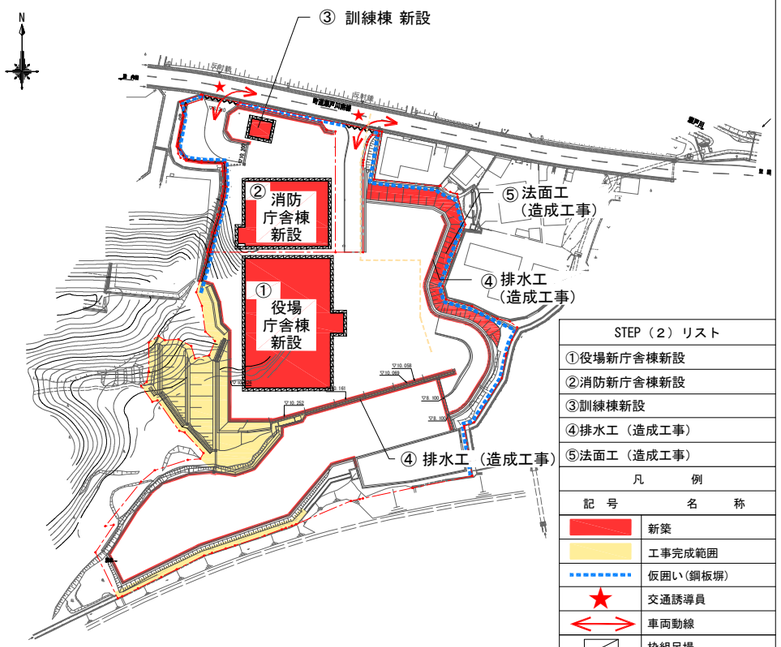
STEP(1)　準備工事



STEP（1）リスト
①キャスターゲート設置
②土工（造成工事）
③法面工（造成工事）
④擁壁工（造成工事）
⑤排水工（造成工事）
⑥耐震性貯水槽配管新設（別途工事）

凡例	
記号	名称
	工事範囲
	新築
	工事完成範囲
	仮囲い（鋼板塀）
★	交通誘導員
↔	車両動線

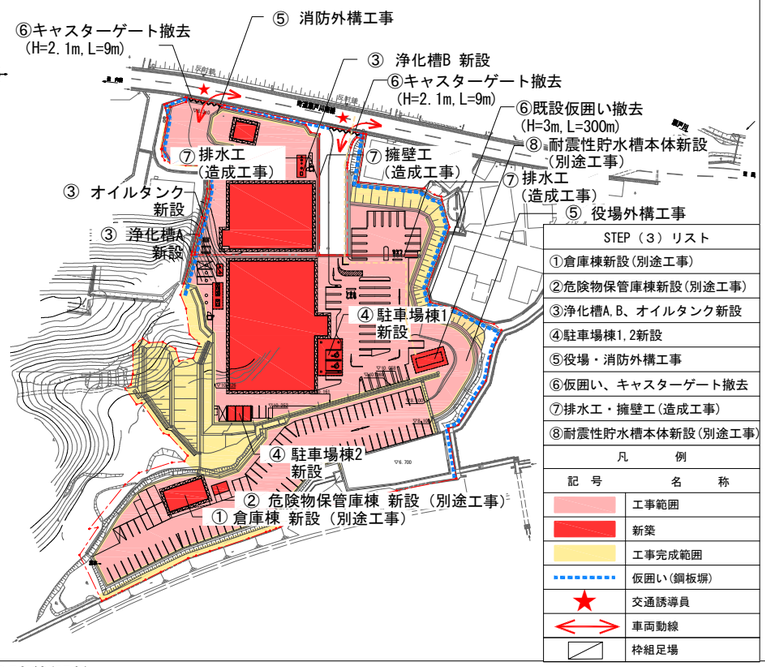
STEP(2)　役場新庁舎棟・消防新庁舎棟・訓練棟 新設



STEP（2）リスト
①役場新庁舎棟新設
②消防新庁舎棟新設
③訓練棟新設
④排水工（造成工事）
⑤法面工（造成工事）

凡例	
記号	名称
	新築
	工事完成範囲
	仮囲い（鋼板塀）
★	交通誘導員
↔	車両動線
	枠組足場

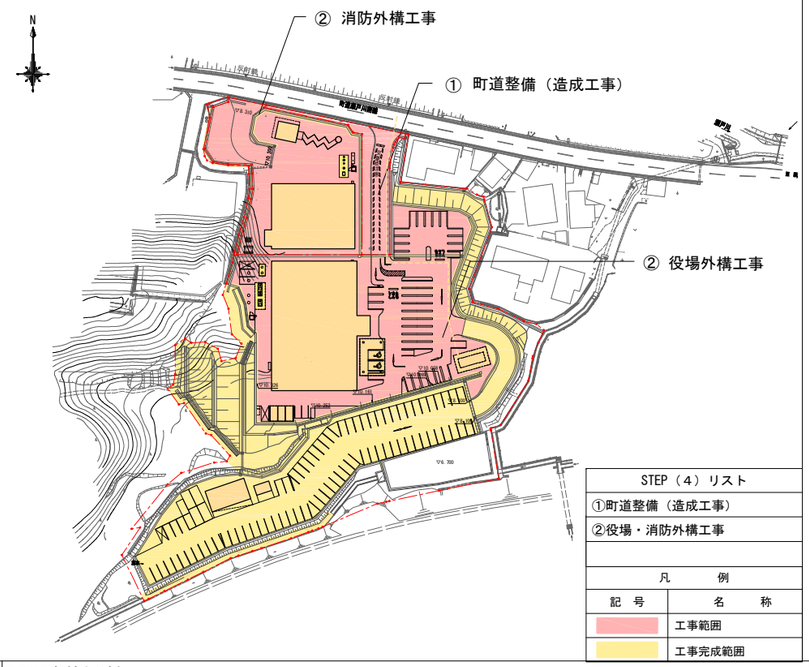
STEP(3)　付属棟新設・外構整備



STEP（3）リスト
①倉庫棟新設（別途工事）
②危険物保管庫棟新設（別途工事）
③浄化槽A、B、オイルタンク新設
④駐車場棟1、2新設
⑤役場・消防外構工事
⑥仮囲い、キャスターゲート撤去
⑦排水工・擁壁工（造成工事）
⑧耐震性貯水槽本体新設（別途工事）

凡例	
記号	名称
	工事範囲
	新築
	工事完成範囲
	仮囲い（鋼板塀）
★	交通誘導員
↔	車両動線
	枠組足場

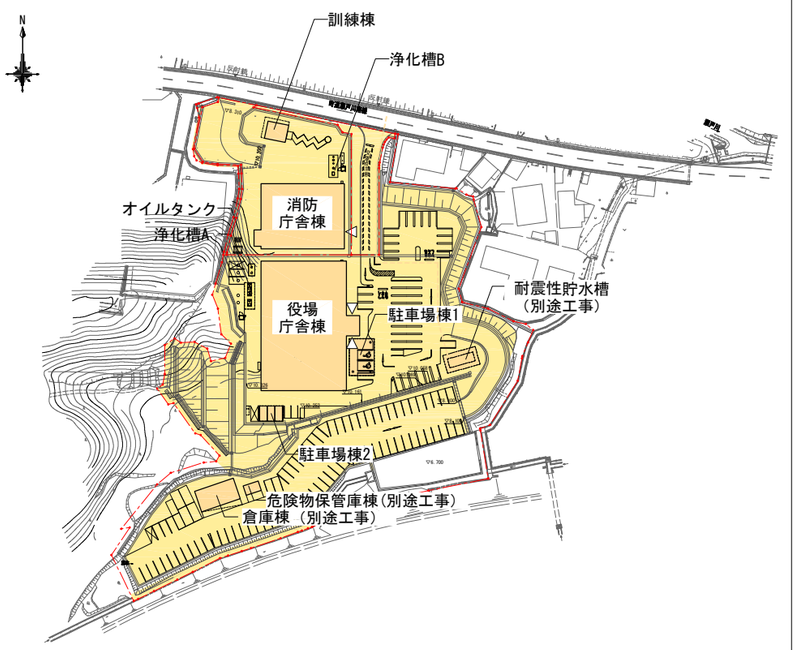
STEP(4)　町道整備

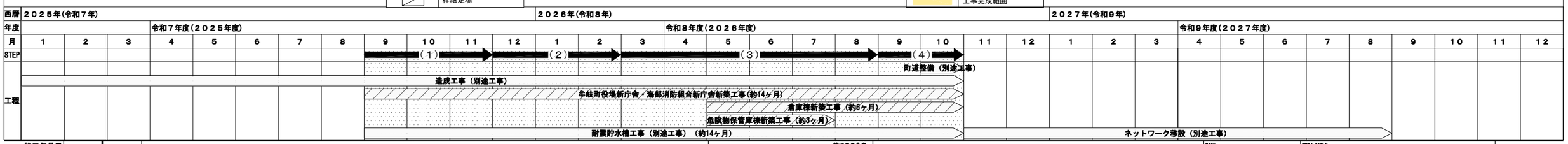


STEP（4）リスト
①町道整備（造成工事）
②役場・消防外構工事

凡例	
記号	名称
	工事範囲
	工事完成範囲

完成





竣工年月日	. .	. .	
整理者印		. .	
		. .	
施工者印		. .	
		. .	

株式会社 大建設計　注にこころを

DATE 2025 . 3 . 14	PROJ. TITLE 防災拠点整備事業 牟岐町役場新庁舎・海部消防組合新庁舎新築工事		【共通】 意匠
PROJ. NO 0-2023-120	DWG. TITLE 工事ステップ図	SCALE A1 1:1000 A3 1:2000	DWG. NO A-035